

# 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）

図面リスト			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
－	表紙・図面リスト	L01	外構特記仕様書-1
DⅢ01	特記仕様書-1	L02	外構特記仕様書-2
DⅢ02	特記仕様書-2	L03	外構特記仕様書-3
DⅢ03	案内図・配置図・仮設計画図（解体工事）	L04	外構特記仕様書-4
DⅢ04	既存校舎 外構解体範囲	L05	外構図-1（レベル）
DⅢ05	既存校舎 1F・2F平面図	L06	外構図-2（困障構造物）
DⅢ06	既存校舎 3F・4F平面図	L07	外構図-3（舗装）
DⅢ07	既存校舎 RF平面図・浄化槽詳細図	L08	外構詳細図-1
DⅢ08	既存校舎 仕上表（参考）	L09	外構詳細図-2
DⅢ09	既存校舎 立面図（参考）	L10	外構詳細図-3
DⅢ10	既存校舎 矩計図1（参考）	L11	外構詳細図-4
DⅢ11	既存校舎 矩計図2（参考）	L12	新構造設計特記仕様その1
DⅢ12	既存校舎 1F平面詳細図-1（参考）	L13	鉄骨構造標準図（1）（渡り廊下）
DⅢ13	既存校舎 1F平面詳細図-2（参考）	L14	鉄骨構造標準図（2）（渡り廊下）
DⅢ14	既存校舎 2F平面詳細図-1（参考）	L15	渡り廊下構造図
DⅢ15	既存校舎 2F平面詳細図-2（参考）	L16	電気設備特記仕様書
DⅢ16	既存校舎 3F平面詳細図-1（参考）	L17	電気設備器具姿図
DⅢ17	既存校舎 3F平面詳細図-2（参考）	L18	構内配電線路図
DⅢ18	既存校舎 4F平面詳細図-1（参考）	L19	屋外給水管平面図
DⅢ19	既存校舎 4F平面詳細図-2（参考）	L20	桁天端調整1
DⅢ20	既存校舎 基礎・各階伏図（参考）	L21	桁天端調整2
DⅢ21	既存校舎 軸組図1（参考）		
DⅢ22	既存校舎 軸組図2（参考）		
DⅢ23	既存校舎 軸組図3（参考）		
DⅢ24	既存校舎 鉄骨ブレース詳細図1（参考）		
DⅢ25	既存校舎 鉄骨ブレース詳細図2（参考）		
DⅢ26	既存校舎 RC補強壁詳細図（参考）		
DⅢ27	既存校舎 EXP詳細図（参考）		
DⅢ28	既存校舎 雑詳細図（参考）		

表紙共50枚  
2026年1月

特 記 仕 様 書				
I.工 事 概 要				
1 工事名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）			
2 工事場所	山梨県笛吹市御坂町下野原1257番地 御坂中学校			
3 用途地域等	都市計画区域(内・外) 用途地域( ) 防火地域等(・防火 ・準防火 ・指定なし ・22条 ) その他の地域・地区( )			
4 主要用途	中学校			
5 敷地面積	20,833.41㎡(除却面積19.41㎡) 合計20852.83㎡			
6 工事の概要	建築物 校舎	構造 RC造	規模 地上4階	延床面積
	受水槽ポンプ室	S造	地上1階	12.18㎡
	駐輪場	S造	地上1階	102.17㎡
	渡り廊下	S造		
7 別途工事	計4棟 他附属建物、工作物の解体			
8 その他				
9 特記仕様書の範囲	<p>特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外構工事特記仕様書</li> <li>・植栽工事特記仕様書</li> <li>・電気設備工事特記仕様書</li> <li>・機械設備工事特記仕様書</li> </ul>			

## Ⅱ. 建築工事仕様

### 1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)・同解説(令和2年度版)」(以下、「**解体共通仕様書**」という。)による。ただし、「**解体共通仕様書**」に記載されていない事項は、「**公共建築工事標準仕様書(平成31年版)**」(以下「**標準仕様書**」という。)及び「**公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版)**」(以下「**改修標準仕様書**」という。)による。

なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

### 2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。  
○印と※印のついた場合は、共に適用する。
- 3) 特記事項に記載の[ ]、( )、及び< >内の表示番号は、それぞれ「**解体共通仕様書**」及び「**標準仕様書**」及び「**改修標準仕様書**」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

1章 各章共通事項

項目	特記事項										
①一般事項	<p>○工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。</p> <p>○請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。</p> <p>○工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤・擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※図示</p>										
②適用基準等	<ul style="list-style-type: none"><li>・建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)・同解説(令和2年度版)</li><li>・公共建築工事標準仕様書(平成31年度版)</li><li>・公共建築改修工事標準仕様書(平成31年度版)</li></ul>										
③工事実績情報 (CORINS)の登録	<p>※適用する &lt;1.1.4.&gt; 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、登録されたことを証明する資料を、監督職員に提出すること。</p> <p>・適用しない</p>										
4. 電気保安技術者	<p>※適用する ・適用しない &lt;1.3.3.&gt;</p>										
⑤事故報告	<p>工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。</p>										
6. 完成図等	<p>※完成図(施工図、施工計画書を除く) ※完成図CADデータ(MO又はCD-R) ※施工図、及び施工計画書 ※ 保全に関する資料(提出部数 ・ 1部 ・ 2部)</p>										
7. 完成写真	<p>※作成する 次のものを監督職員に提出する。</p> <table><thead><tr><th>分類</th><th>規格</th><th>撮影箇所数</th><th>部数</th><th>原板の大きさ</th></tr></thead><tbody><tr><td>※カラー ・ 白黒</td><td>※A4判 ・ A3判</td><td>・ 箇所 枚</td><td>※部 ・ 部</td><td>※100×125以上</td></tr></tbody></table> <p>・ 作成しない</p>	分類	規格	撮影箇所数	部数	原板の大きさ	※カラー ・ 白黒	※A4判 ・ A3判	・ 箇所 枚	※部 ・ 部	※100×125以上
分類	規格	撮影箇所数	部数	原板の大きさ							
※カラー ・ 白黒	※A4判 ・ A3判	・ 箇所 枚	※部 ・ 部	※100×125以上							
⑧火災保険等	<p>工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。</p> <table><tbody><tr><td>保険の種類</td><td>※火災保険</td><td>※建設工事保険</td><td>・</td></tr><tr><td>保険期間</td><td colspan="3">※工期に14日以上の日を加えた日まで</td></tr></tbody></table>	保険の種類	※火災保険	※建設工事保険	・	保険期間	※工期に14日以上の日を加えた日まで				
保険の種類	※火災保険	※建設工事保険	・								
保険期間	※工期に14日以上の日を加えた日まで										

①仮囲い	※設ける(位置、延長等は図示) ◎万能鋼板(H=3.0) ・波形鉄板(H= ) ・単管シート(H= ) ※防音シート(H=建物高さ+2m) ※防音パネル(H= ) ・バネルゲート(W= ) H= ) × 箇所 ・シートゲート(W= ) H= ) × 箇所 ・設けない
②騒音、防塵等の対策	※設ける(適用範囲、高さ等は図示) ・防音パネル ○防音シート(防災処理) ・設けない
③交通誘導員	○配置する( 75日 × 3人 = 225人日) ・配置しない
4. 監督職員事務所	※設ける ・既存建物内の一部を使用する。 ・構内に新設する(規模 m <sup>2</sup> 程度) ・備え付ける備品(机、椅子、書棚、黒板、掛時計、懐中電灯) ・設けない
⑤工事表示板	※工事表示板 枚 ※建設リサイクル法による標識を設置する。
⑥工事用水	構内既存の施設 ○利用できる(○有償・無償) ※利用できない
⑦工事用電力	構内既存の施設 ○利用できる(○有償・無償) ※利用できない
⑧工事通路	※指定しない ○指定する(図示)
⑨足場その他	内部足場 ○脚立、足場板等 ・ <2.2.1> 外部足場 ※A種 ※B種 ・C種 ・D種 防護シート ※設ける(○防音シート ・その他) ・設けない 材料の運搬 ・A種 ※B種 ・C種 ※D種 ・E種
⑩その他	※酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ※作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ※建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ※工事に関係部分の出入の表示を行うこと。

3章 解体施工	①解体工法	<p>※解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。</p> <p>※解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準(建設リサイクル法規則第2条)」による。</p>
	②施工計画書等	<p>[3.1.3]</p> <p>工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。</p>
	3. 杭	<p>杭の解体 [3.9.2]</p> <p>・ 行う ・ 行わない</p> <p>杭の解体工法</p> <p>・ 引き抜き工法 ( ・ 振動 ・ ケーシング ・ )</p> <p>・ 粉砕による解体</p>
	4. 樹木等	<p>樹木の伐採伐根及び移植</p> <p>○行う ( / DⅡ04図による)</p>
	⑤地下埋設物の埋設配管	<p>地下埋設物及び埋設配管の解体 [3.12.1]</p> <p>○行う ※基礎解体に係る部分のみ</p>
	⑥解体後の整地	<p>解体後の埋戻し及び盛り土 [3.13.1]</p> <p>○行う</p> <p>埋戻し及び盛土の材料</p> <p>・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>C種の場合</p> <p>建設発生土受入れ量 m<sup>3</sup></p> <p>発生場所</p> <p>受入条件</p> <p>・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を使用する</p> <p>埋戻し範囲 ・ 既存建物撤去範囲 ・</p> <p>整地の高さ ※現状GL</p> <p>・ 図示 / 図による) [3.13.1]</p> <p>○解体後の敷地は地均し等を行う</p>

4章建設産業物の処理

①再資源化等

建設産業物の種類

中間処理施設又は再資源化施設の名称等

所在地(km)

※コンクリート

※コンクリート及び鉄から成る建設資材

※アスファルト、コンクリート

※金属類

※小型二次電池

</

章

アスベスト含有建材の除去

1. 一般事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則（平成17年4月厚生労働省令第21号、以下「石綿則」という。）、大気汚染防止法（昭和43年法律第97号、以下「大防法」という。）を遵守すること。

施工調査 [6.1.1～6.1.4] <9.1.1～9.1.2>

※行う 《調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。  
調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。》

調査箇所 ※図示 ・（ ）

調査事項  
※アスベスト含有建材等の使用部位  
※アスベスト含有建材等の種類、厚さ  
※施工範囲と工事範囲区分  
※廃棄物などの撤出方法  
・

○行わない。（設計時に分析調査済み）

アスベスト含有分析 [6.1.3]  
・行う（分析結果は監督職員に提出する。）  
分析方法 ※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

材 料 名	定性分析	定量分析
	・（試料数： ）	・（試料数： ）
	・（試料数： ）	・（試料数： ）
	・（試料数： ）	・（試料数： ）
	・（試料数： ）	・（試料数： ）

※行わない

アスベスト粉じん濃度測定 [6.1.4]  
※行う（測定する時期・場所等は下表による）  
「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第一部－  
：光学顕微鏡法及び定電電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等
・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点	
・	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定4		セキュリティ ゾーン入口 (空気の流れを 確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定5		負圧・粉じん装 置の排出吹出口 (除じん装置の 性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点	
・	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定7	処理作業後 シート 撤去前	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点	
・	測定9	処理作業後 シート 撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点	
測 定 点 総 計				点	

注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

・行わない。

(例) アスベスト粉じん濃度測定方法

	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min
試料の吸引時間	5min	120min	240min
試料の透明化	アセトン固定ー有機物灰化ー屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野		
計数アスベスト	幅3μm未満、長さ5μm以上、アスペクト比(長さ/幅) 3以上		
定量限界	50本/L	0.47本/L	0.3本/L

記録する項目

ア．測定結果

イ．測定時間

ウ．測定位置（測定高さとともに図面に記載する。）

エ．サンプリング条件  
（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）

オ．マウンティング法

カ．顕微鏡視野面積、計数視野数

キ．測定時（各測定場所ごとの）  
天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

測定機関  
都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 [6.1.3(3)]

施工記録報告書の提出

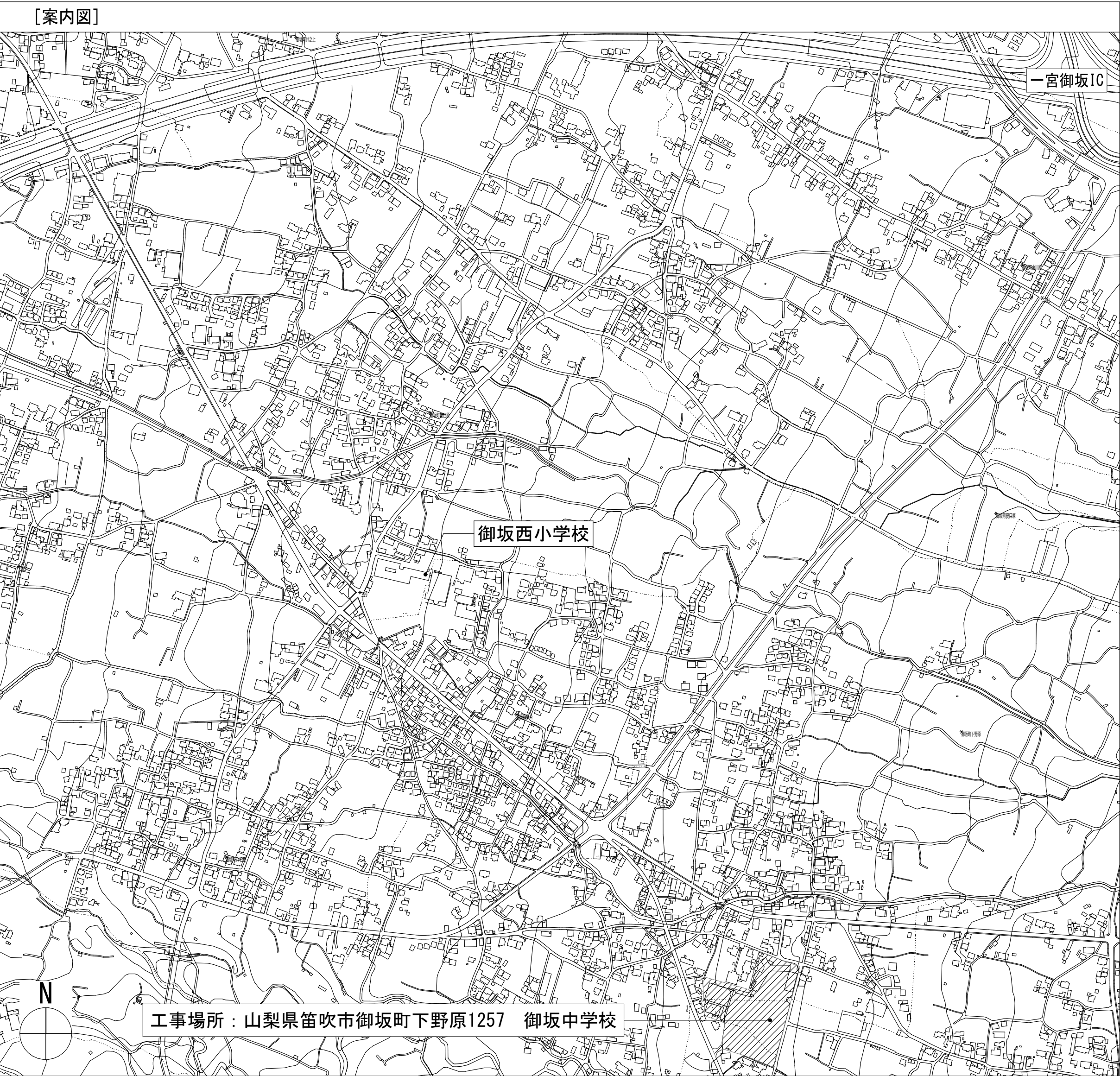
1. 施工計画書
2. 工事記録及び工事写真
3. 産業廃棄物処理記録（廃石棉）
4. 施工調査等記録（条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等）
5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
6. その他必要事項

提出部数          部作成

	縮 尺	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
		図面名称 特記仕様書-1	No. DⅢ01



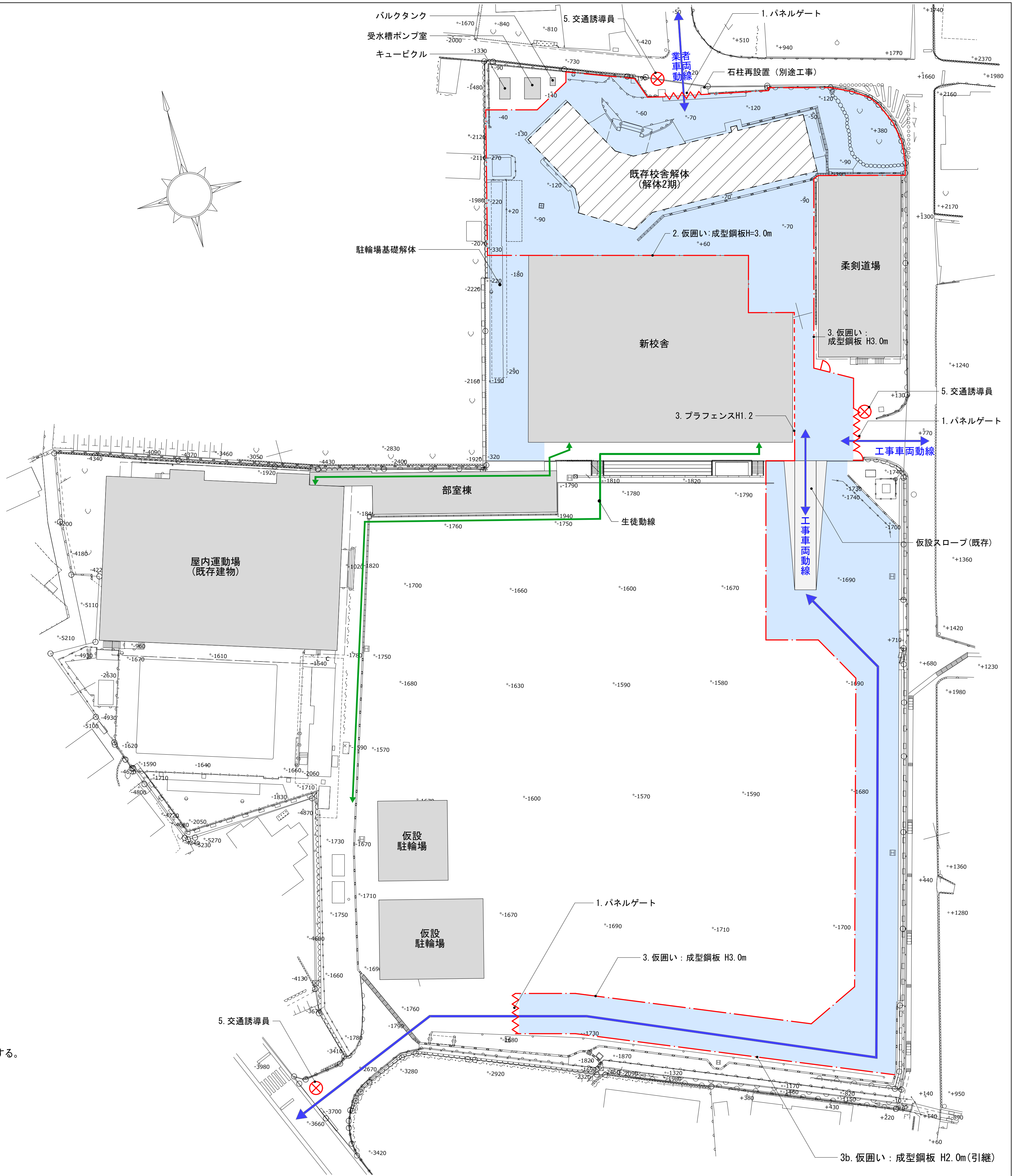




■仮設計画

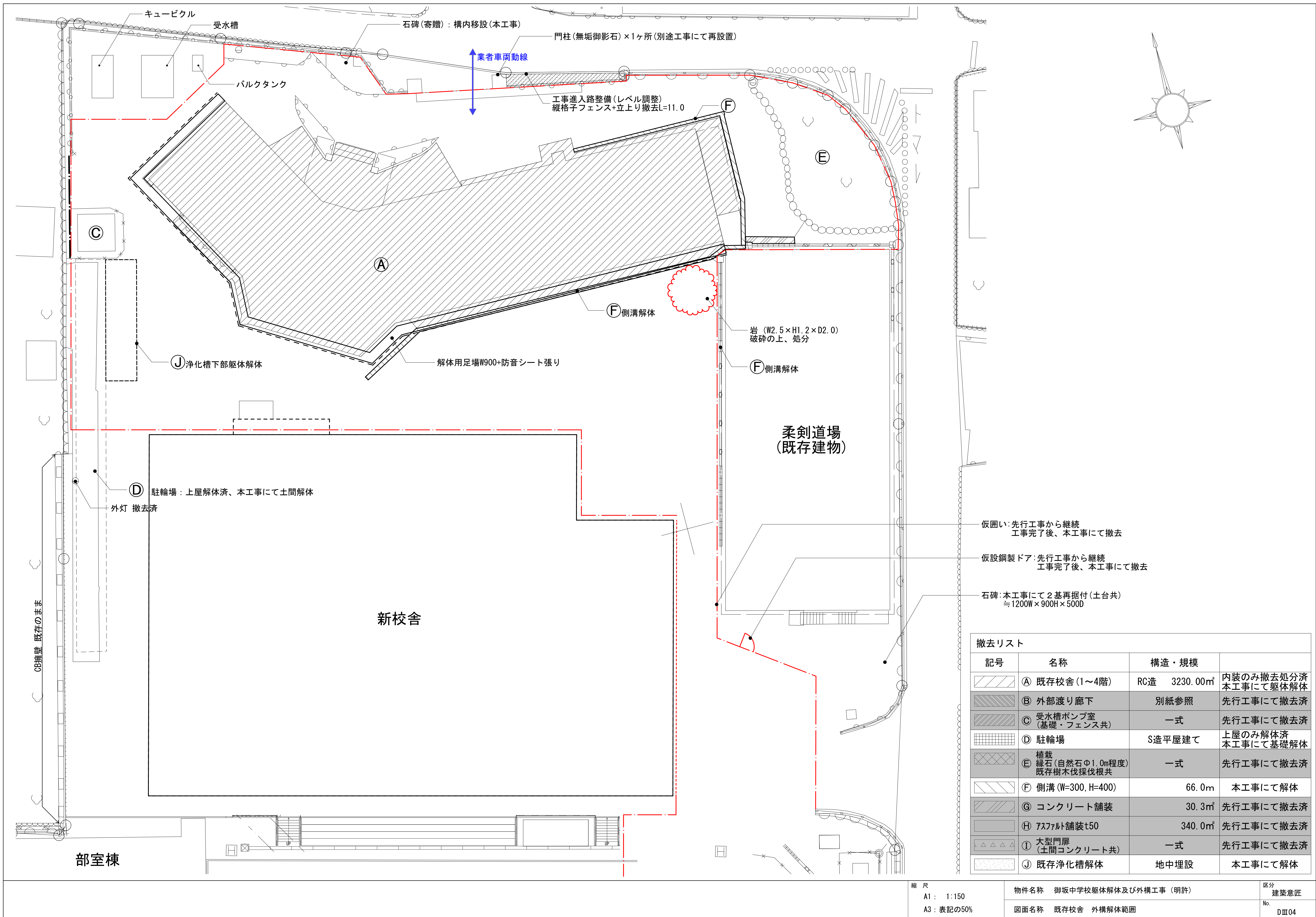
記号	仕様	数量
	1. 門扉：パネルゲート W7200×H4500	3 (ヶ所)
	2. 仮囲い：成型鋼板 H3,000	515 (m)
	3. プラフェンス H1,200	23 (m)
	4. 片開き戸	2.0 (ヶ所)
	5. 交通誘導員	延べ250 (人)
	本工程対象建物を示す	
	工事ヤードを示す	
	生徒動線を示す	
	工事車輛動線を示す	

※校舎内残置物、仮囲い部分残置物、柔剣道場ビロティ残置物処分を見込むこと。  
※既存仮囲いについては期待解体工事期間まで継続し、払い手間は本体工事に含むものとする。  
※既存仮設スロープについては本工程にて撤去を見込むこと。残土については場内敷き均しとする。

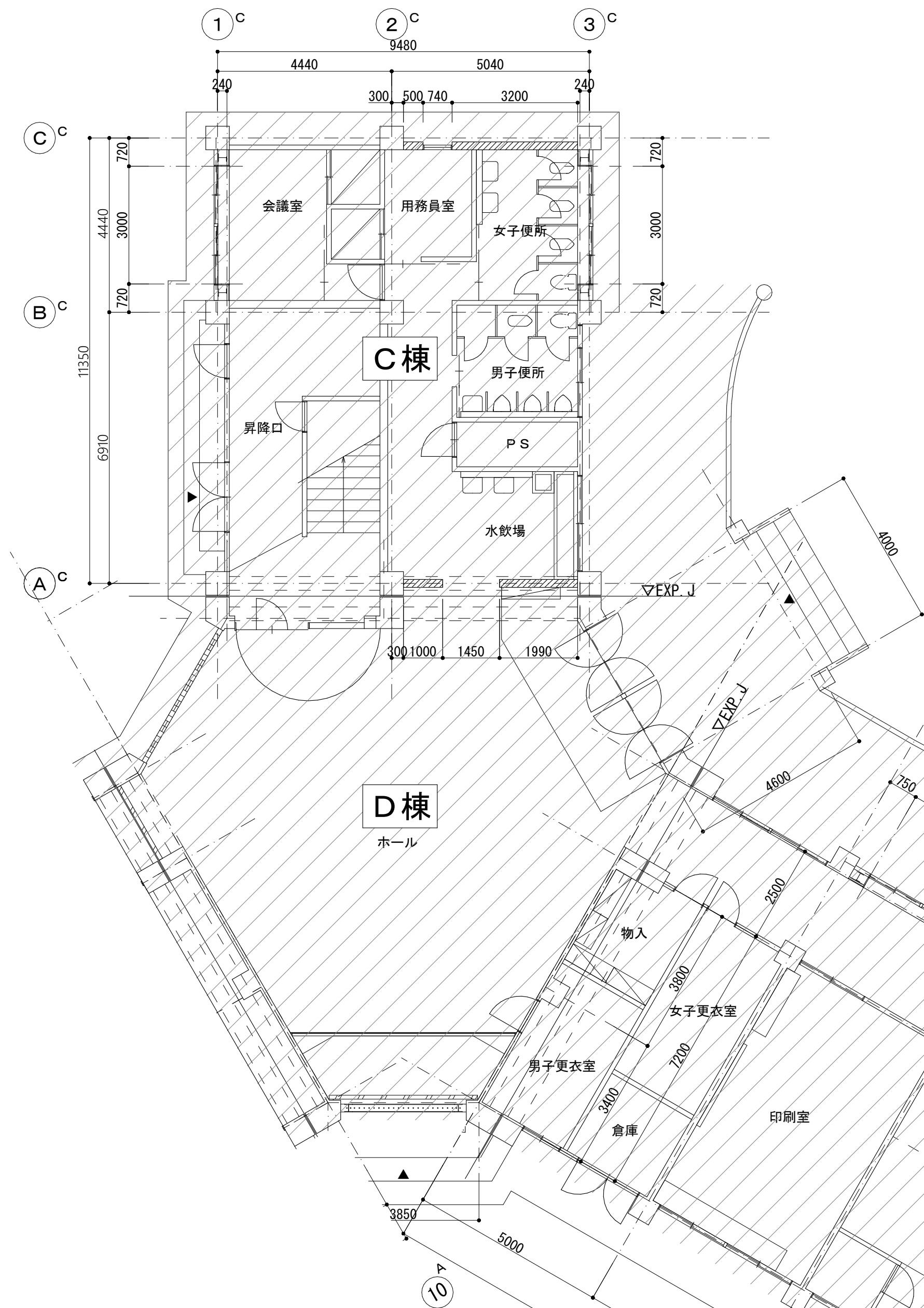


縮尺 A1：1:400 A3：表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 案内図・配置図・仮設計画図（解体工事）	No. DIII03

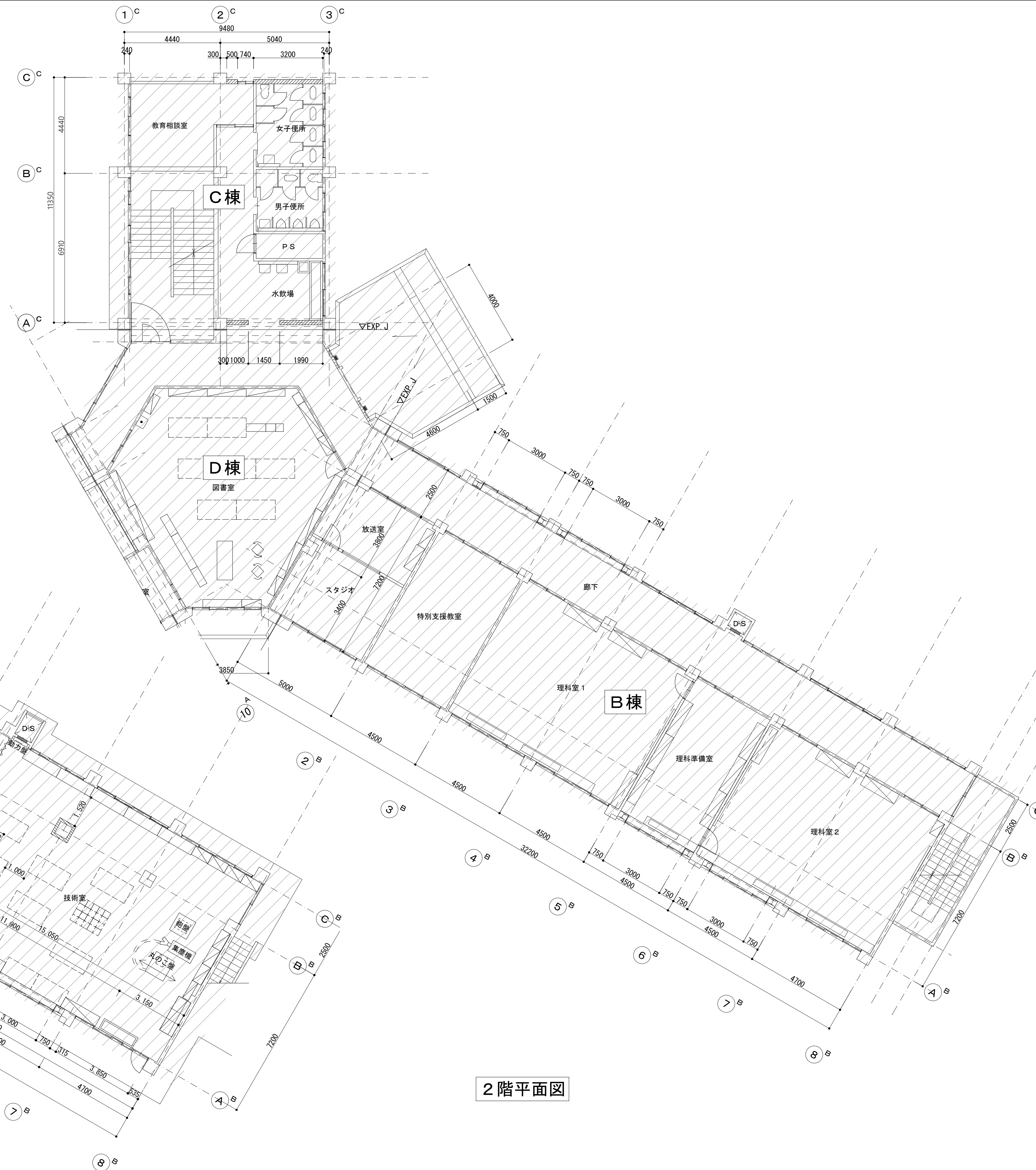








1 階平面図

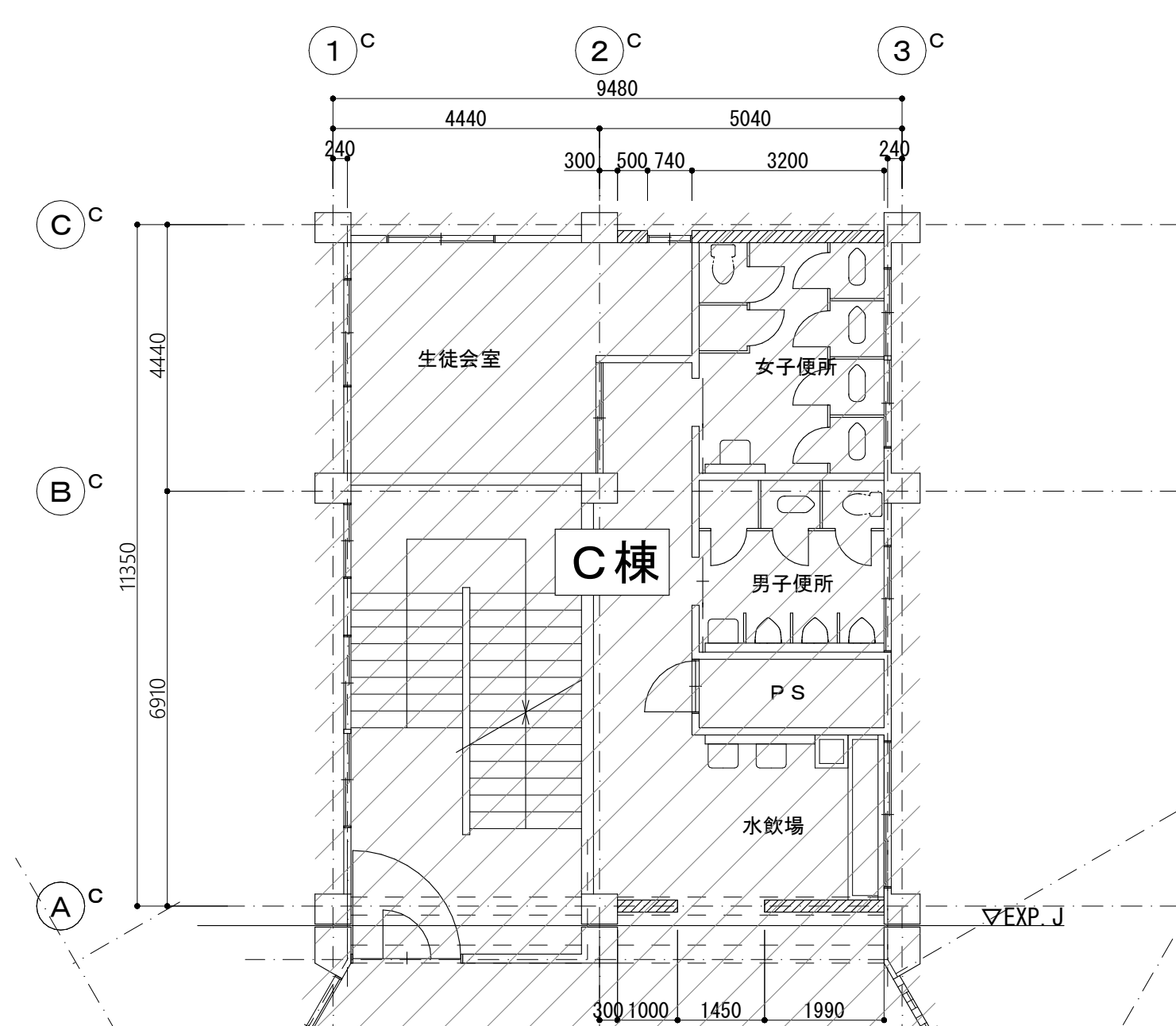


2 階平面図

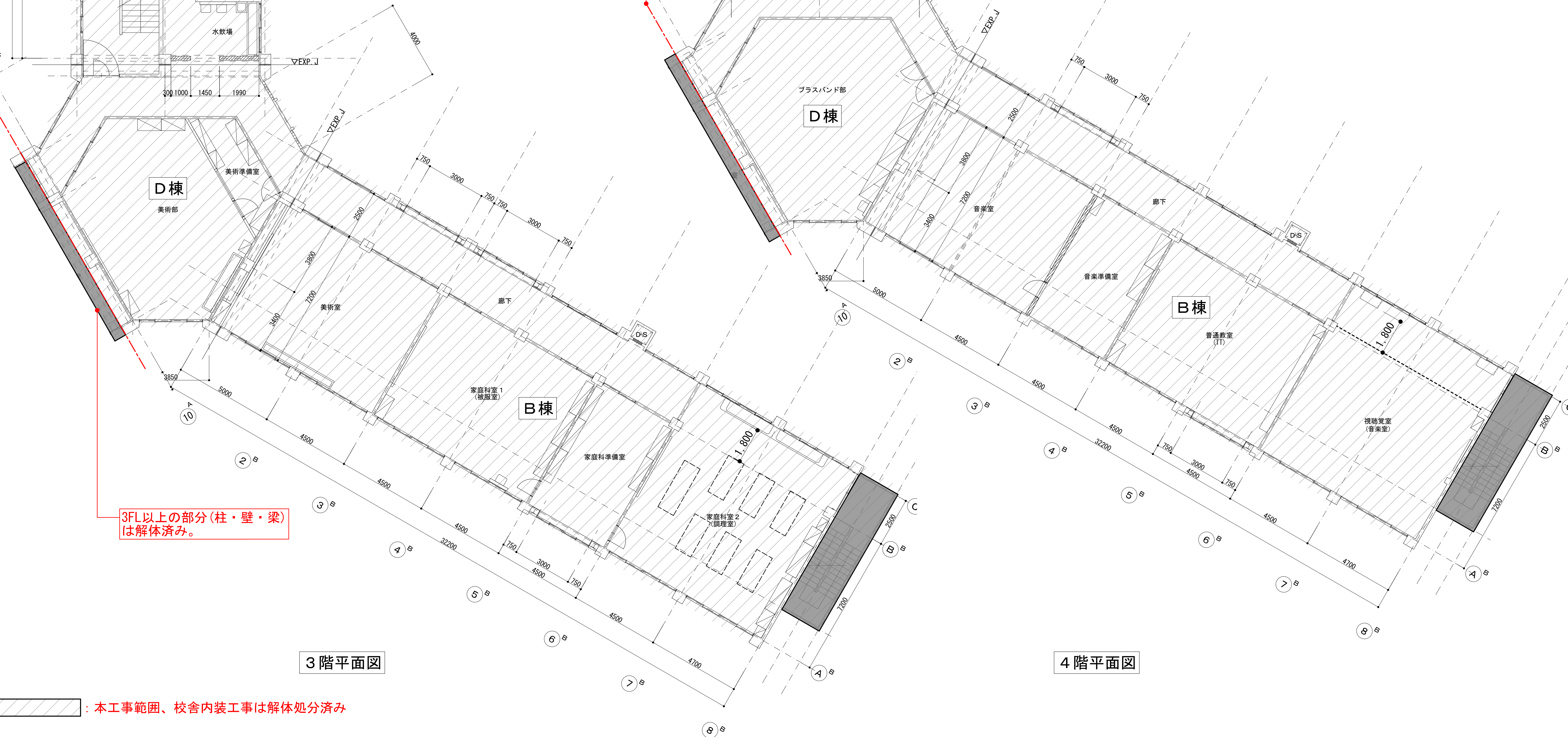
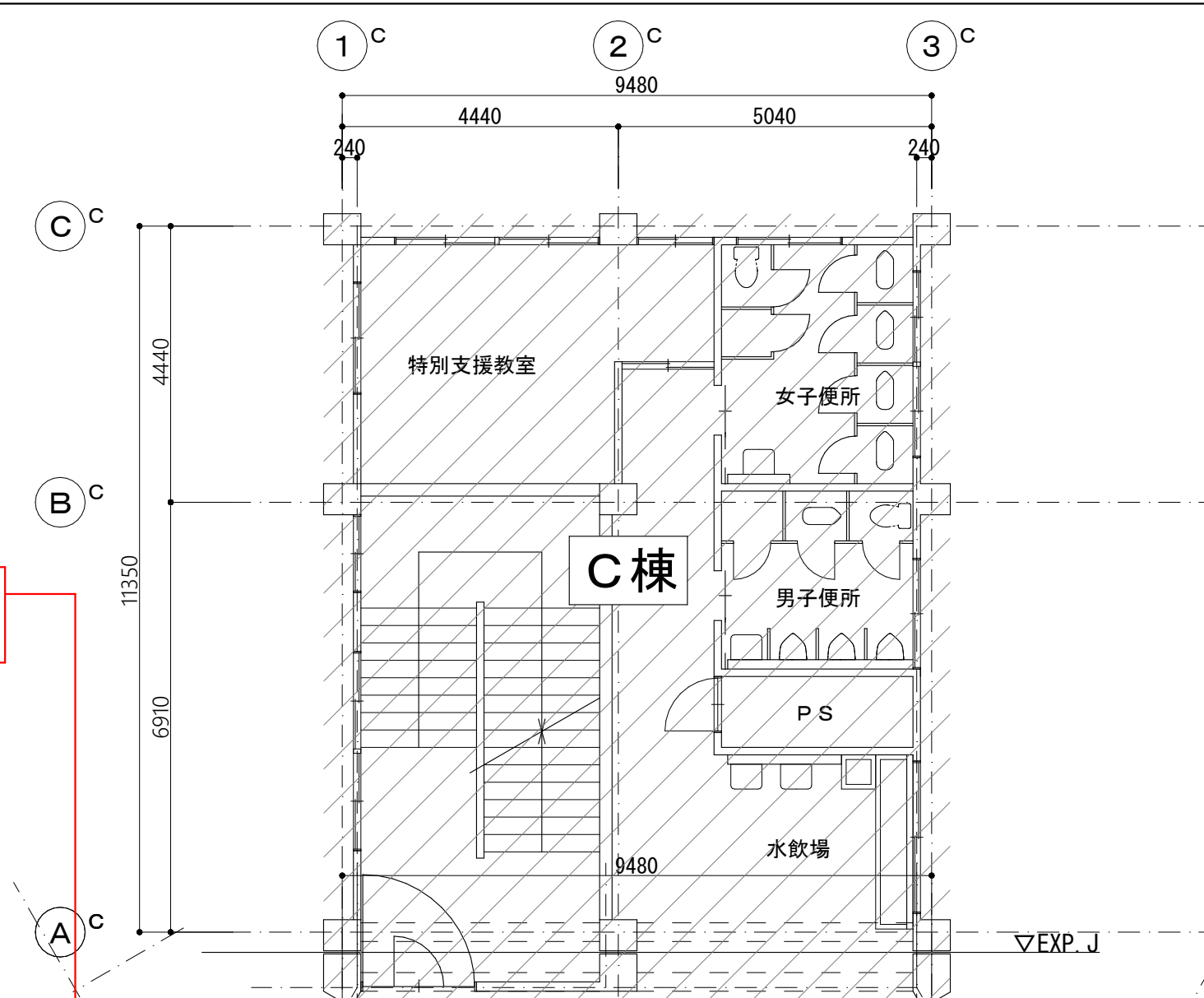
 : 本工事範囲、校舎内装工事は解体処分済み

縮 尺 A1 : 1:100 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 1F・2F平面図	No. DⅢ05





3FL以上の部分(柱・壁・梁)  
は解体済み。



3FL以上の部分(柱・壁・梁)  
は解体済み。

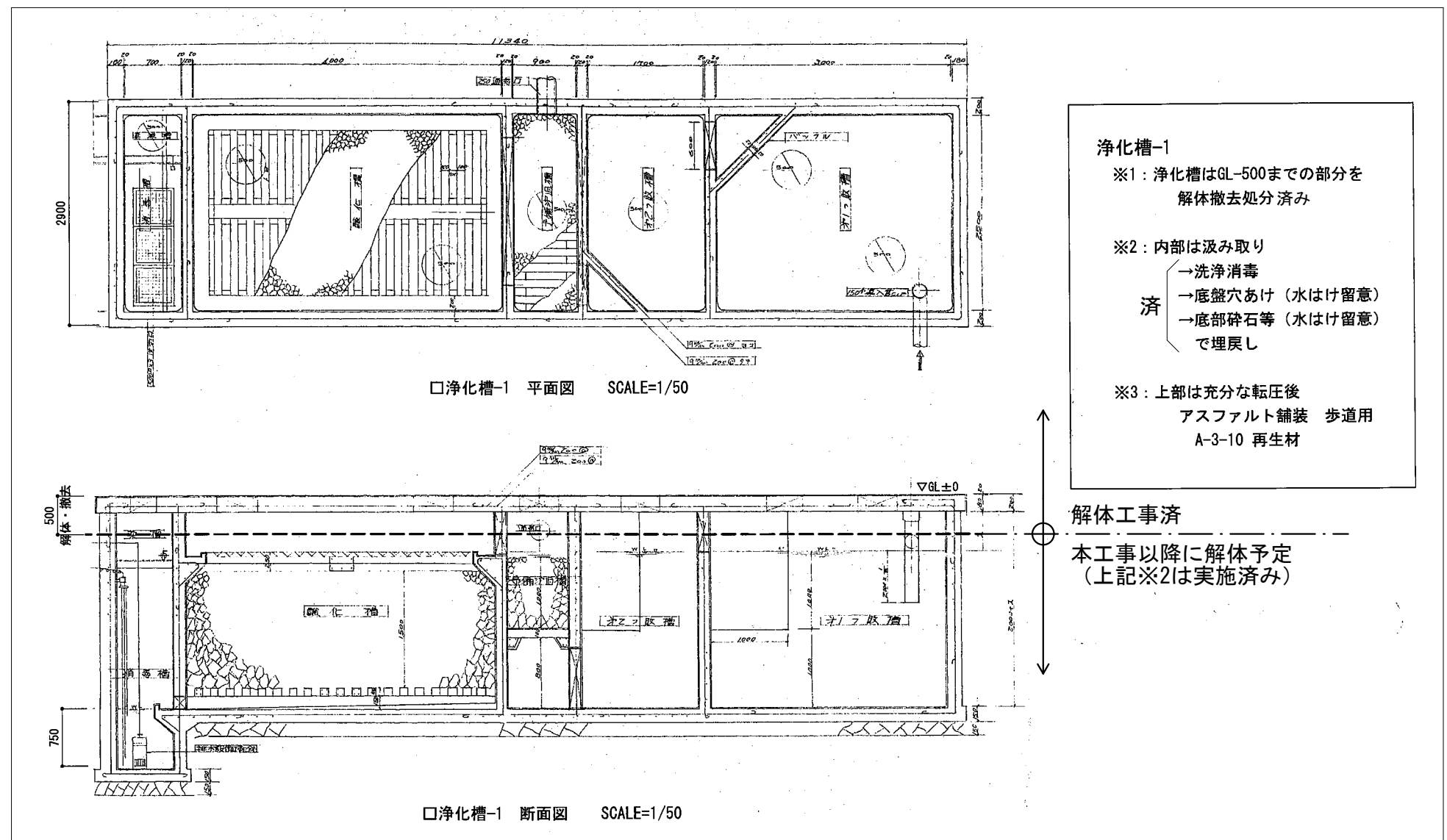
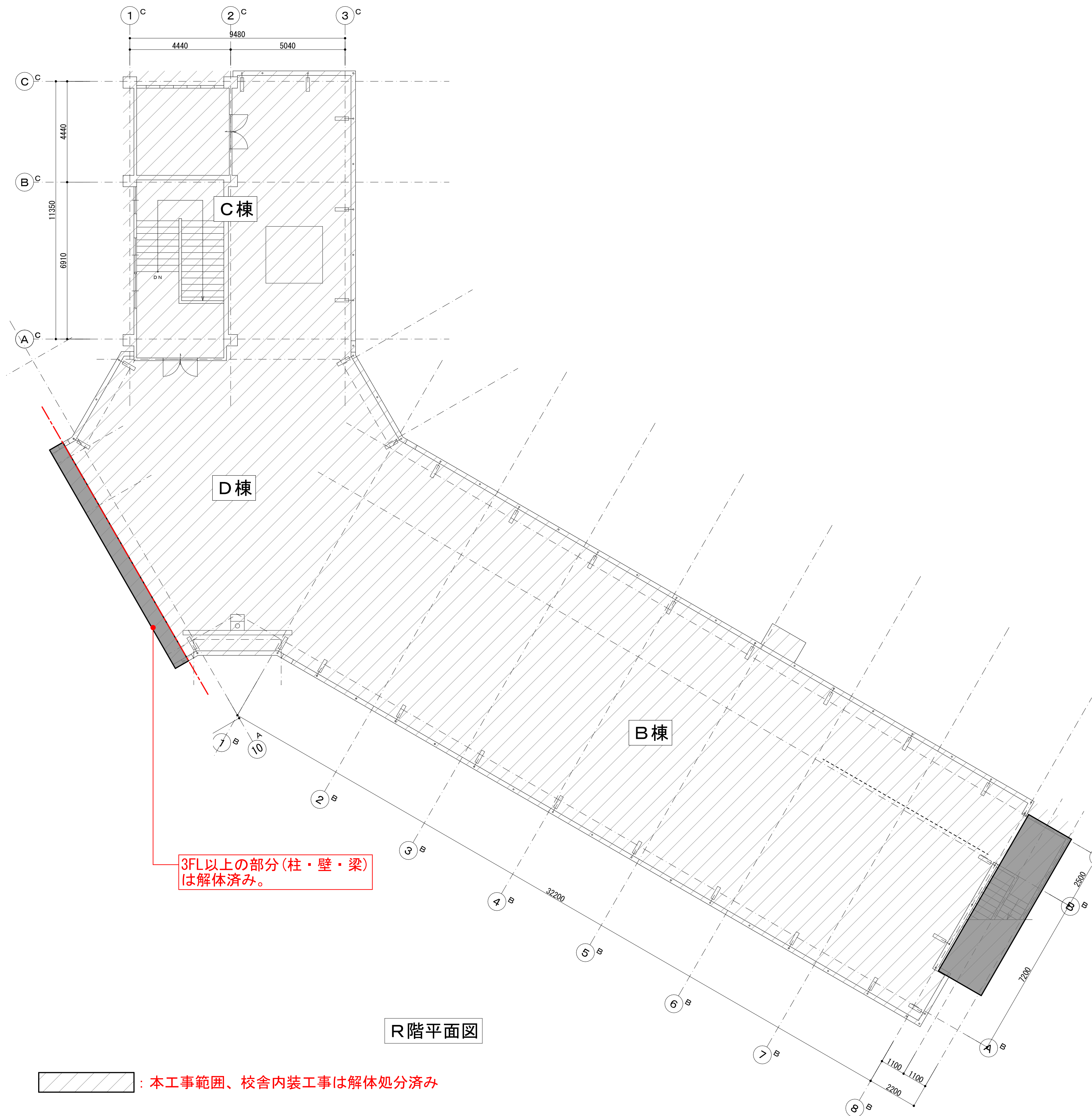
3階平面図

4階平面図

 : 本工事範囲、校舎内装工事は解体処分済み

縮尺 A1 : 1:100 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 3F・4F平面図	No. DⅢ06





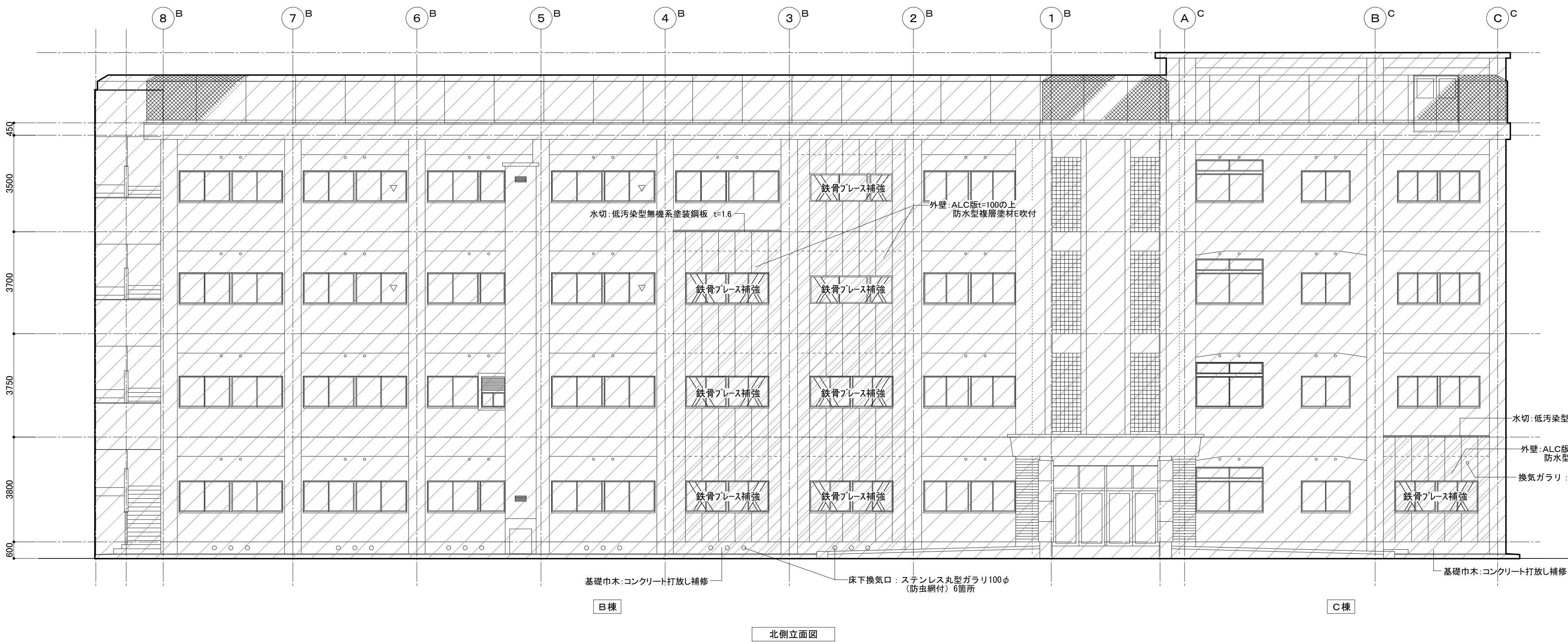
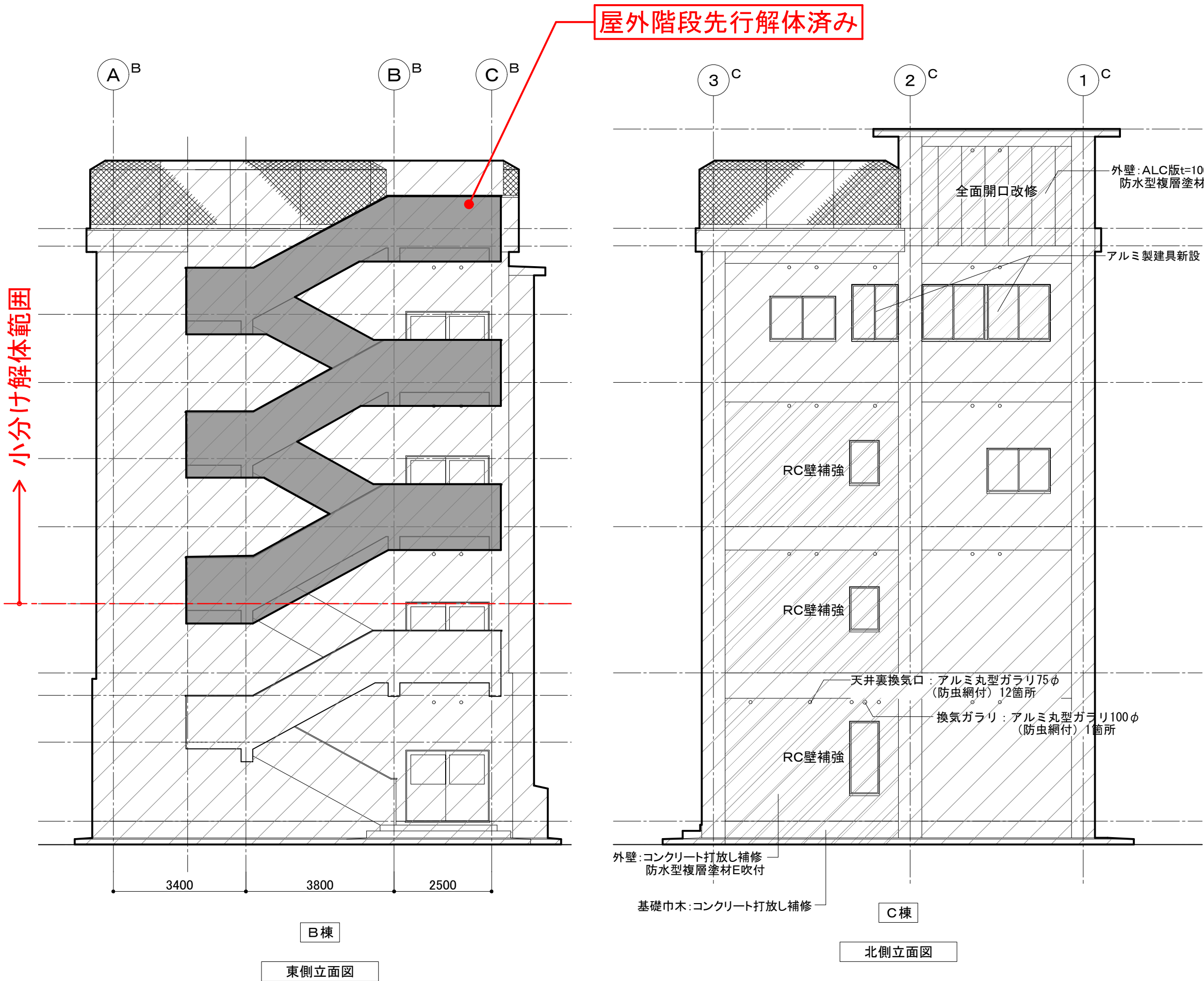
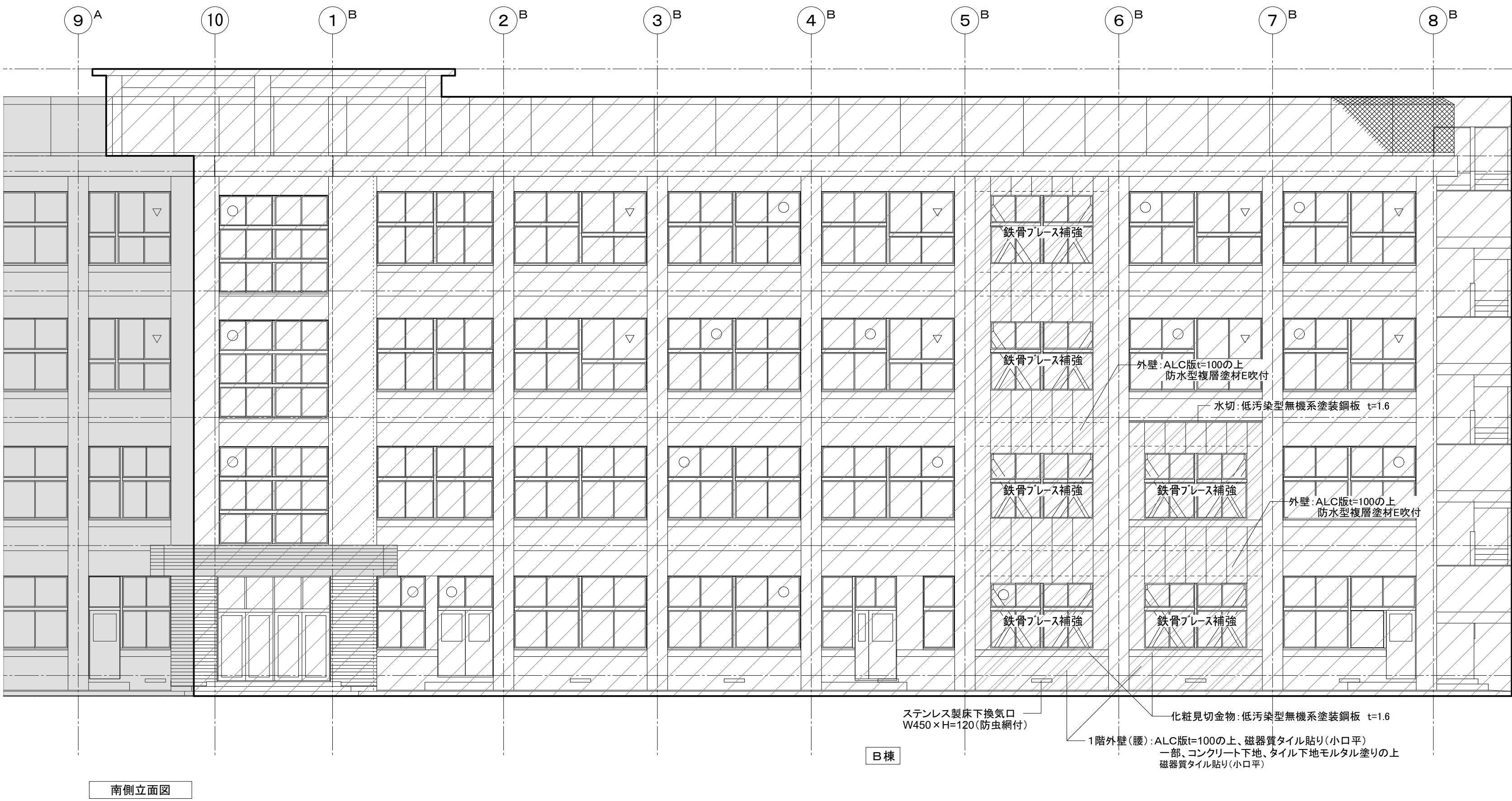
J\_浄化槽詳細図

縮 尺 A1 : 1:100 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 RF平面図・浄化槽詳細図	No. DIII07







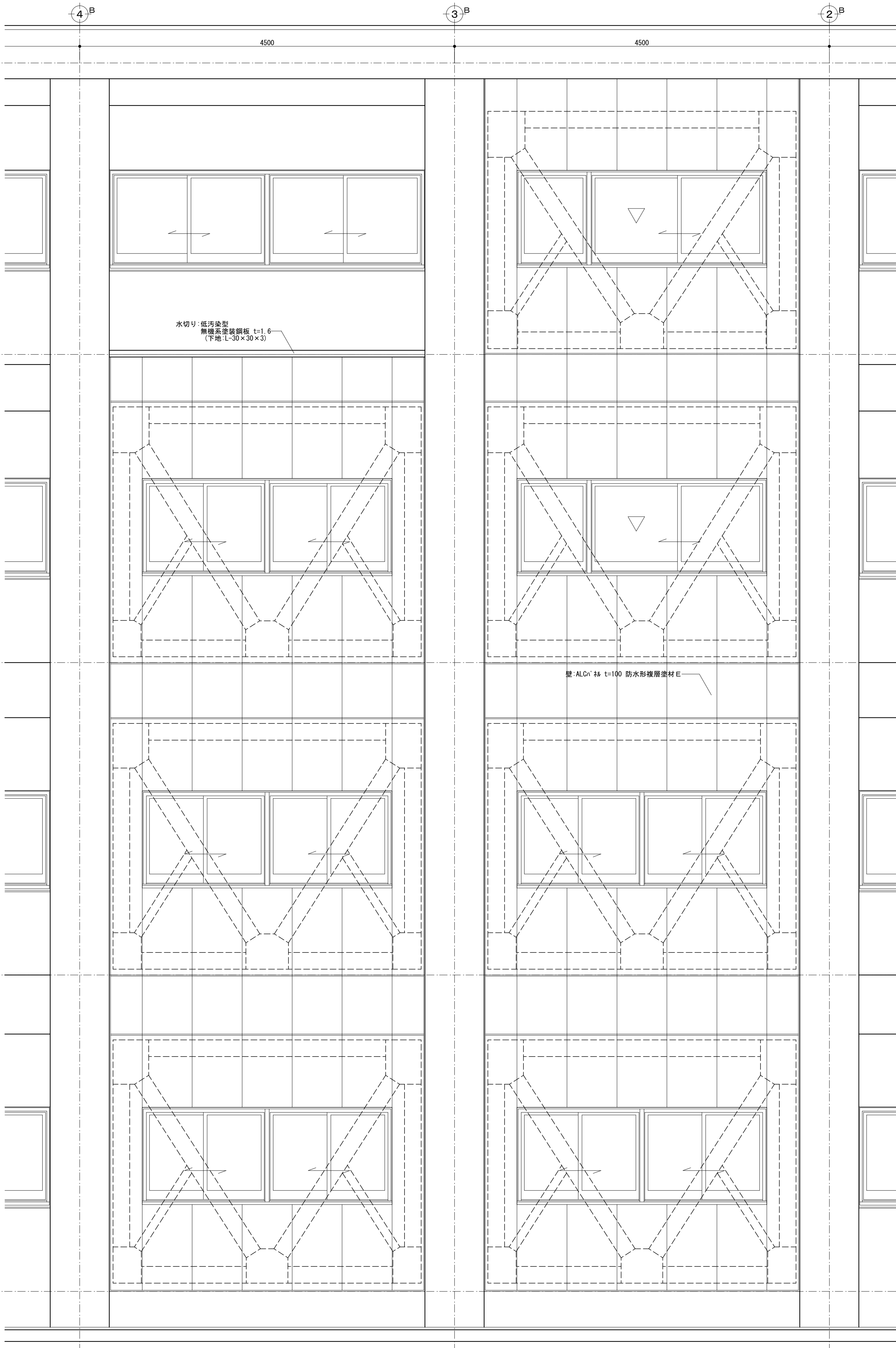
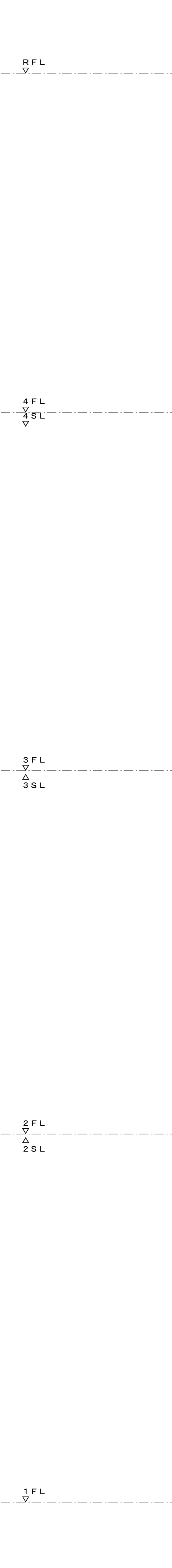
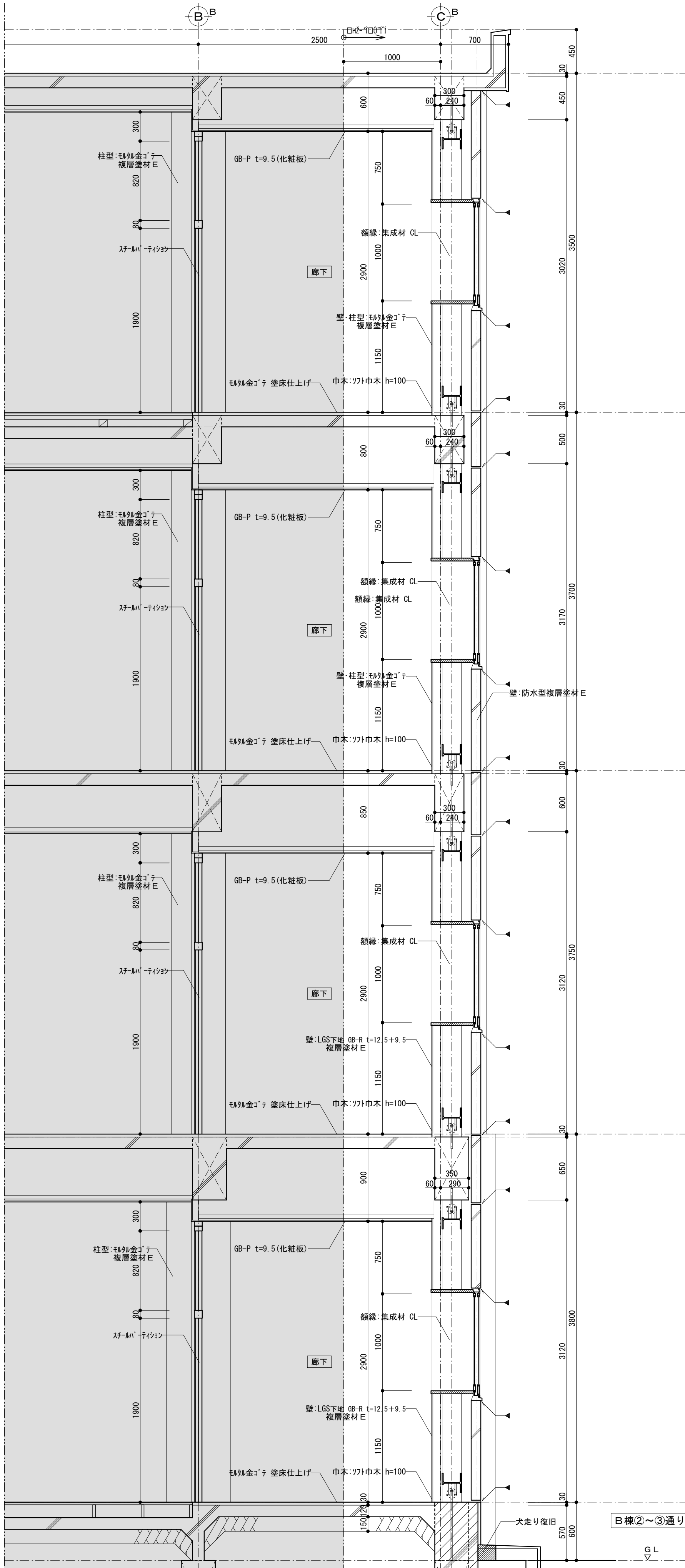


縮尺 A1: 1:100 A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事(明許)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 立面図(参考)	No. DIII 09



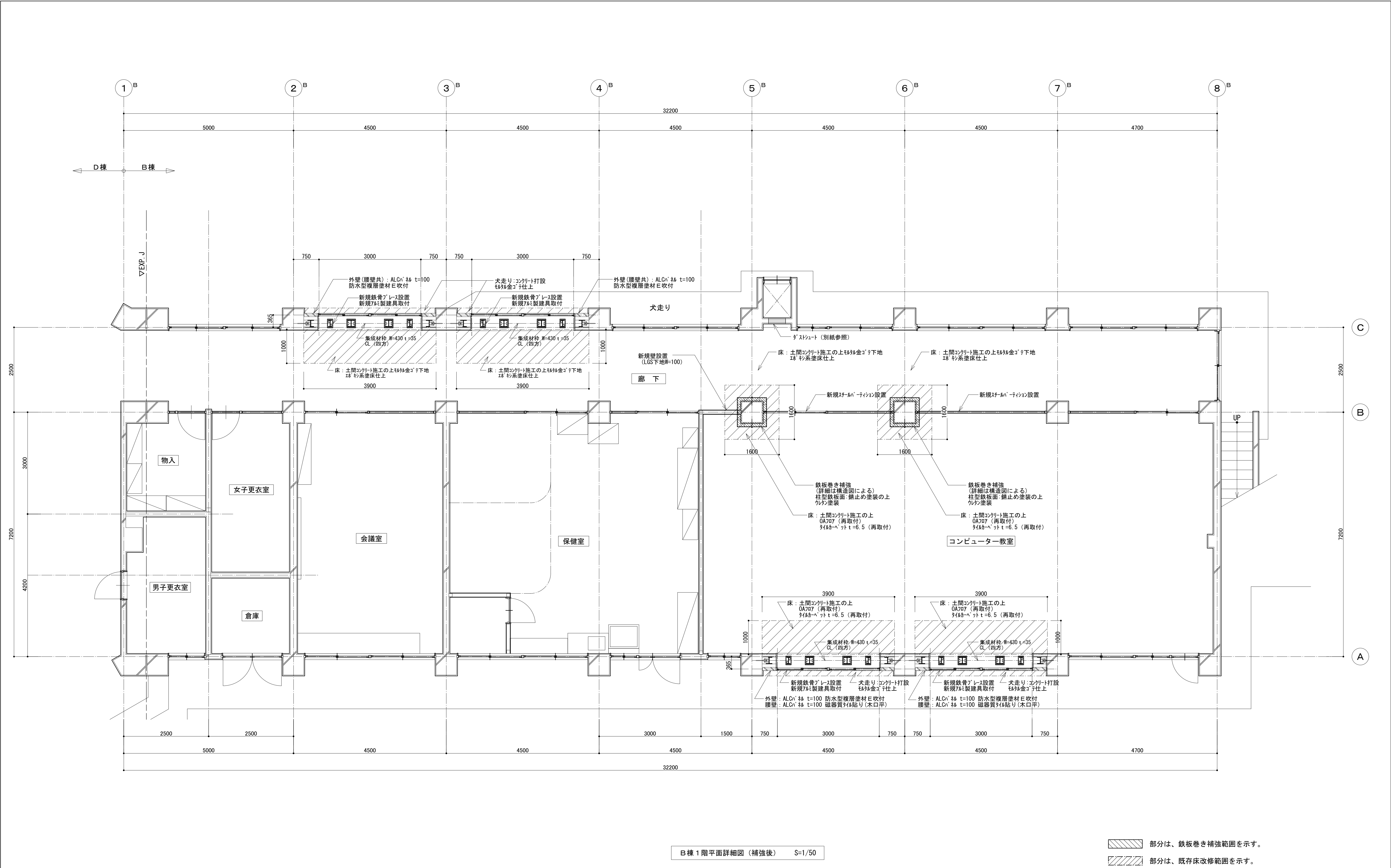






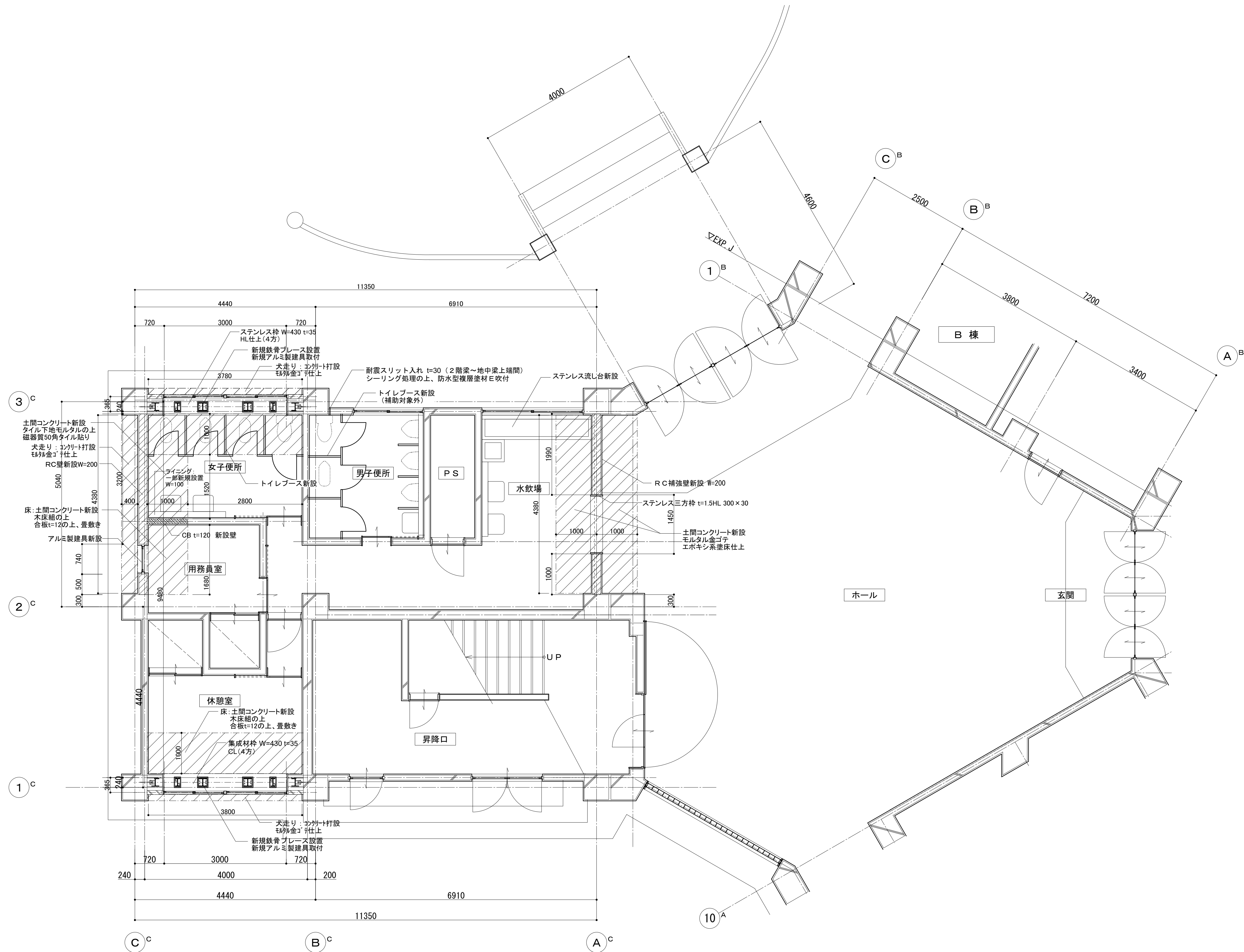
縮尺 A1 : 1:30 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 矩計図2（参考）	No. DⅢ11





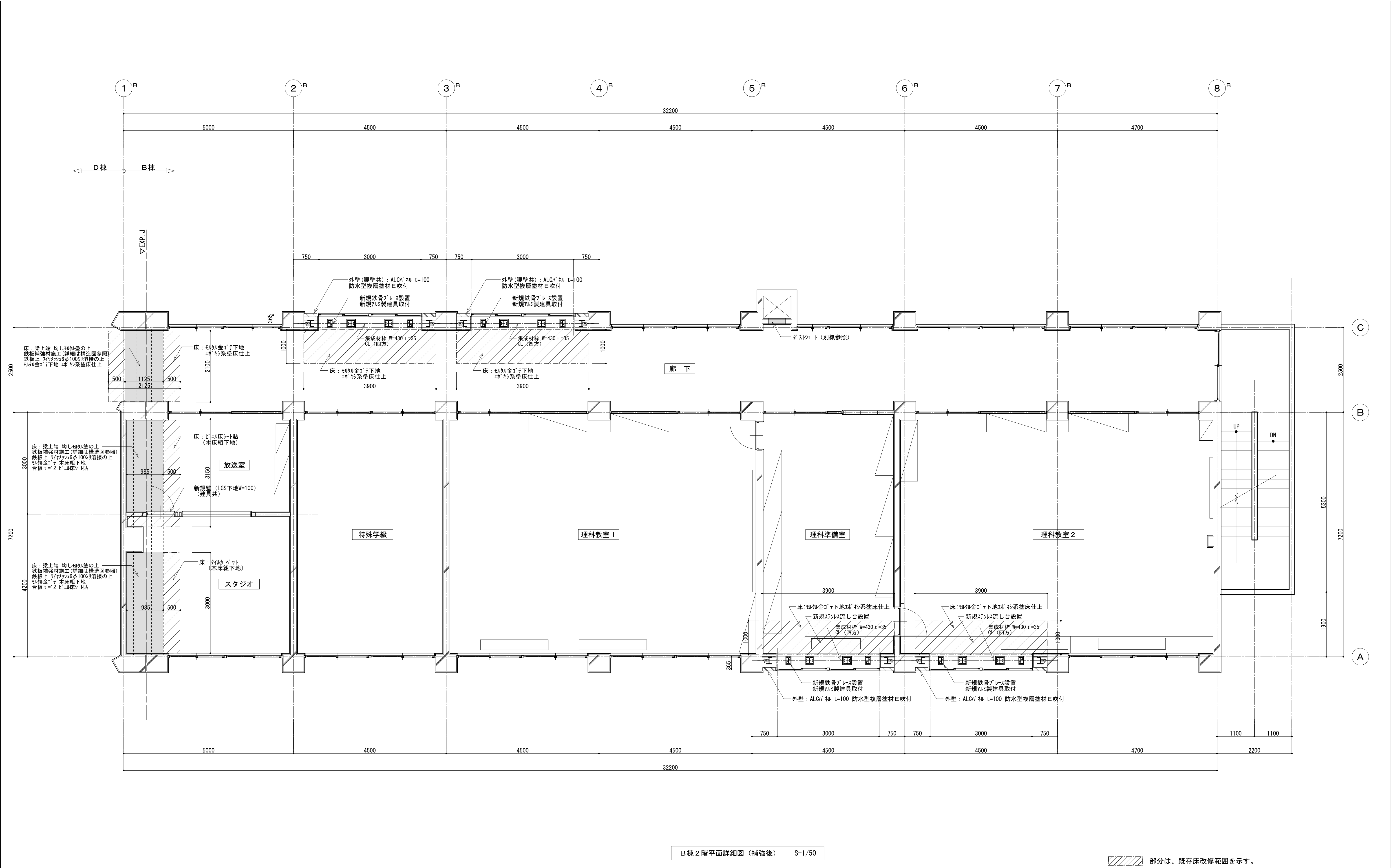
縮尺 A1: 1:50 A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事 (明許)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 1F平面詳細図-1 (参考)	No. DIII 12





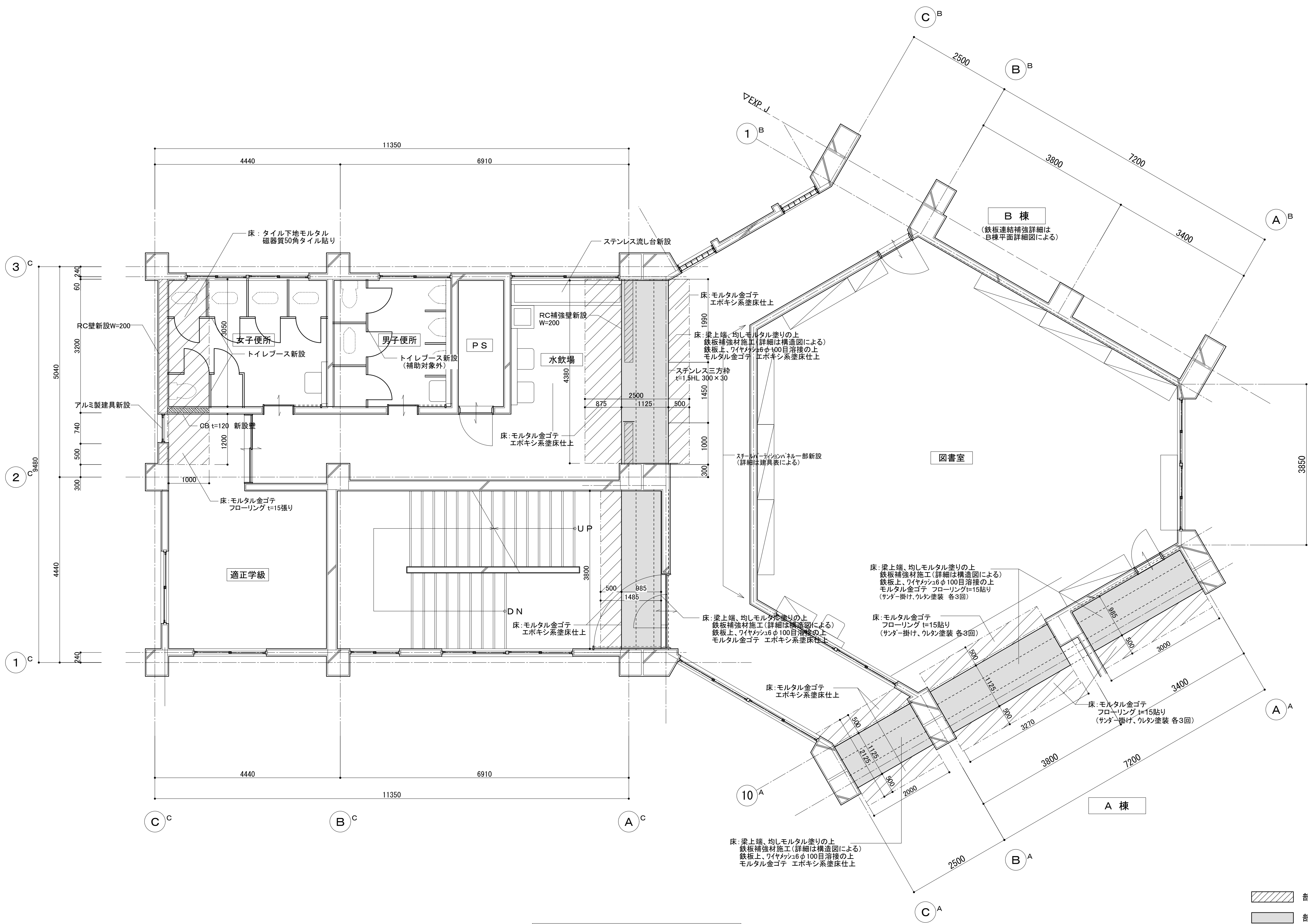
C棟・D棟1階平面詳細図(補強後) S=1/50

- 部分は、RC補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、EXP.J部連結範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。



縮尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 2F平面詳細図-1（参考）	No. DⅢ 14

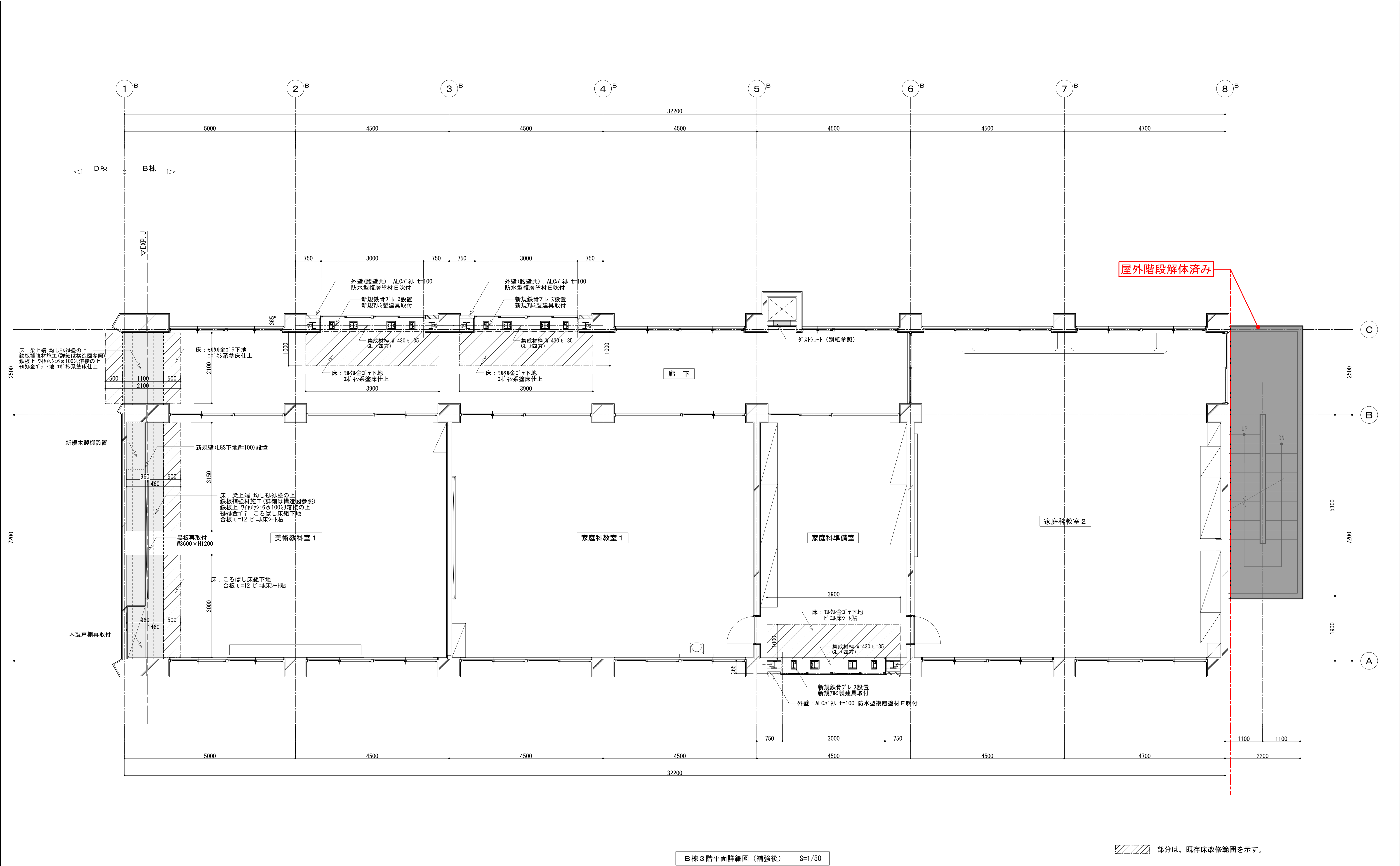




C棟・D棟2階平面詳細図（補強後） S=1/50

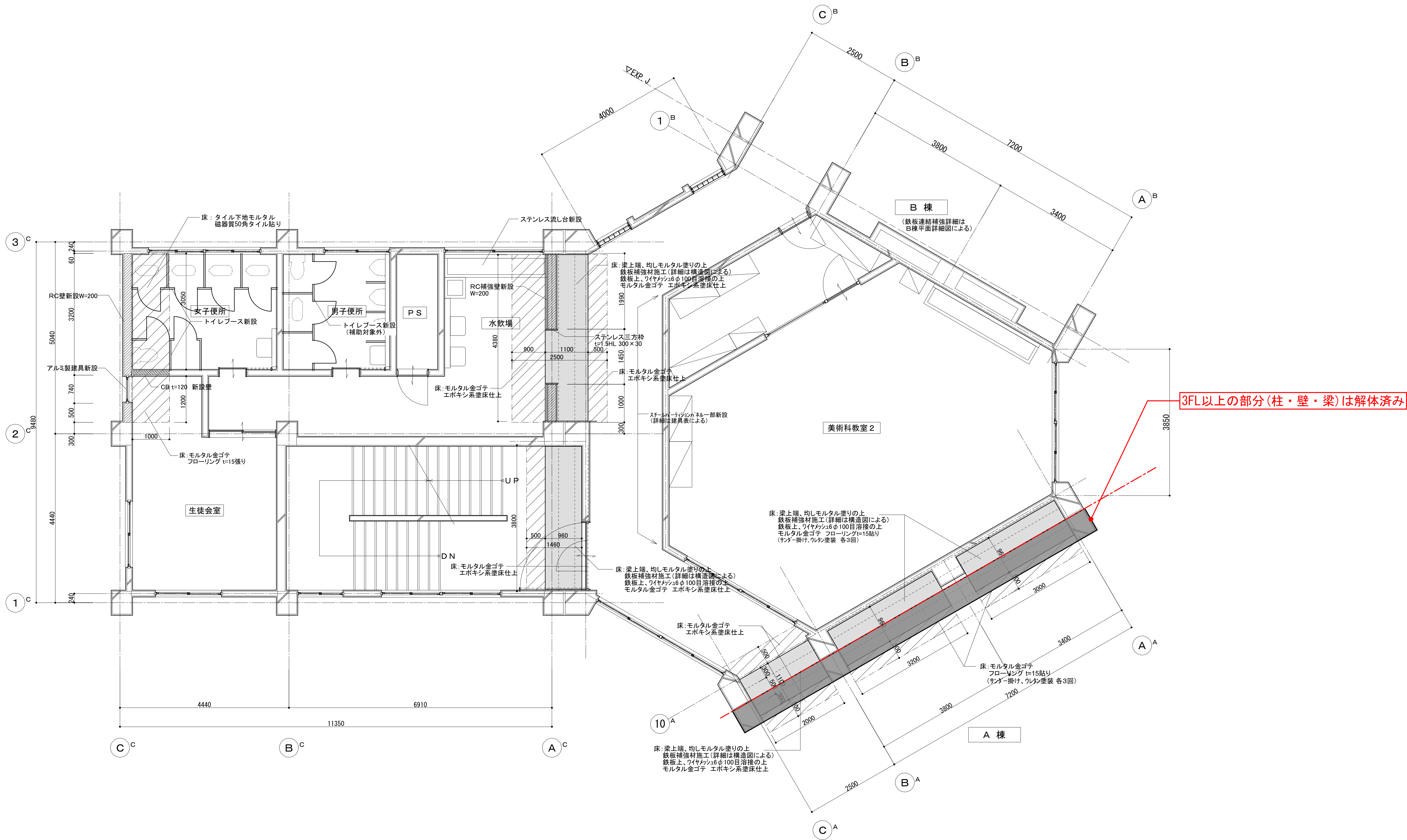
- 部分は、R C補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、鉄板巻き補強範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。





	縮尺 A1: 1:50 A3: 表記の50%	物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事(明許)	区分 建築意匠
		図面名称	既存校舎 3F平面詳細図-1(参考)	No. DⅢ16

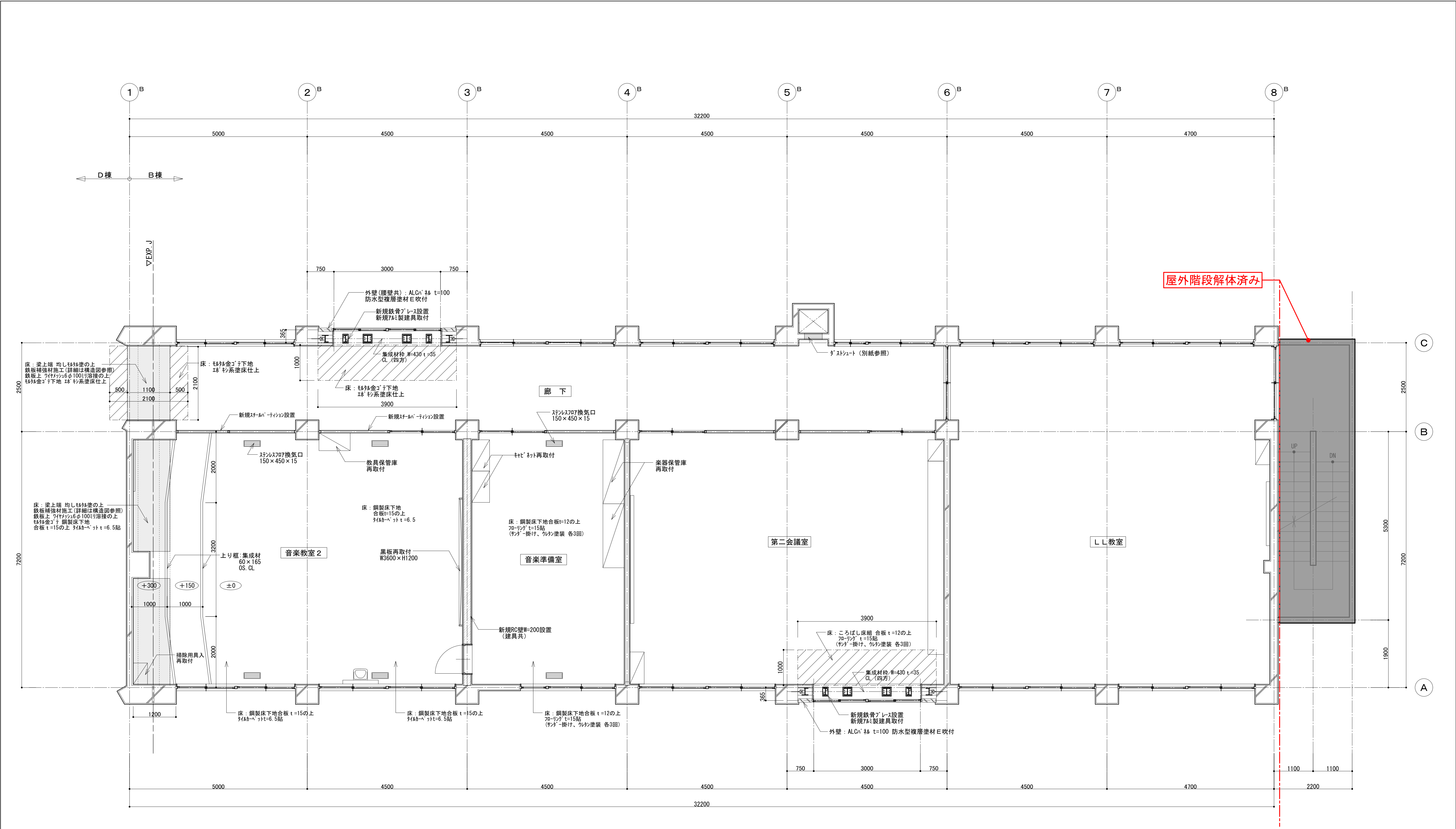




C棟・D棟3階平面詳細図(補強後) S=1/50

- 部分は、RC補強壁設置範囲を示す。
- 部分は、鉄板巻き補強範囲を示す。
- 部分は、既存床改修範囲を示す。

	縮 尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事(明許)	区分 建築意匠
		図面名称	既存校舎 3F平面詳細図-2(参考)	No. DⅢ17



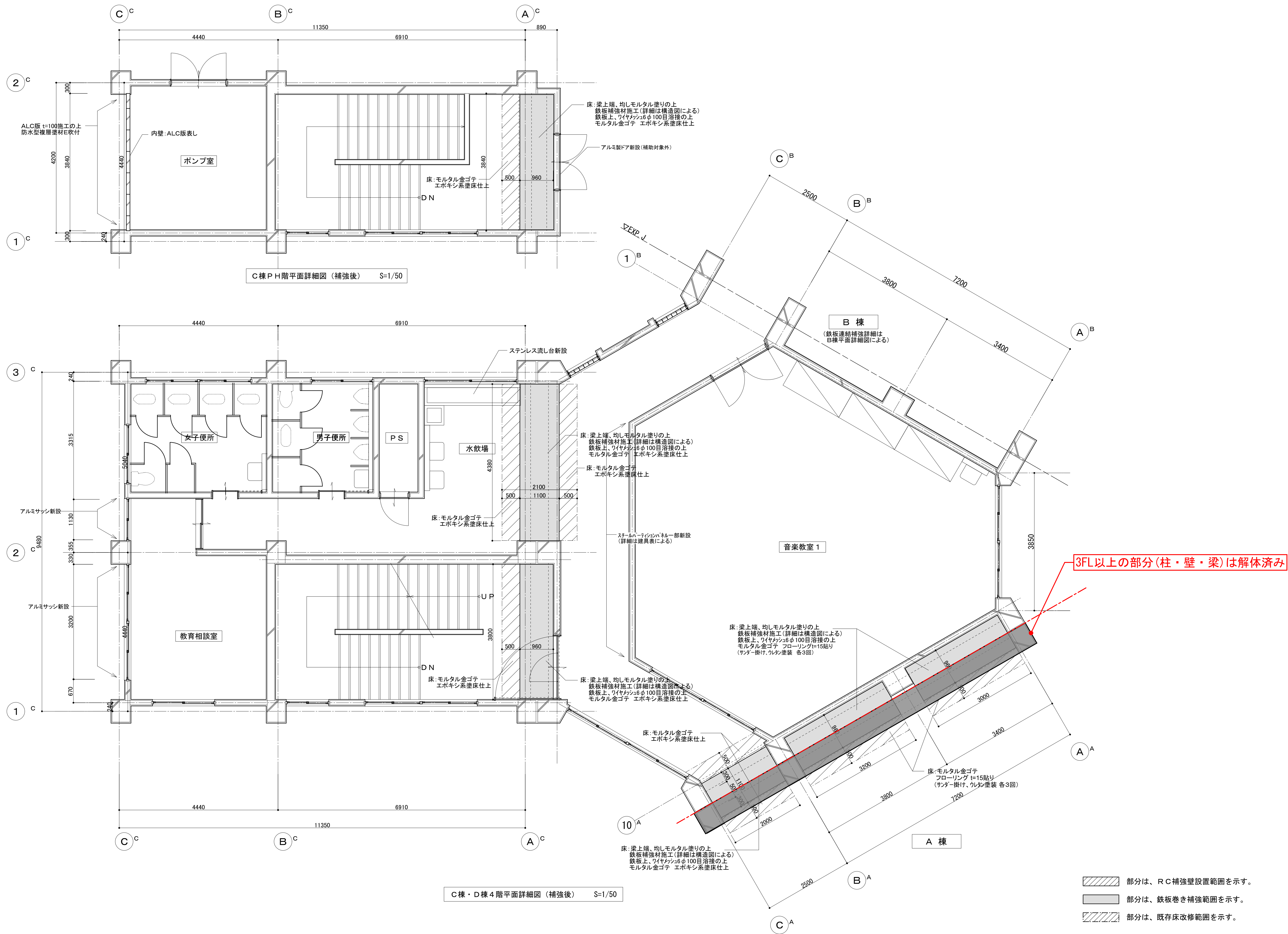
部分は、RC補強壁設置範囲を示す。

部分は、既存床改修範囲を示す。

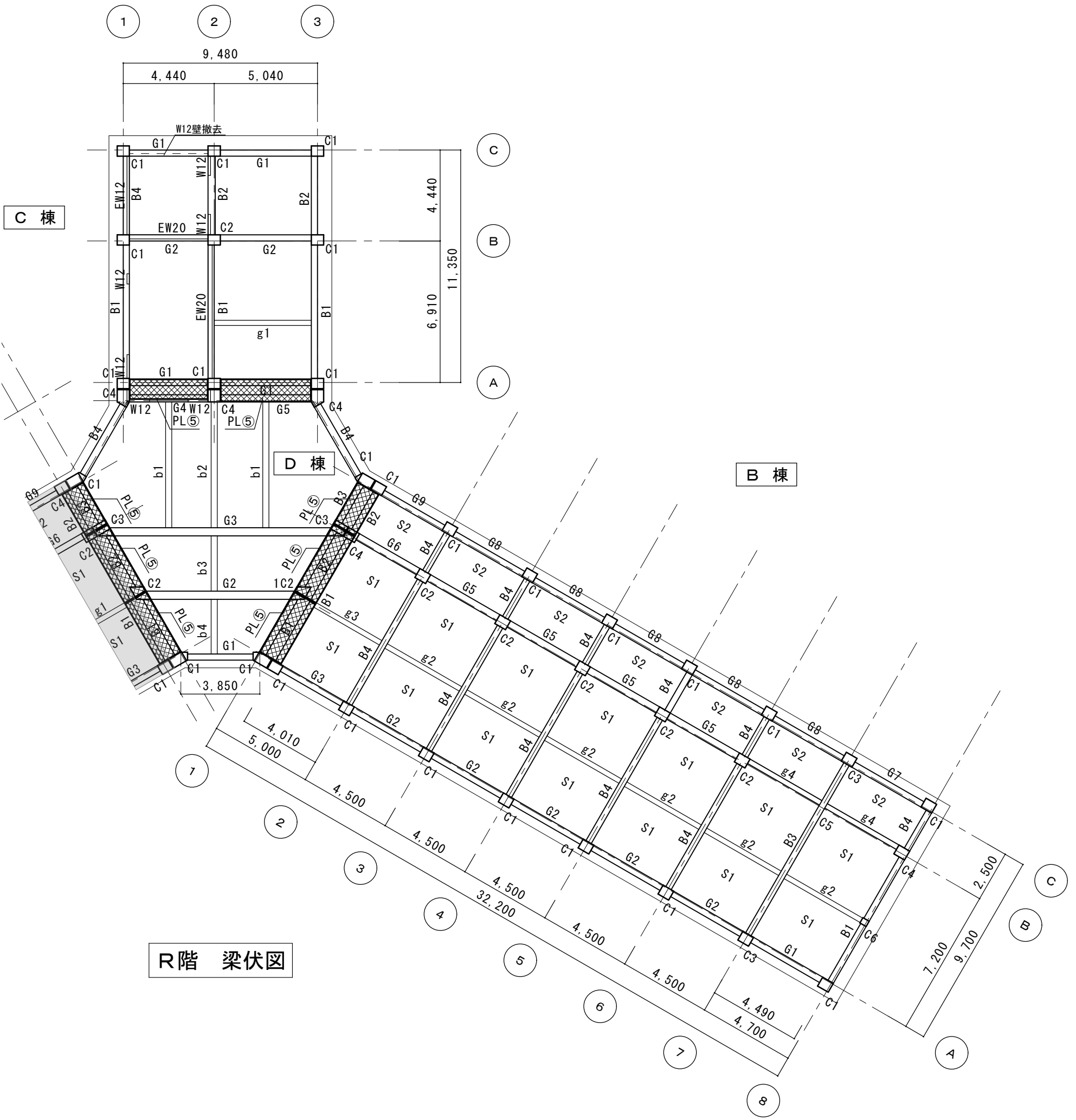
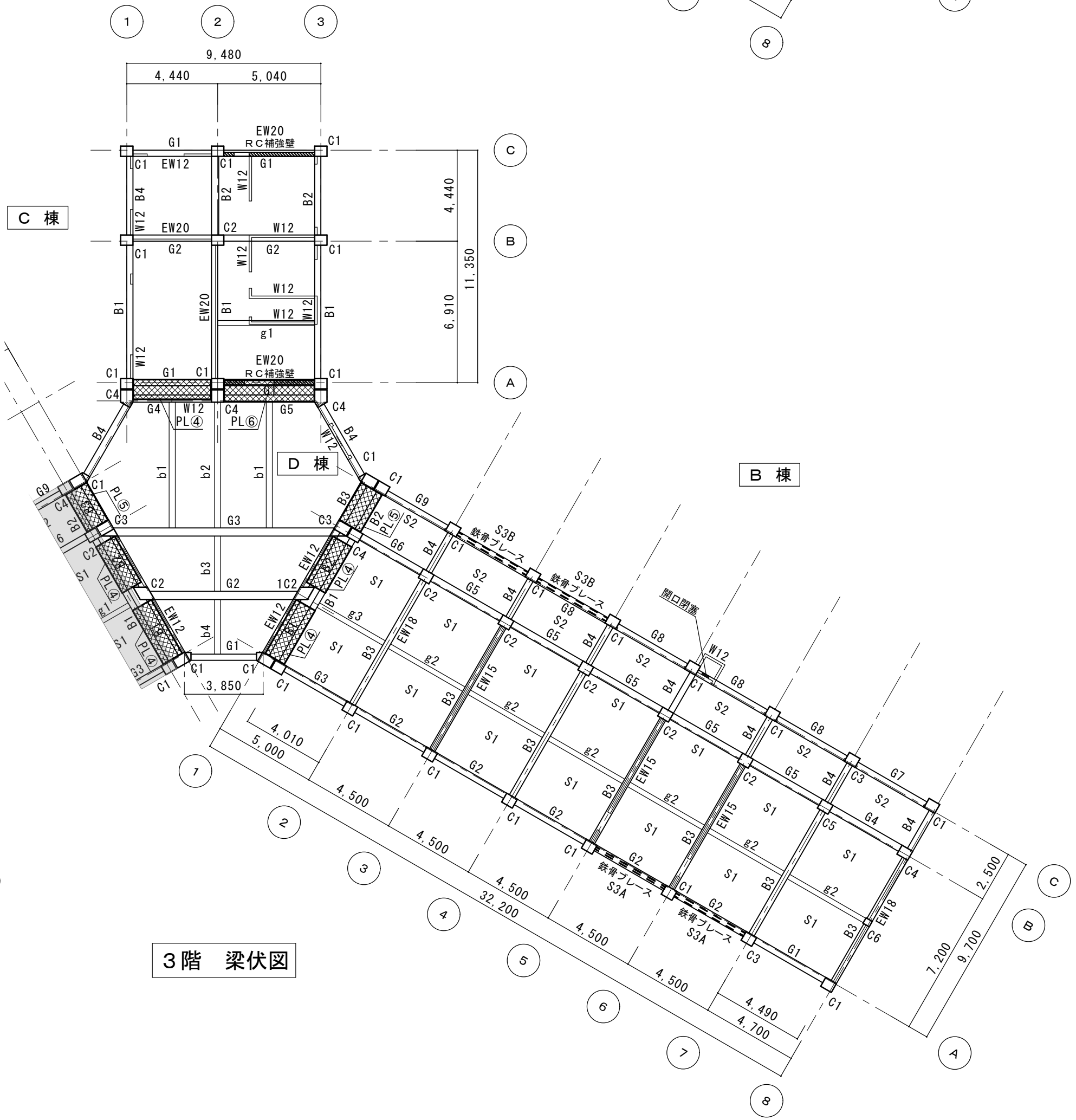
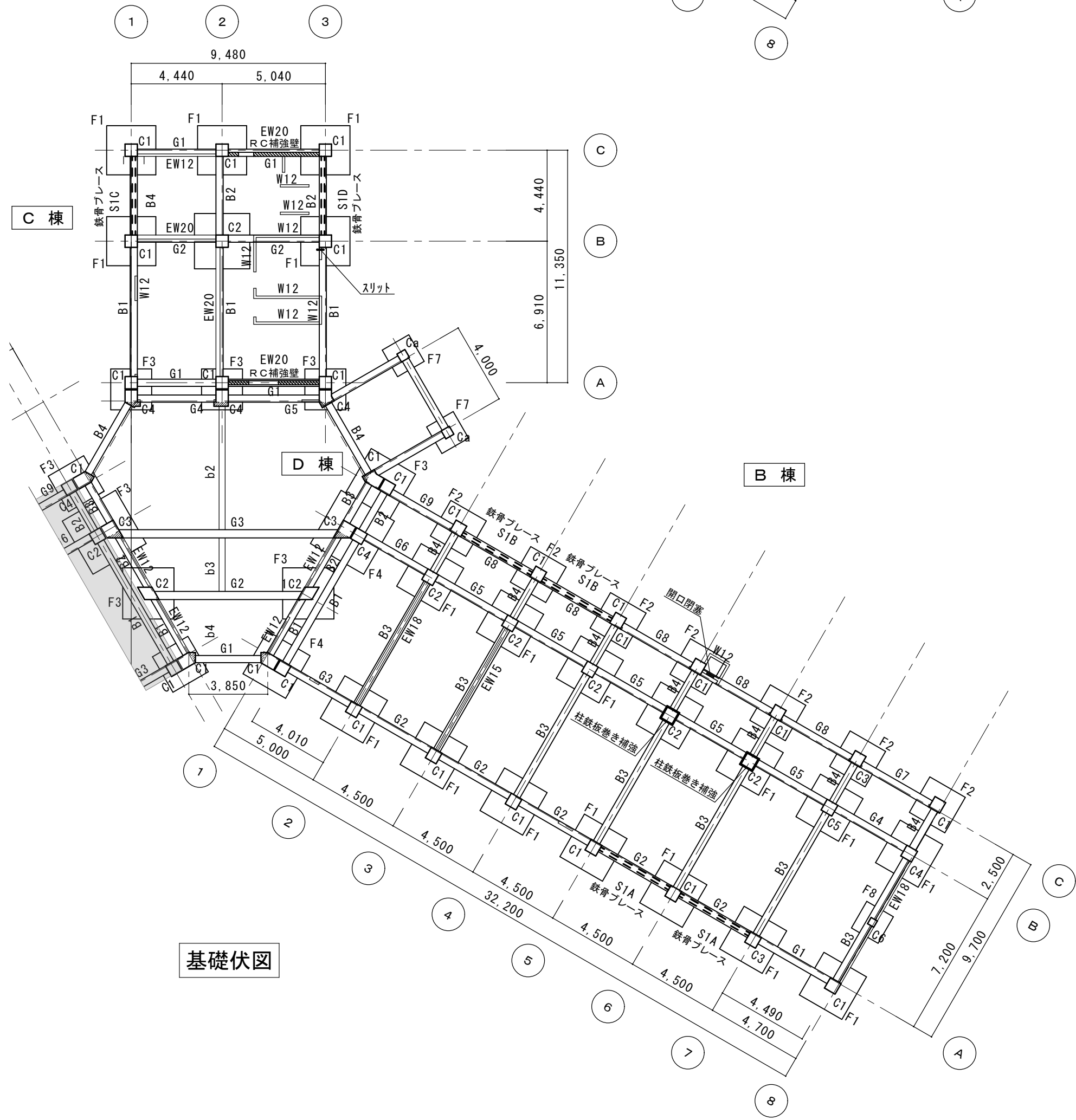
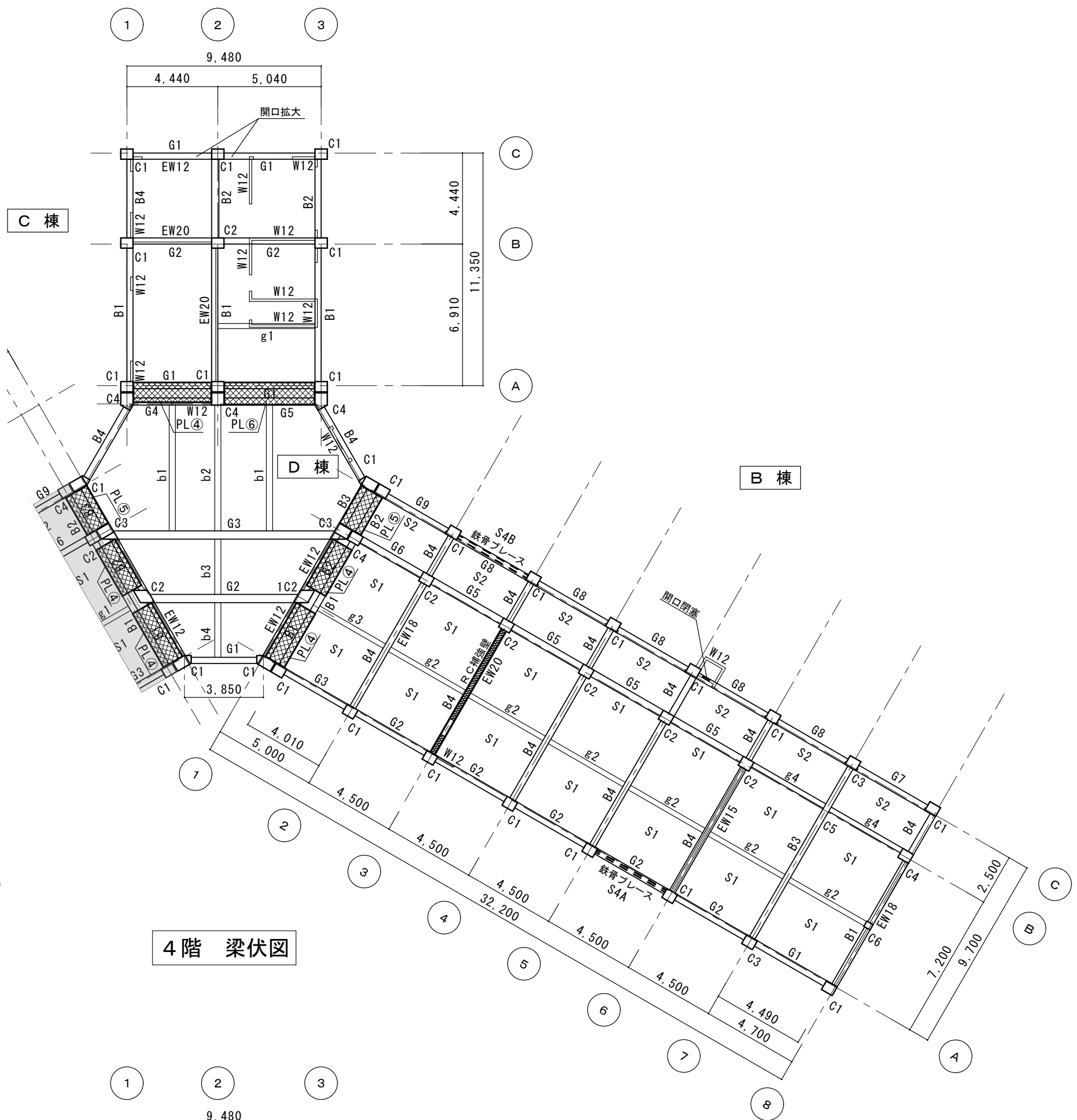
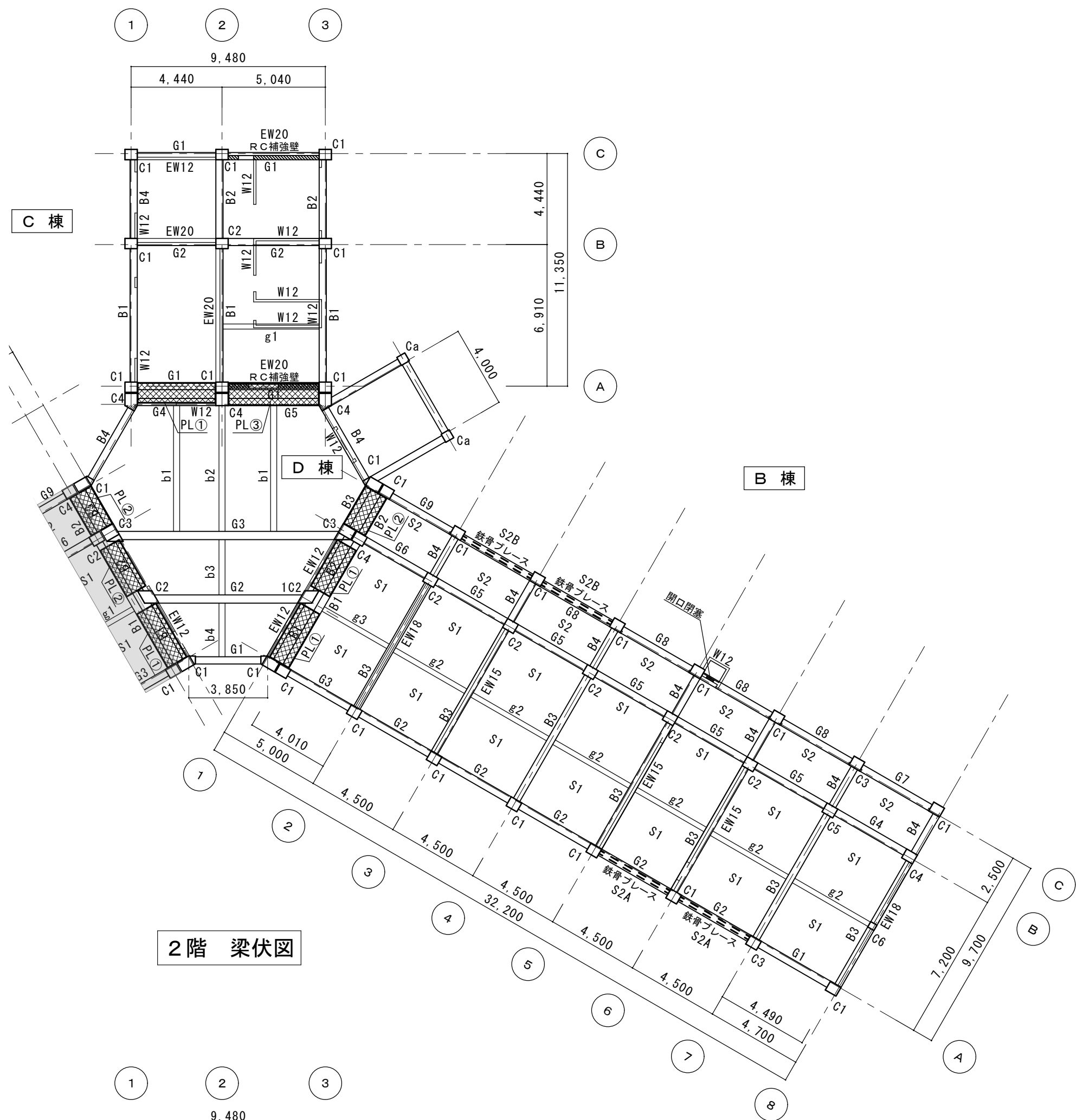
B棟4階平面詳細図（補強後） S=1/50

縮尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分	建築意匠
	図面名称	既存校舎 4F平面詳細図-1（参考）	No.	DⅢ18



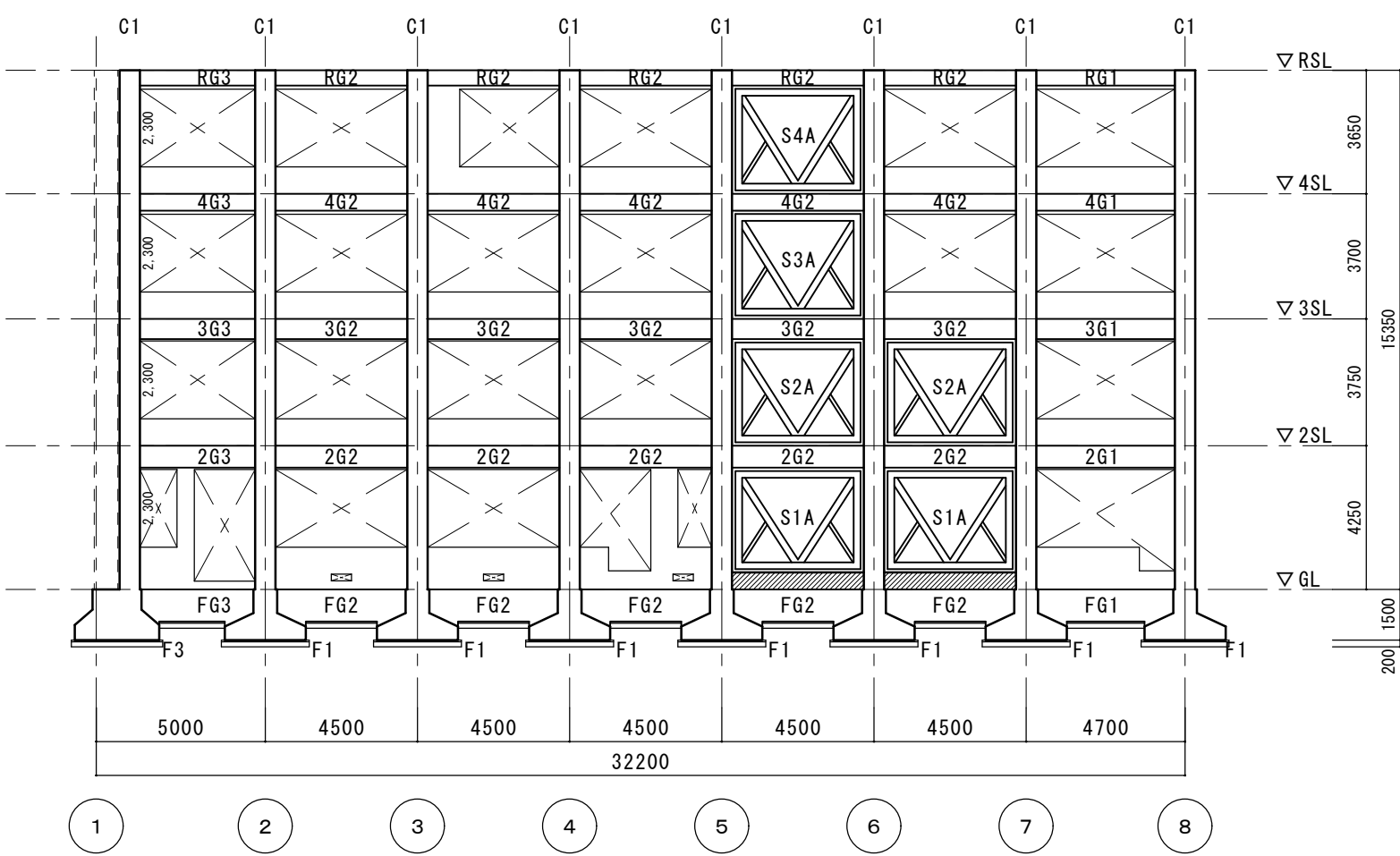


縮尺 A1 : 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 4F平面詳細図-2（参考）	No. DⅢ 19

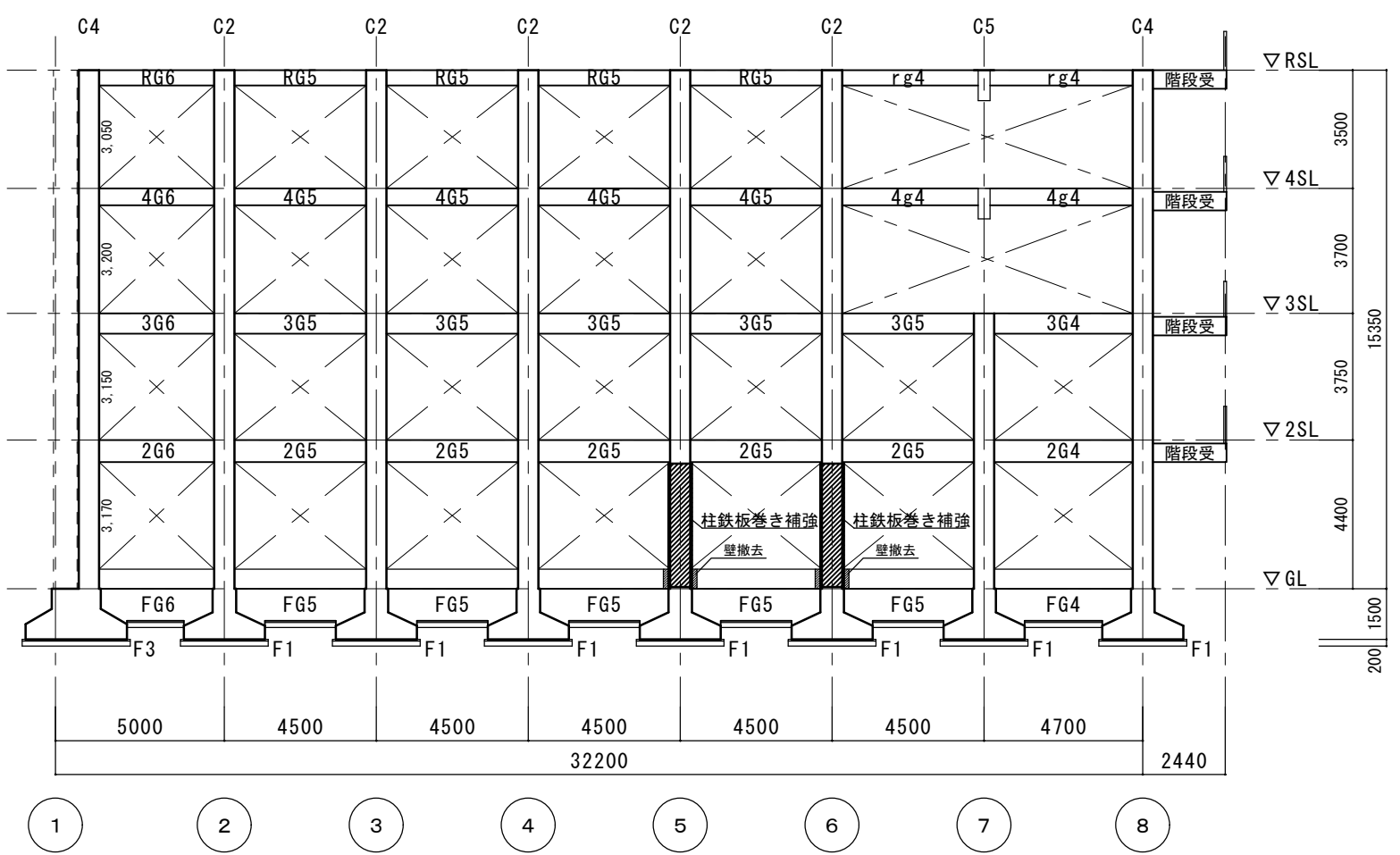


A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分
	図面名称	既存校舎 基礎・各階伏図（参考）	建築意匠 No. DⅢ20

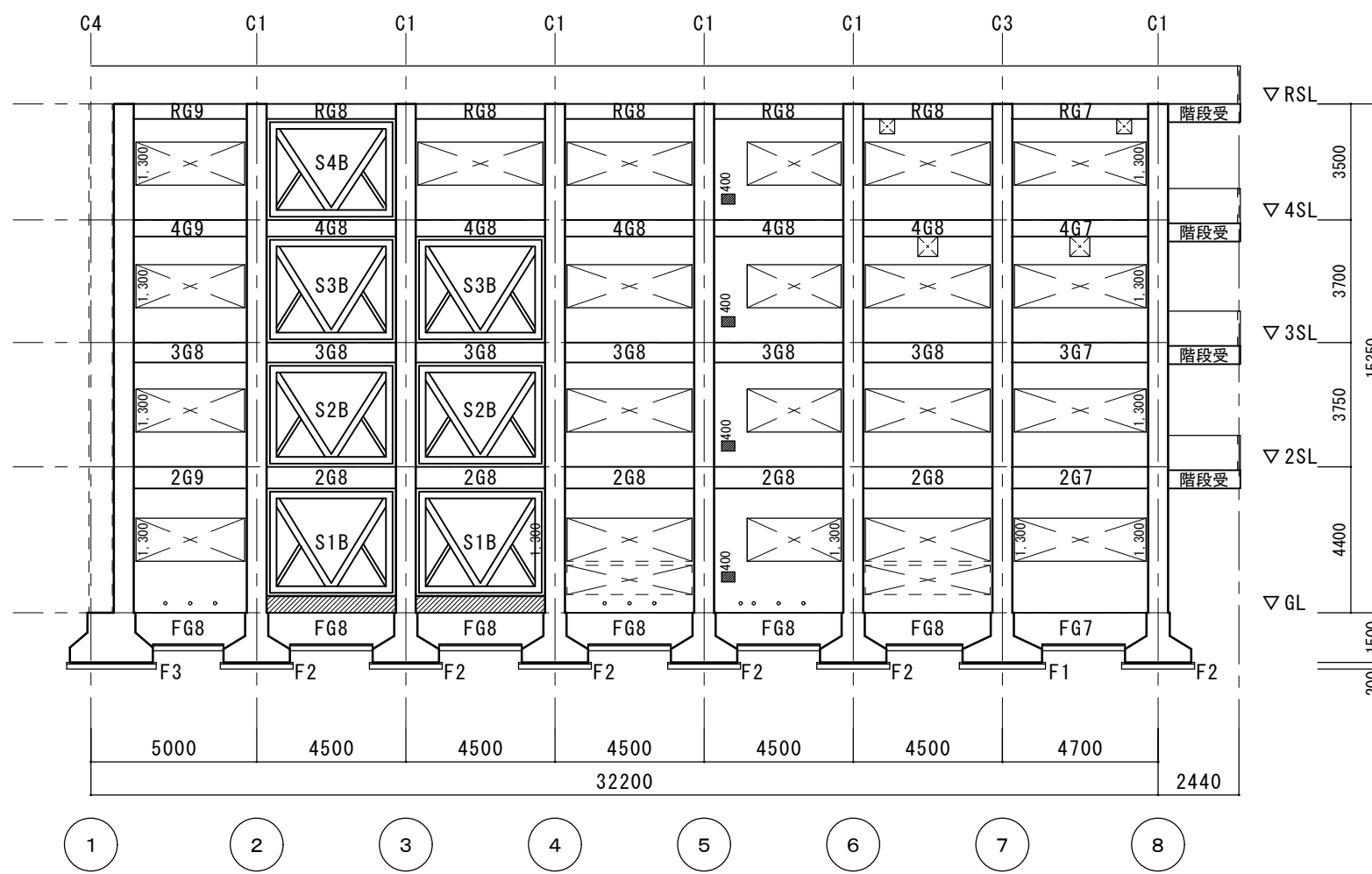




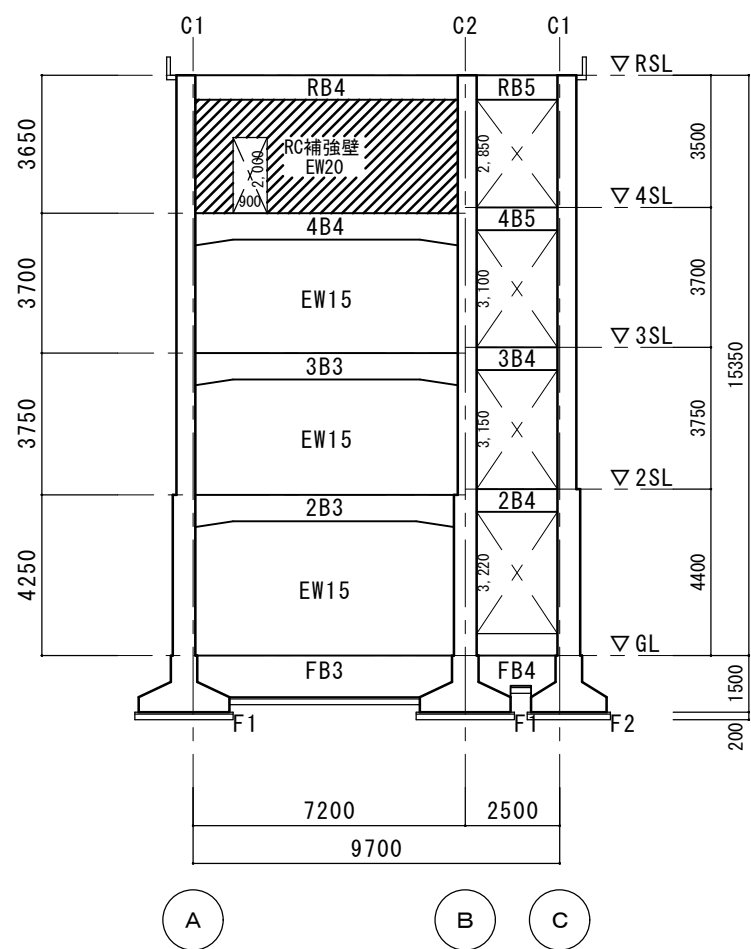
B棟 A通り軸組図 S=1/200 (補強後)  
※明記なき壁は、W12 とする。



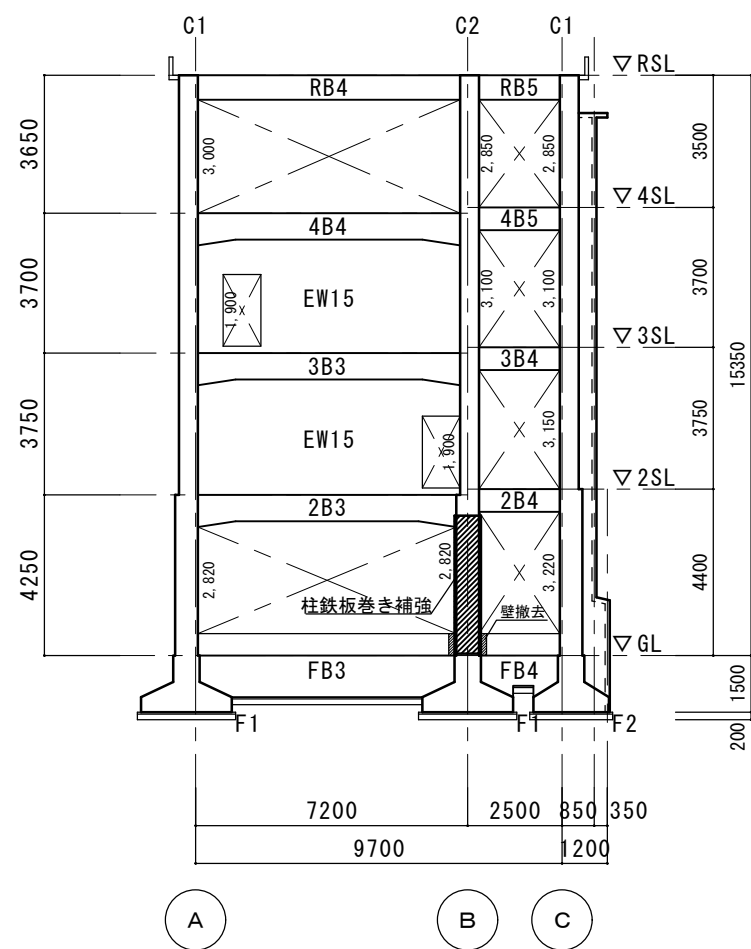
B棟 B通り軸組図 S=1/200 (補強後)  
※明記なき壁は、W12 とする。



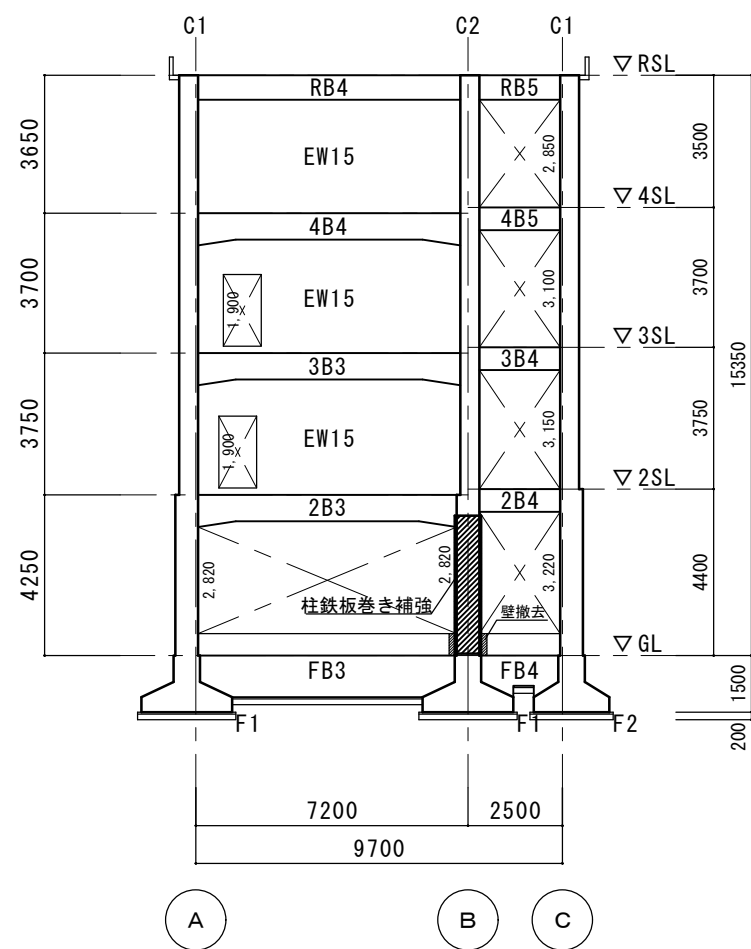
B棟 C通り軸組図 S=1/200 (補強後)  
※明記なき壁は、W12 とする。  
■ ダストシュート開口閉塞



B棟 3通り軸組図 S=1/200 (補強後)



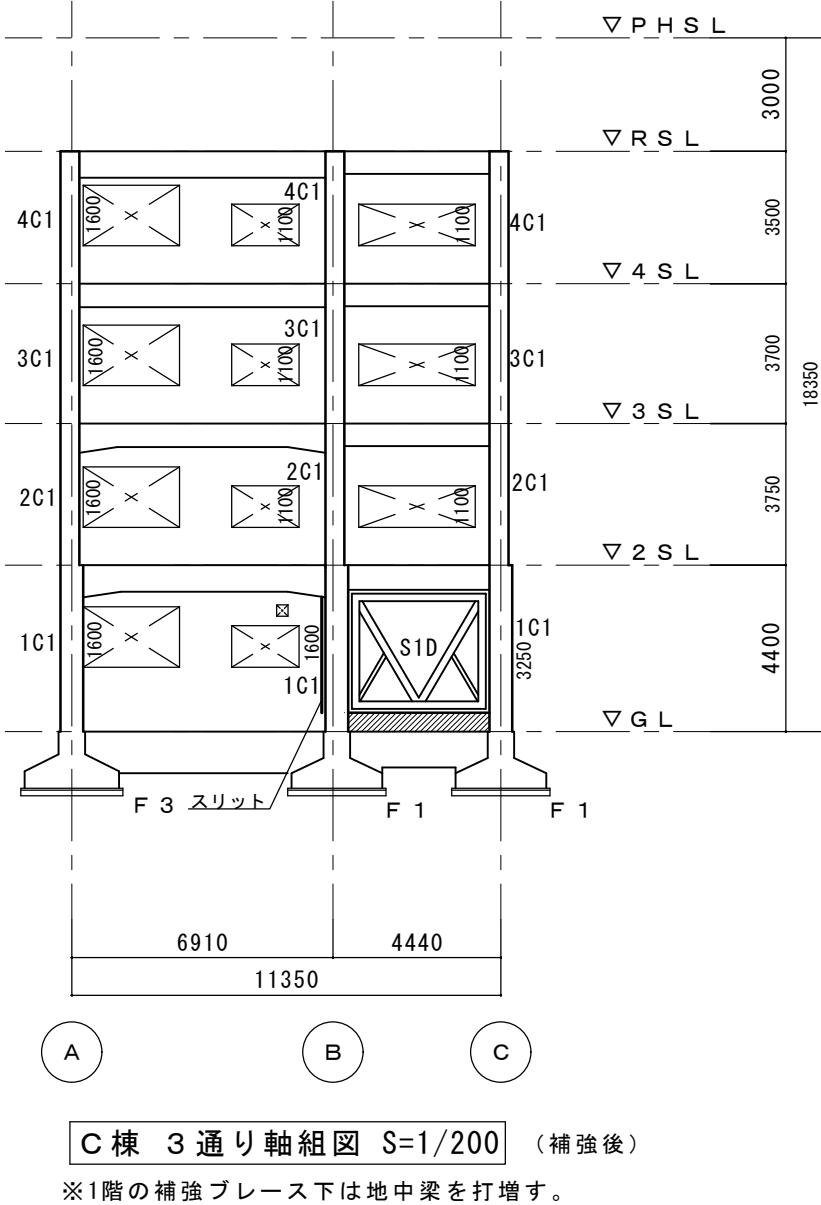
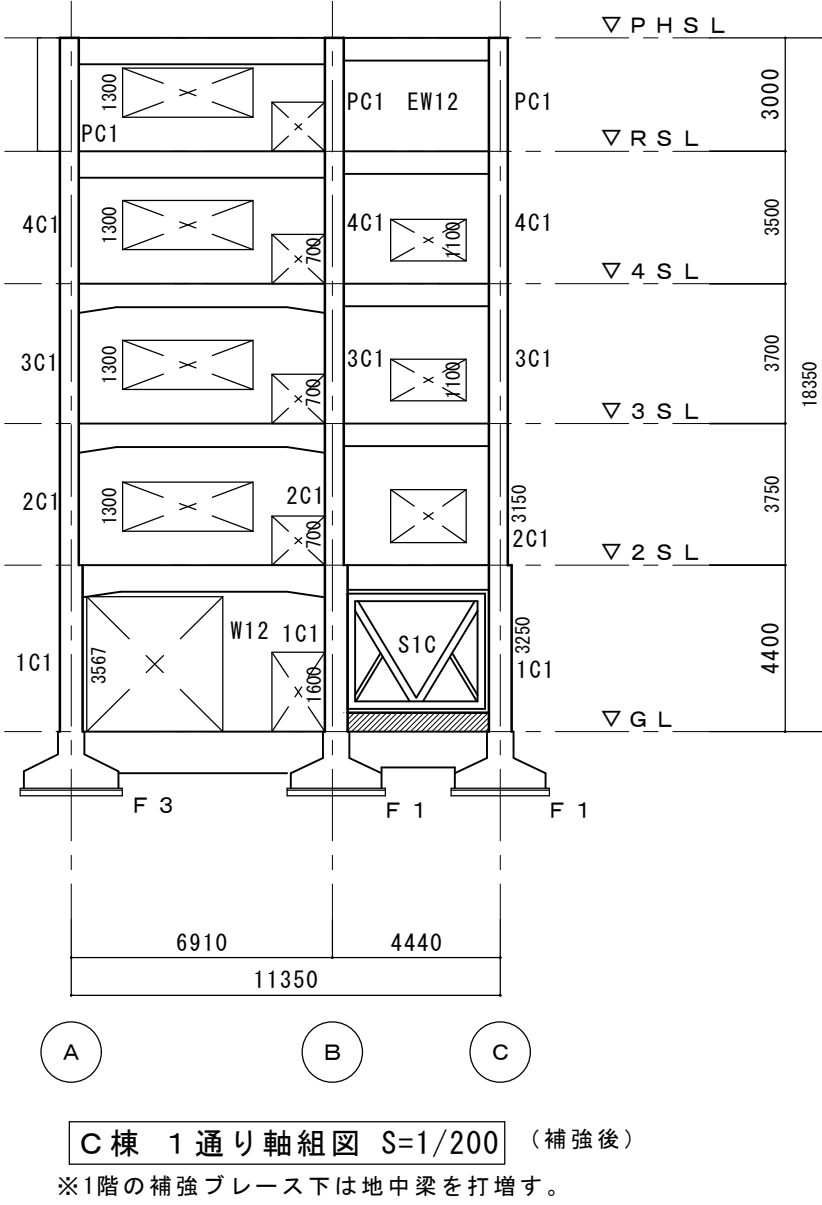
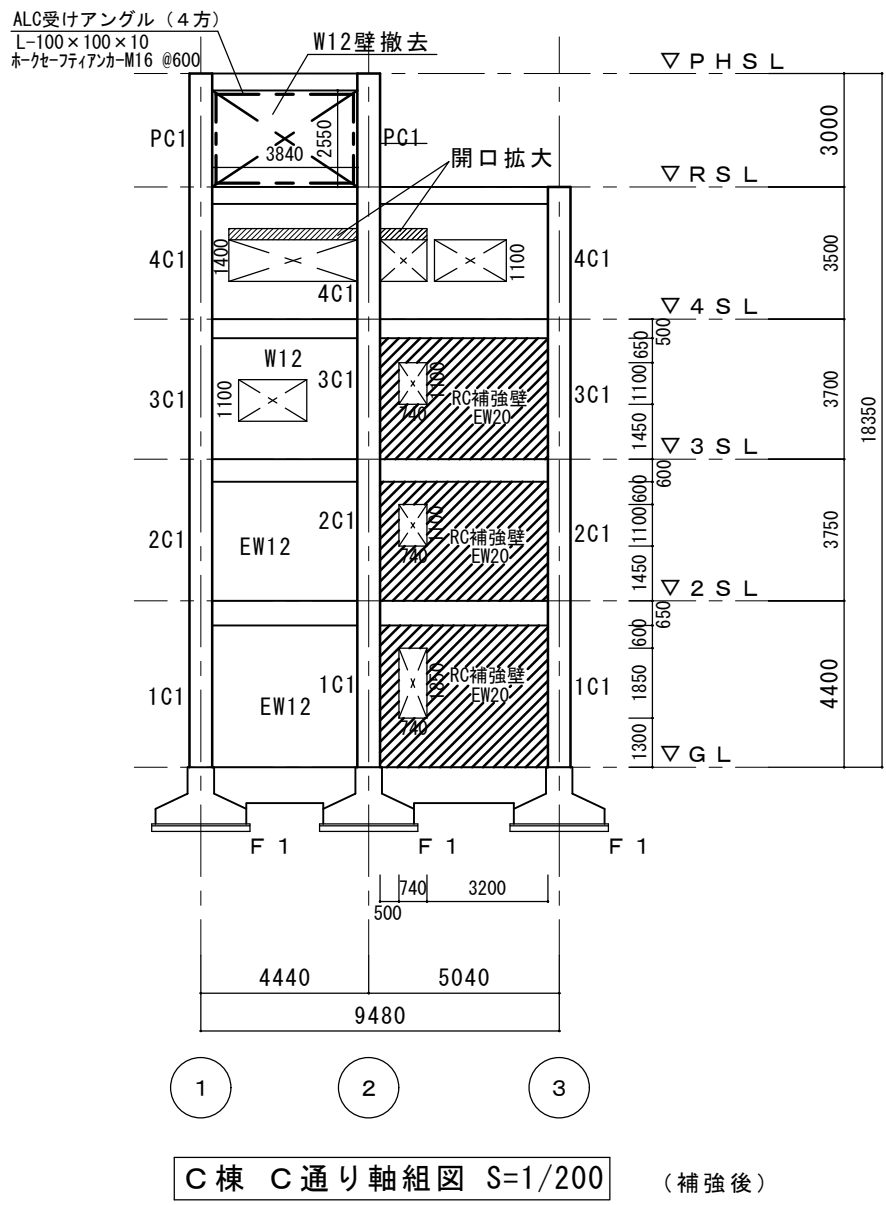
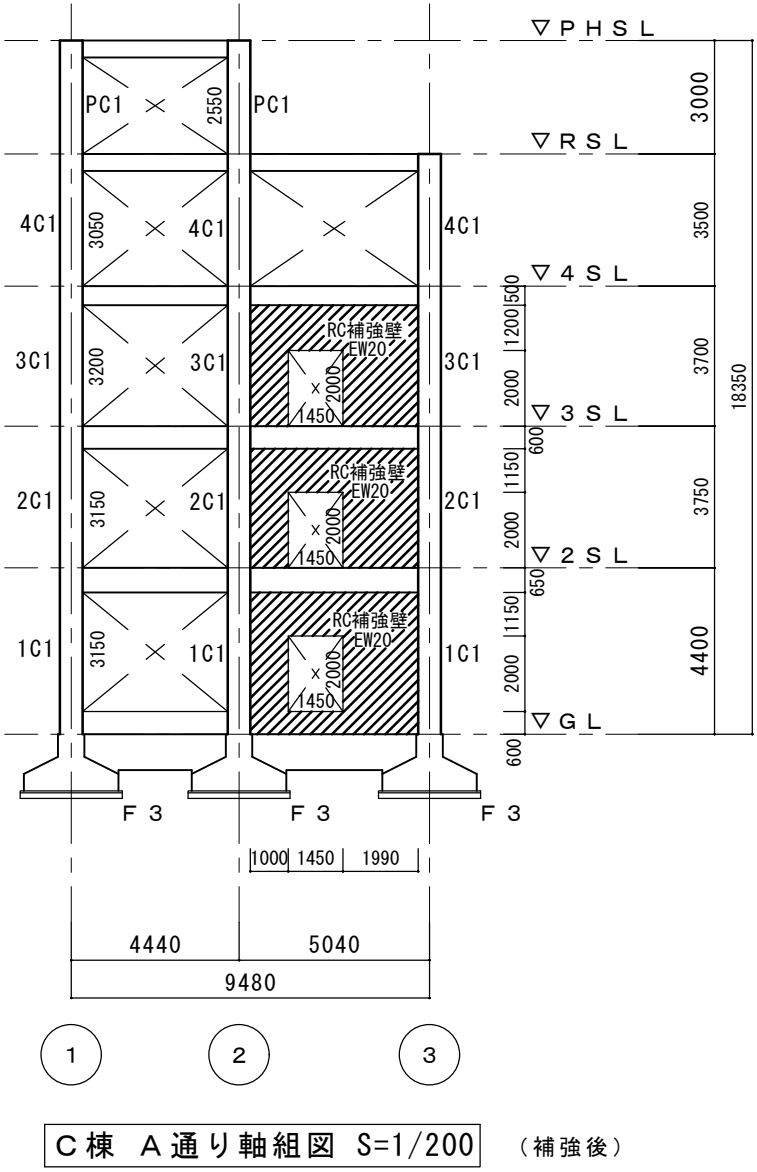
B棟 5通り軸組図 S=1/200 (補強後)



B棟 6通り軸組図 S=1/200 (補強後)

※明記なき通り軸組図は補強を行わない為、略。

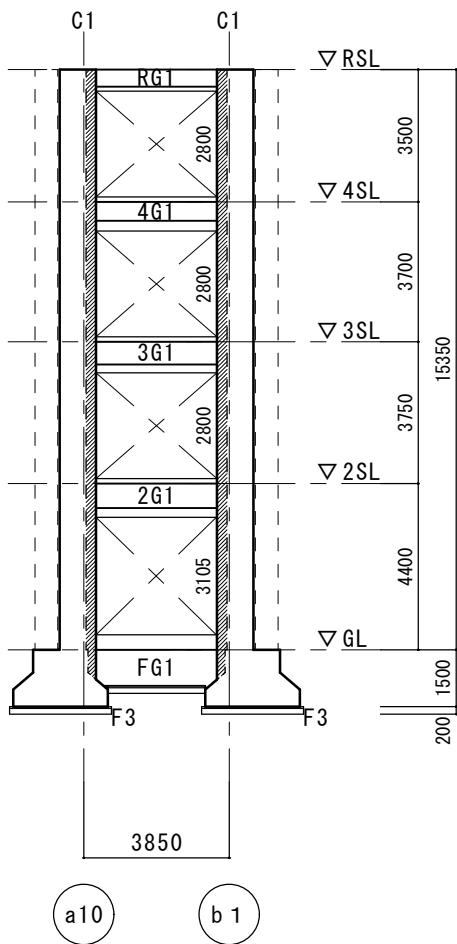
縮尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 軸組図1（参考）	No. DⅢ21



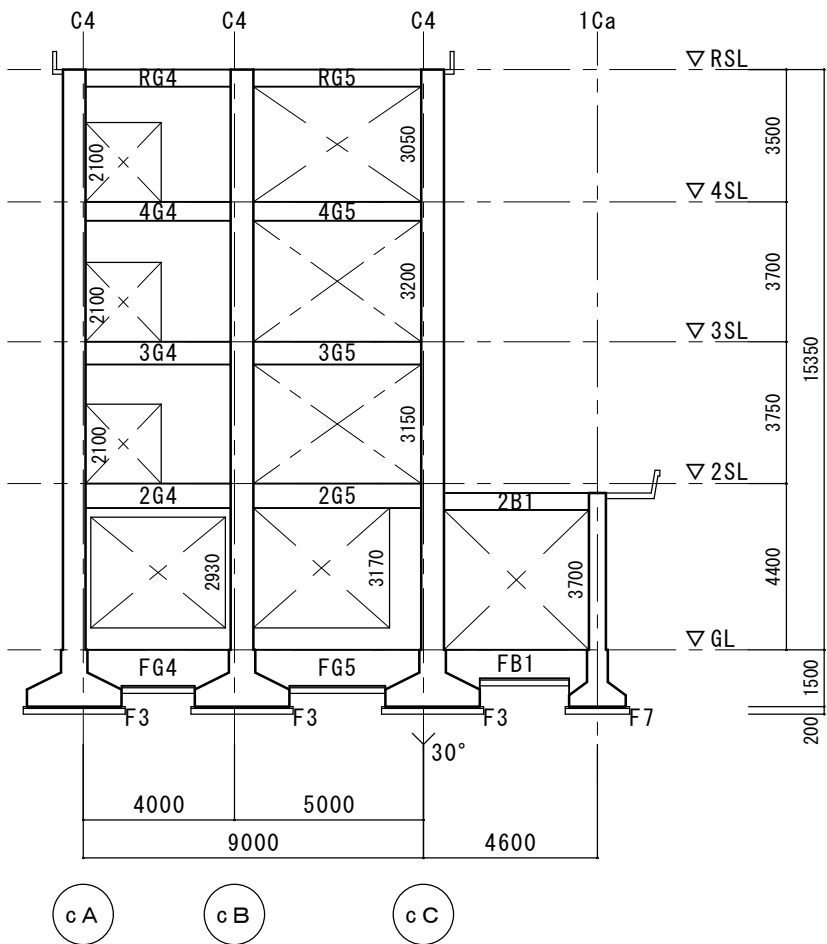
※明記なき通り軸組図は補強を行わない為、略。

縮 尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 軸組図2（参考）	No. DⅢ22

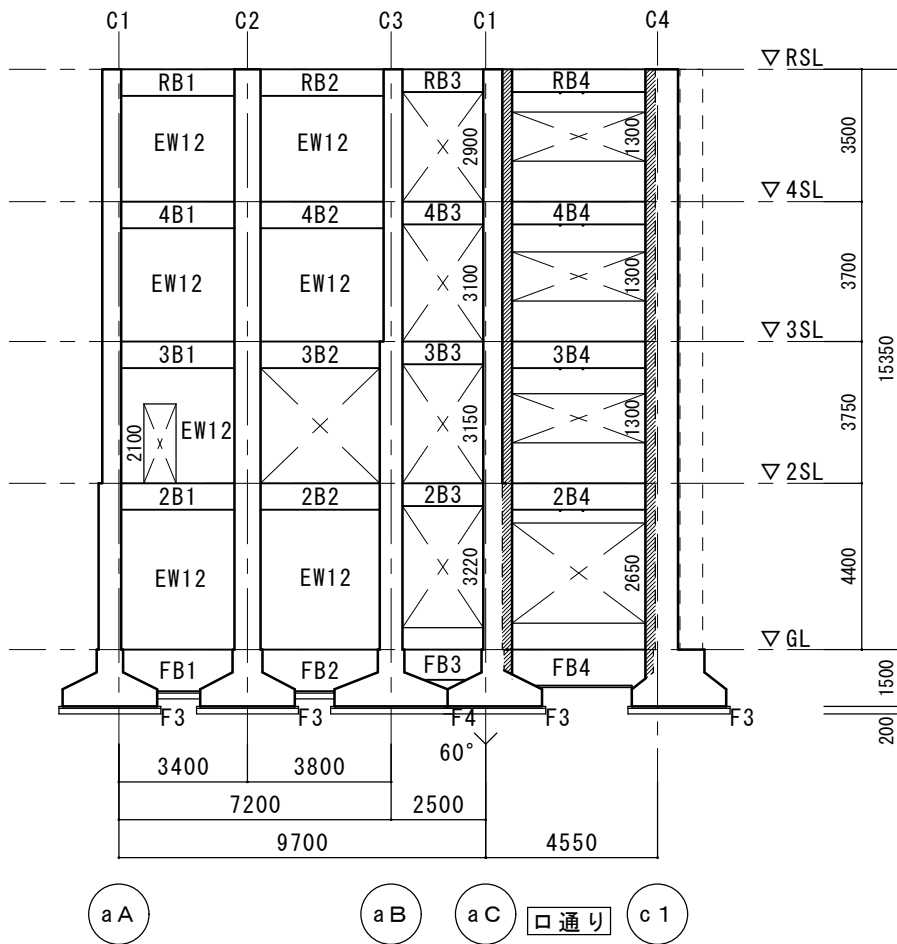




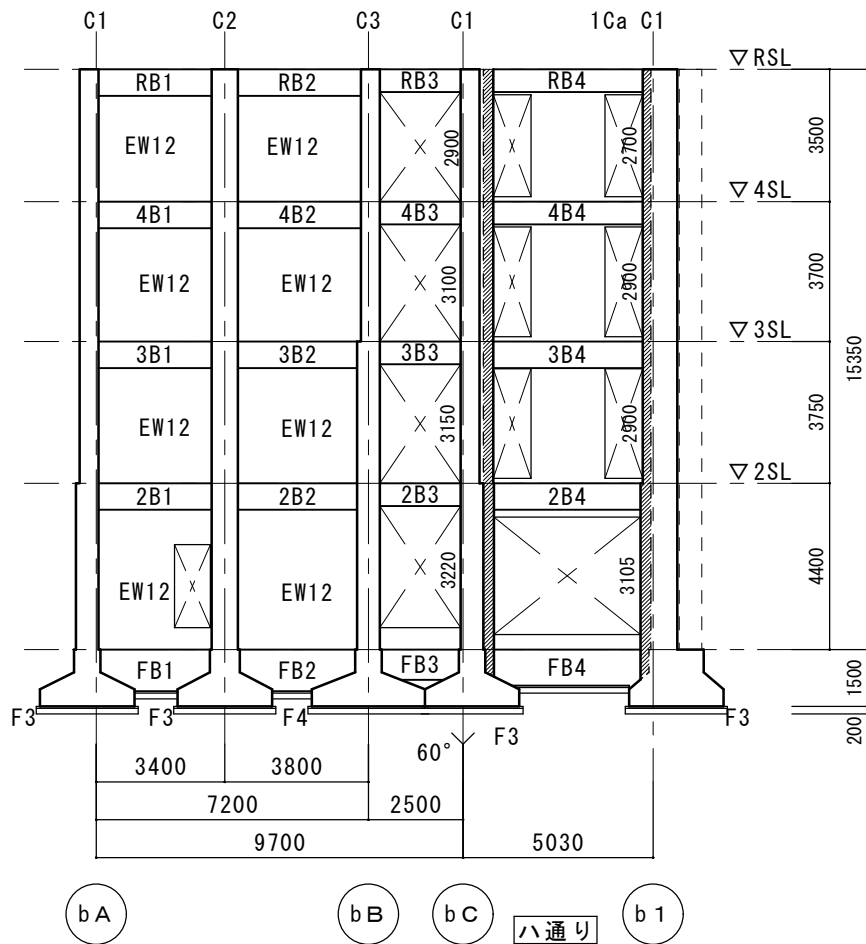
D 棟 イ 通り 軸組図 S=1/200  
※明記なき壁は、W12 とする。



D 棟 C棟 c 1 通り 軸組図 S=1/200  
※明記なき壁は、W12 とする。



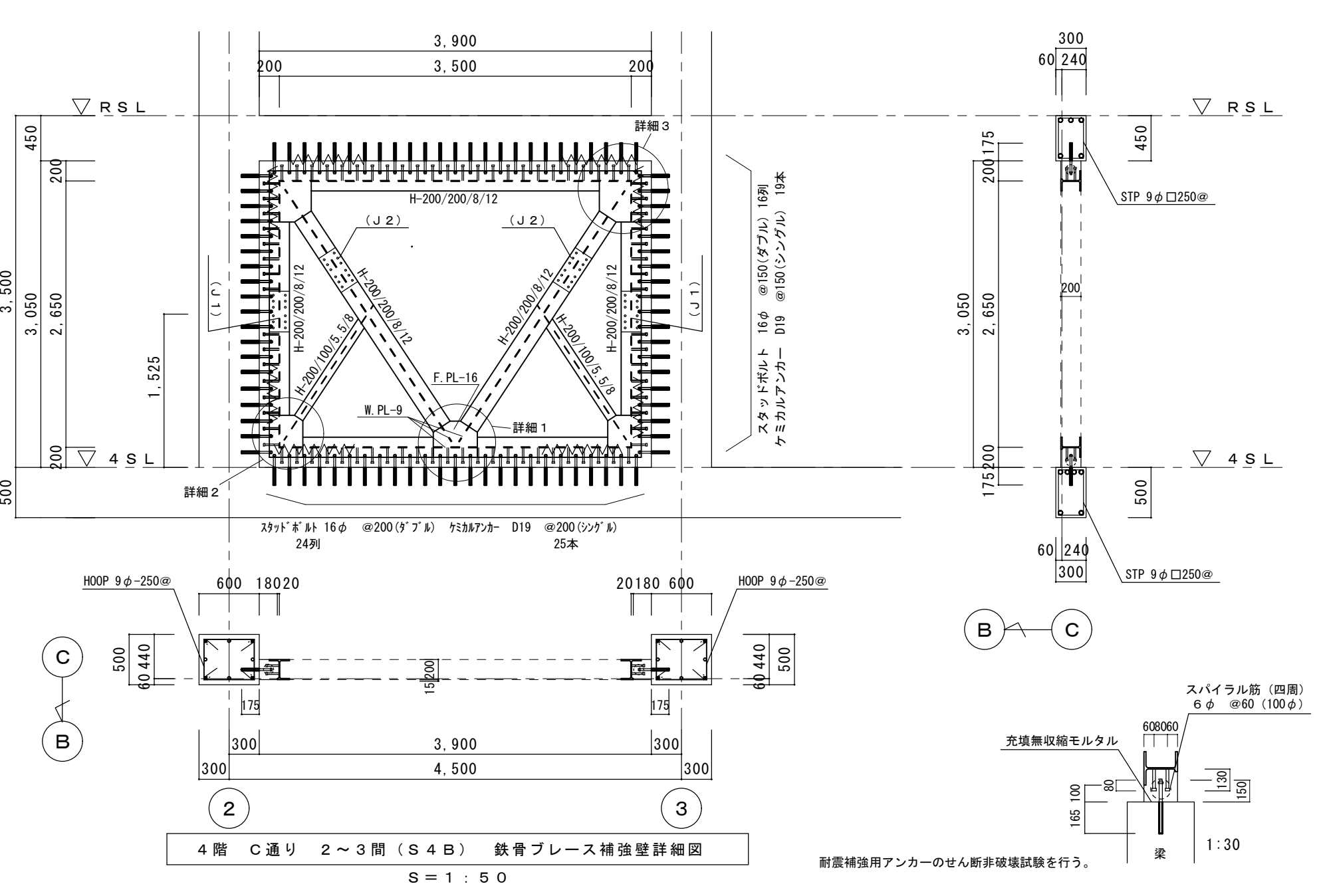
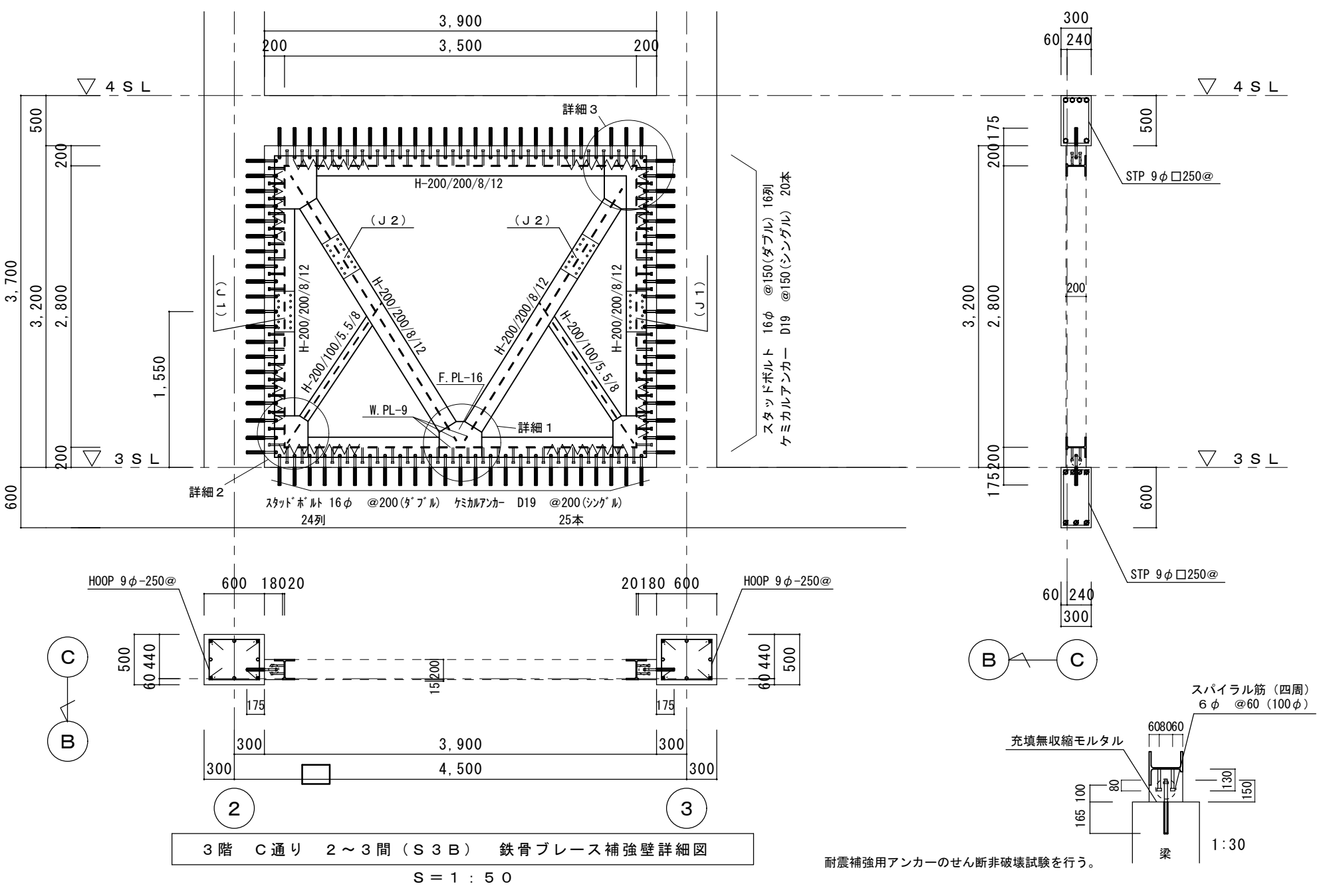
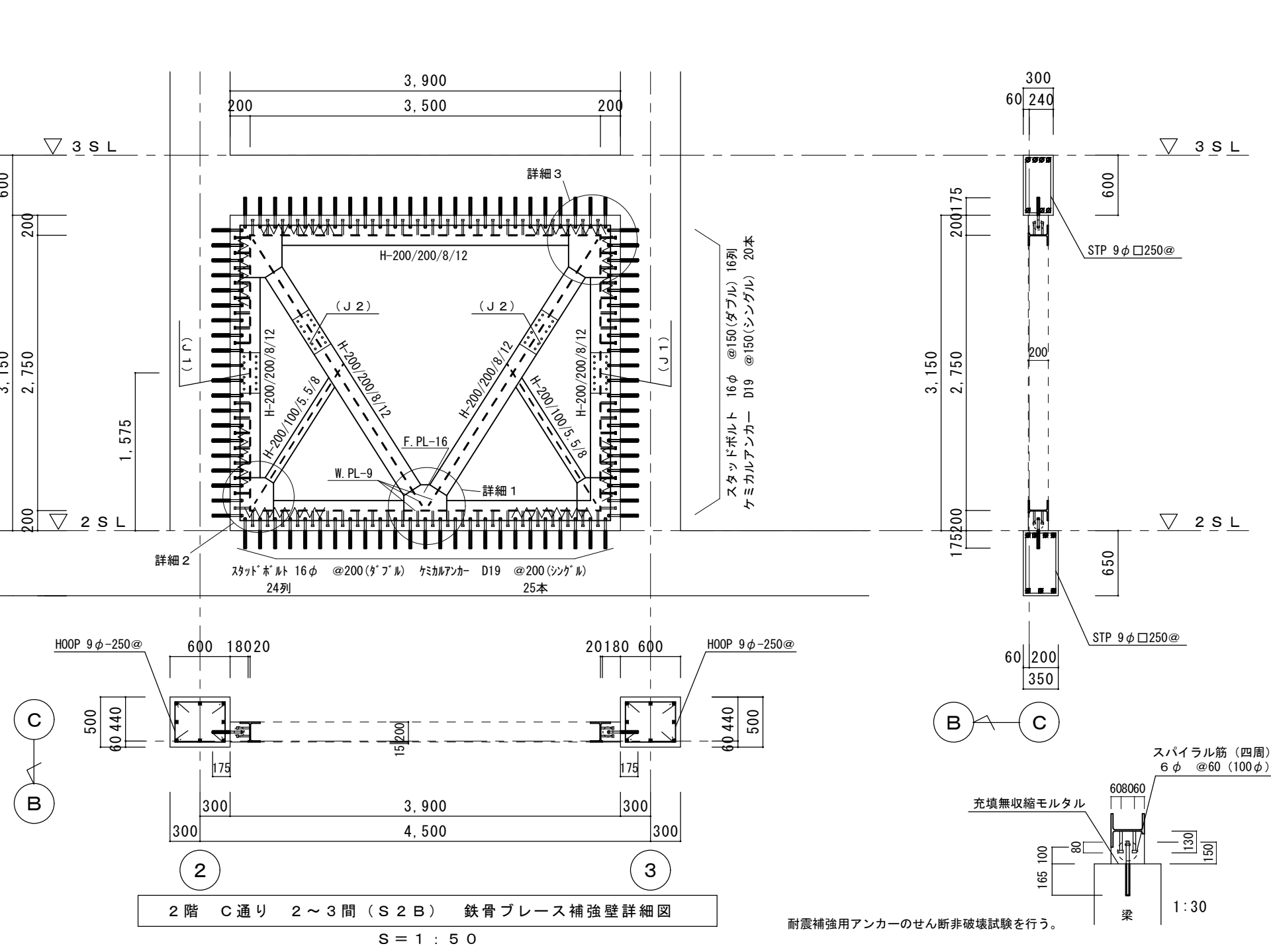
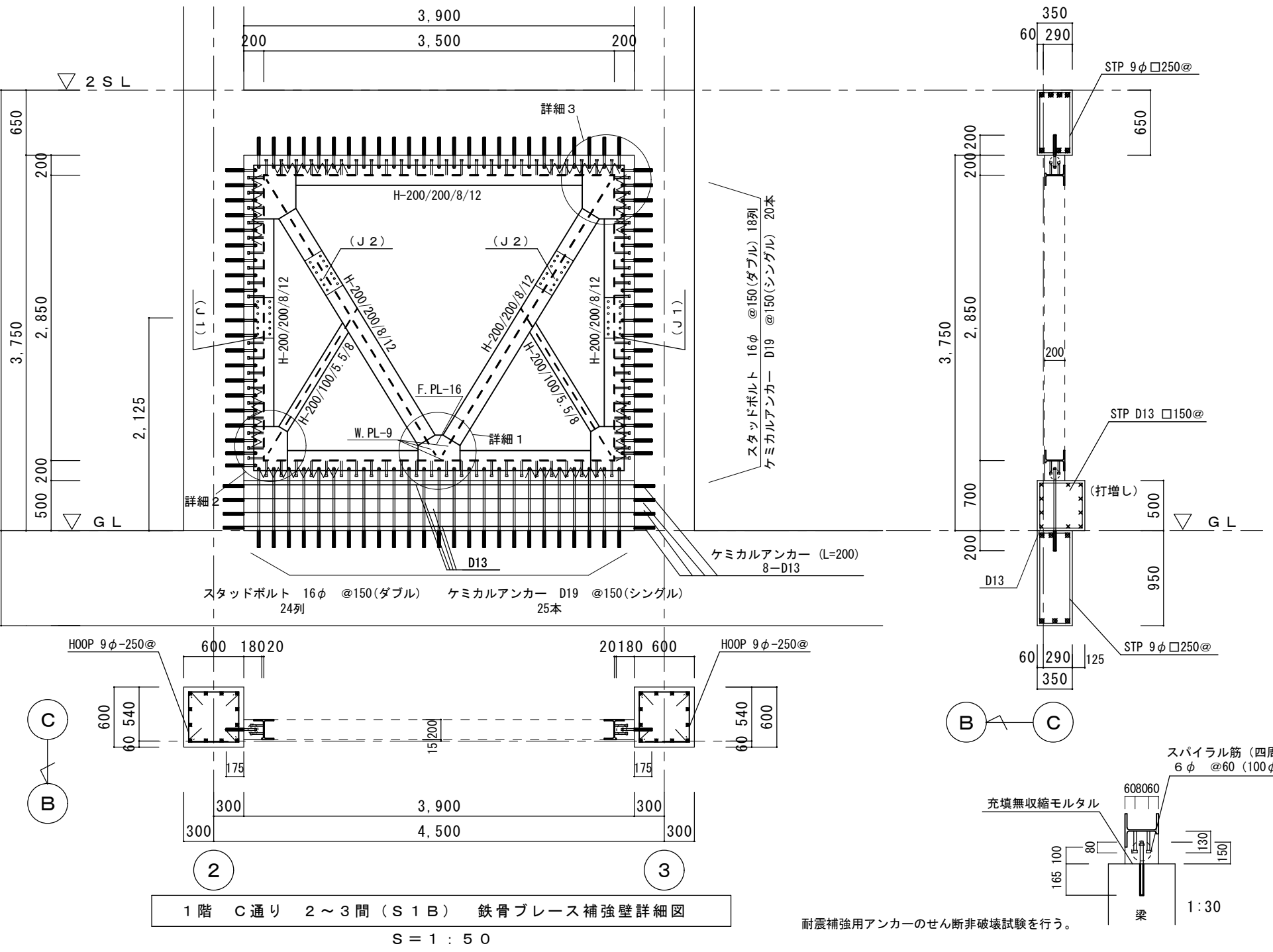
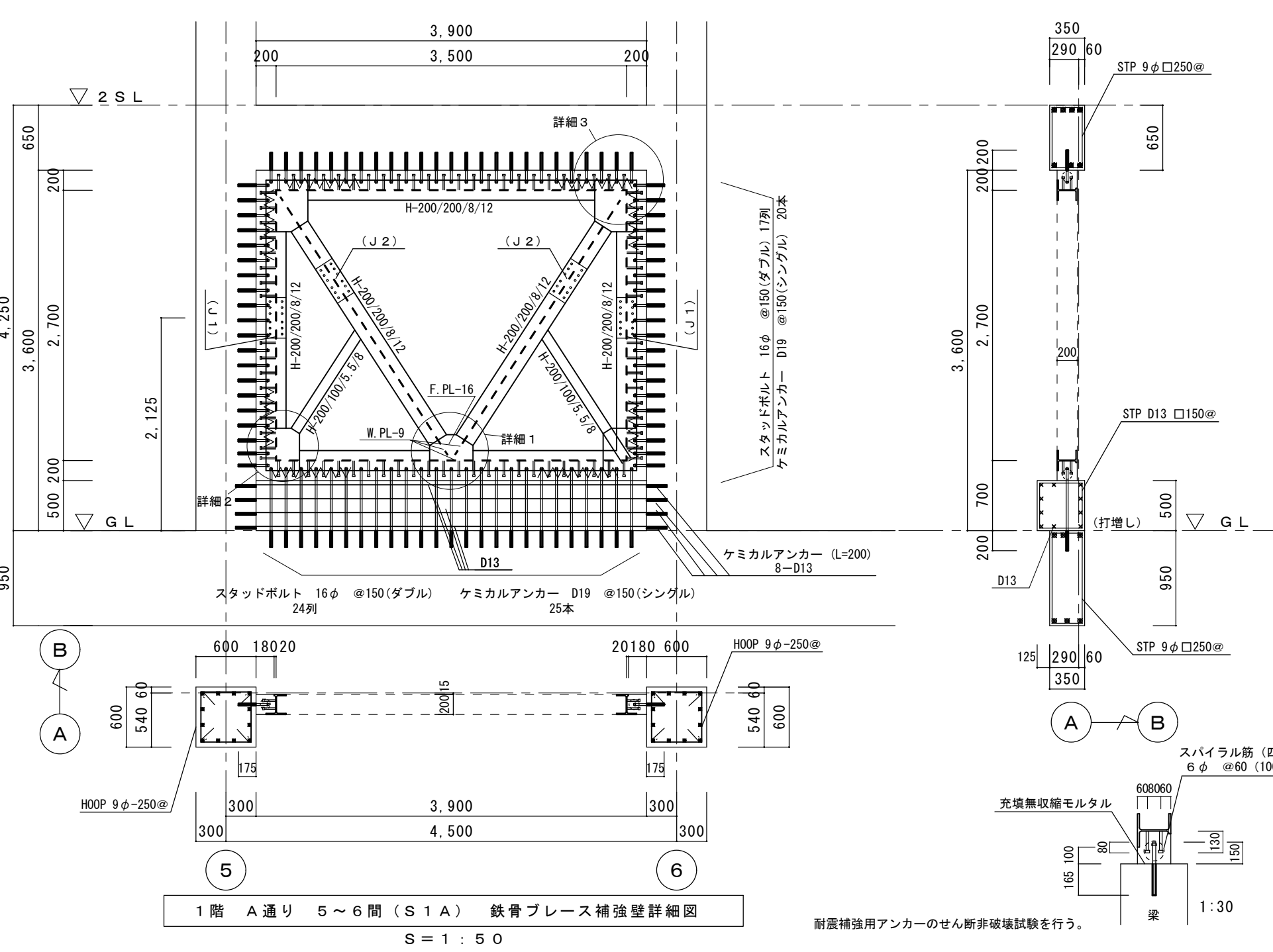
D 棟 A棟 a10通り 軸組図 S=1/200  
※明記なき壁は、W12 とする。



D 棟 B棟 b 1 通り 軸組図 S=1/200  
※明記なき壁は、W12 とする。

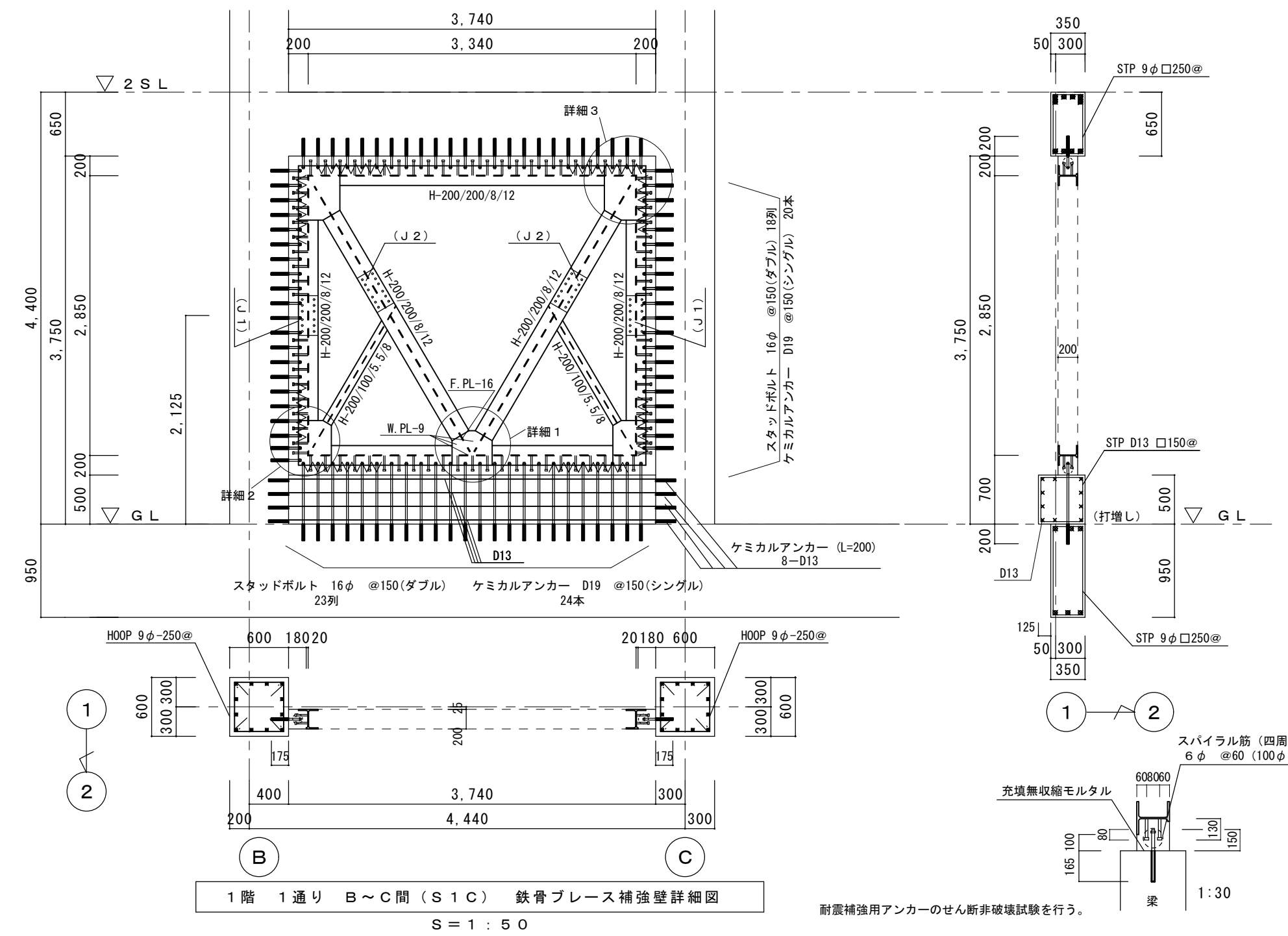
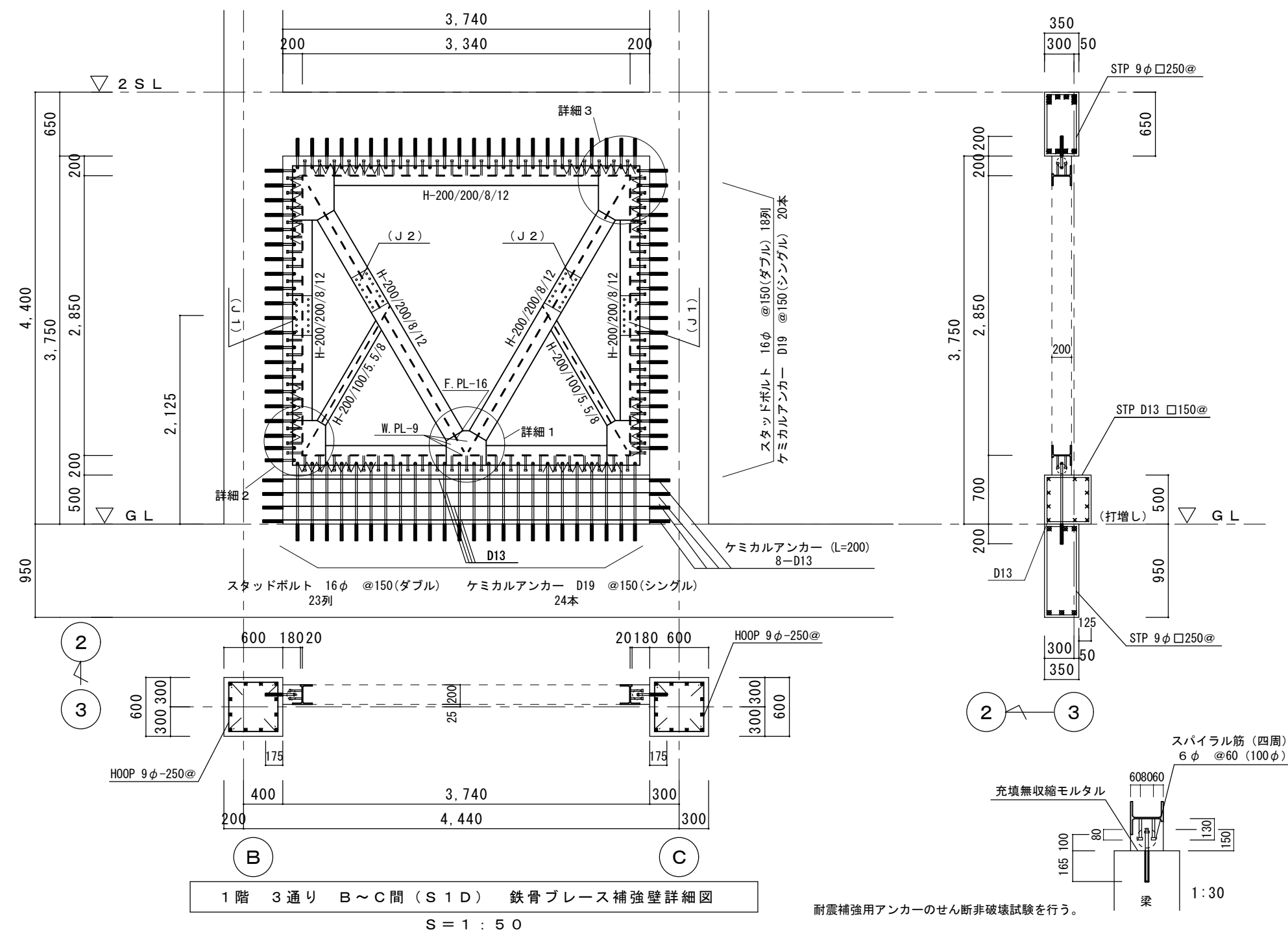
※D棟は補強壁による補強は行わない為、補強後軸組図は省略する。  
(スラブ接合プレート補強のみ)

縮 尺 A1 : 1:200 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 軸組図3（参考）	No. DⅢ23

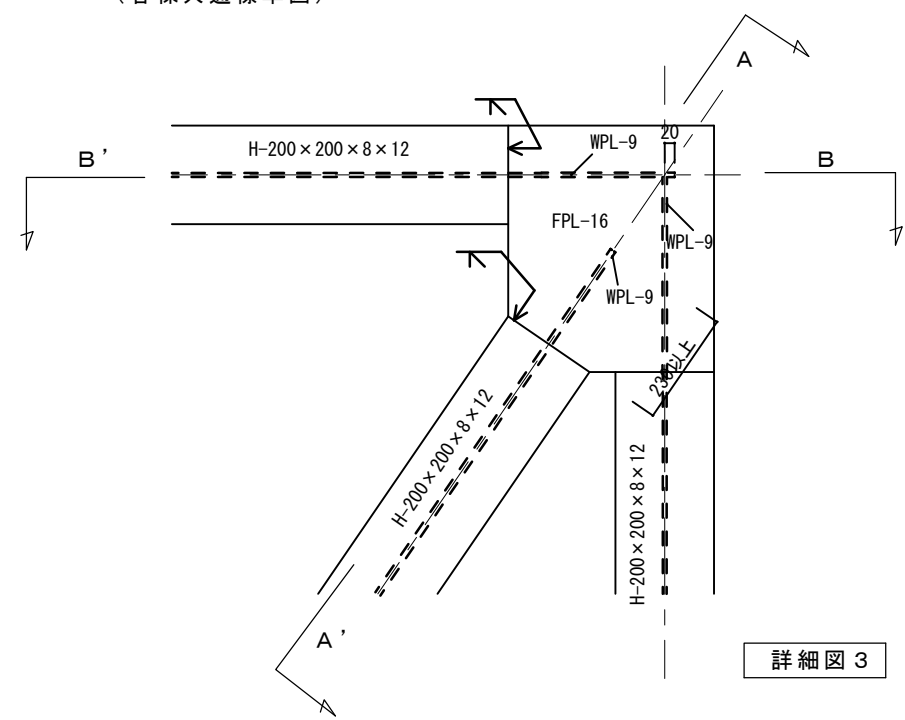


	縮 尺 A1： 1:50 A3：表記の50%	物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分	建築意匠
		図面名称	既存校舎 鉄骨ブレース詳細図1（参考）	No.	DⅢ24

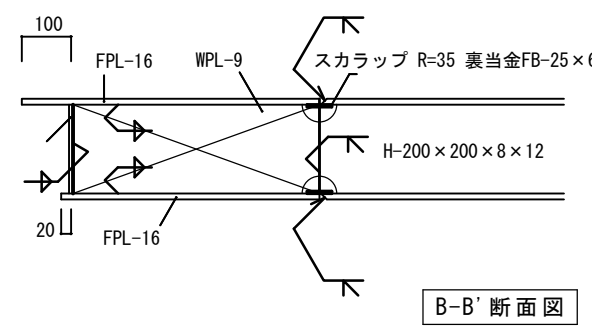
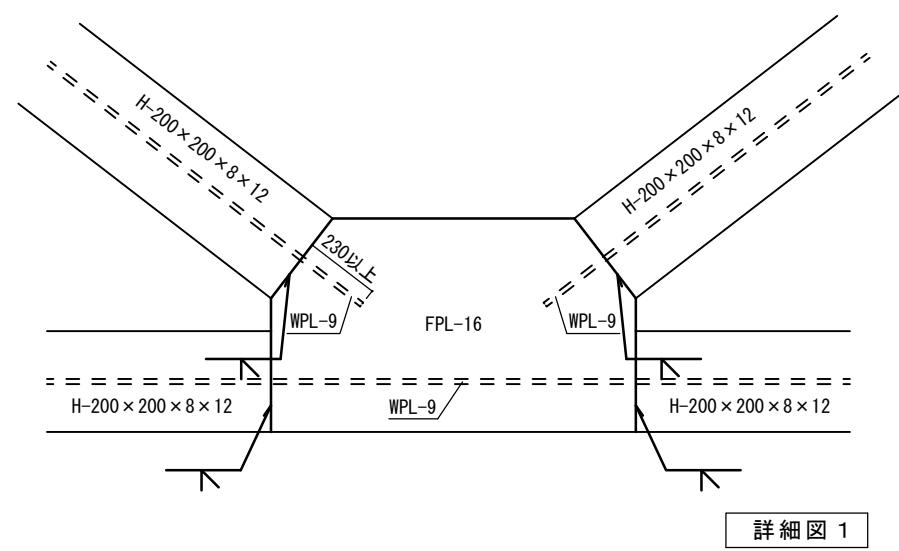
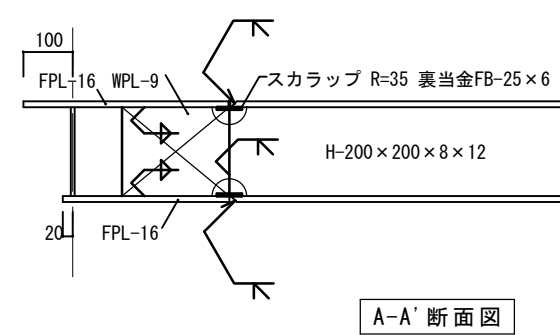




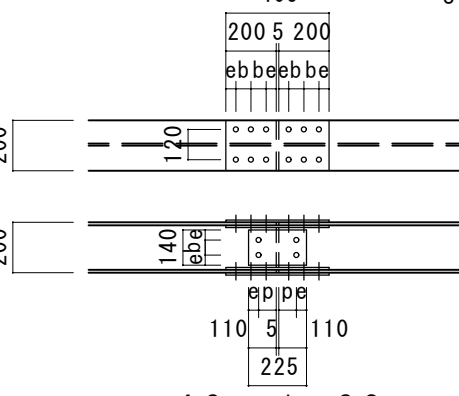
パネル部詳細図 S=1/15  
(各棟共通標準図)



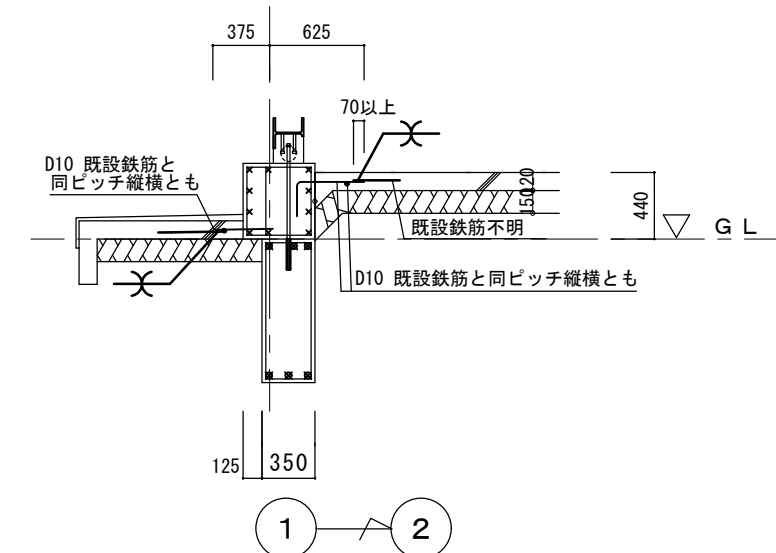
※ 詳細図 2 は上記に倣う



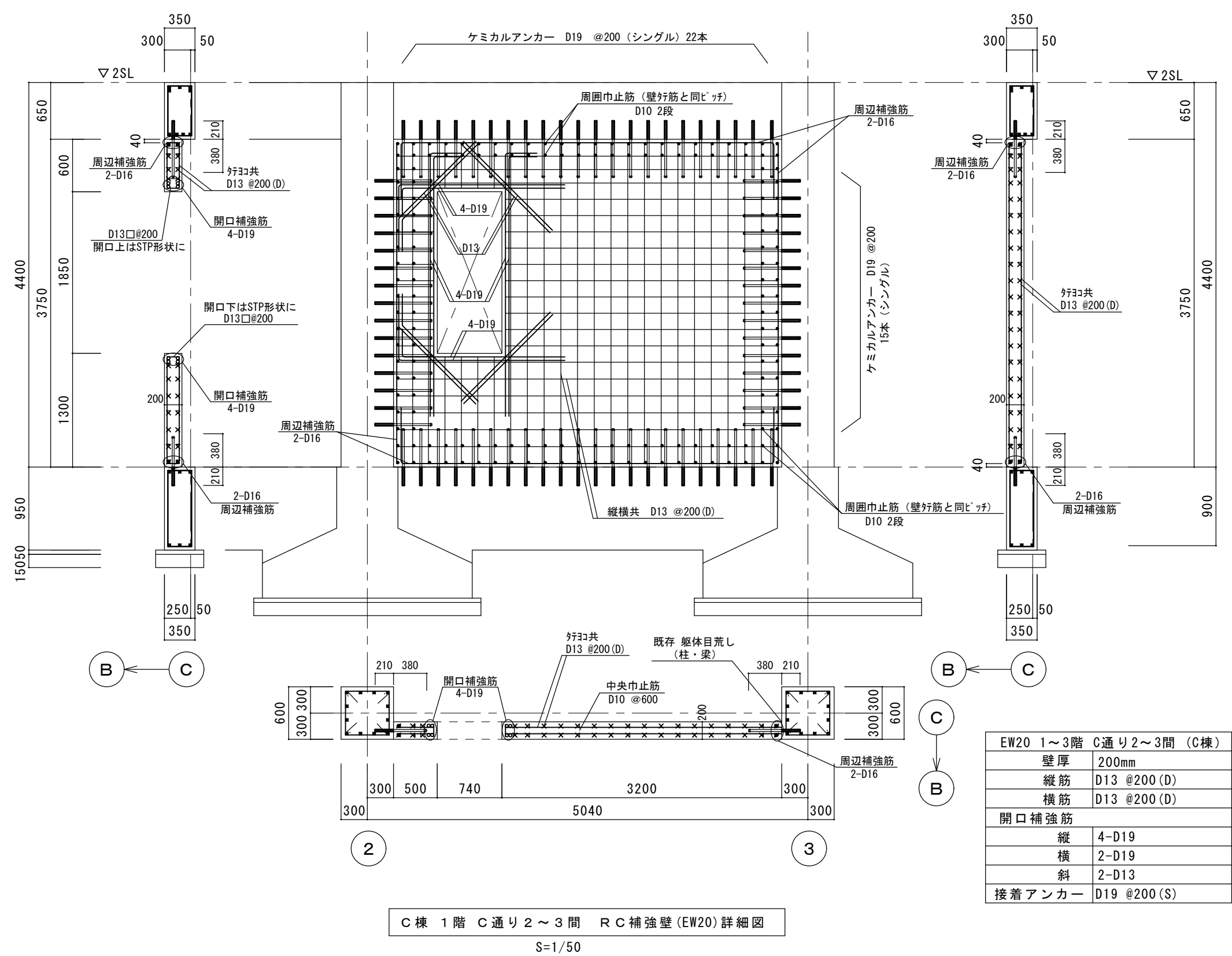
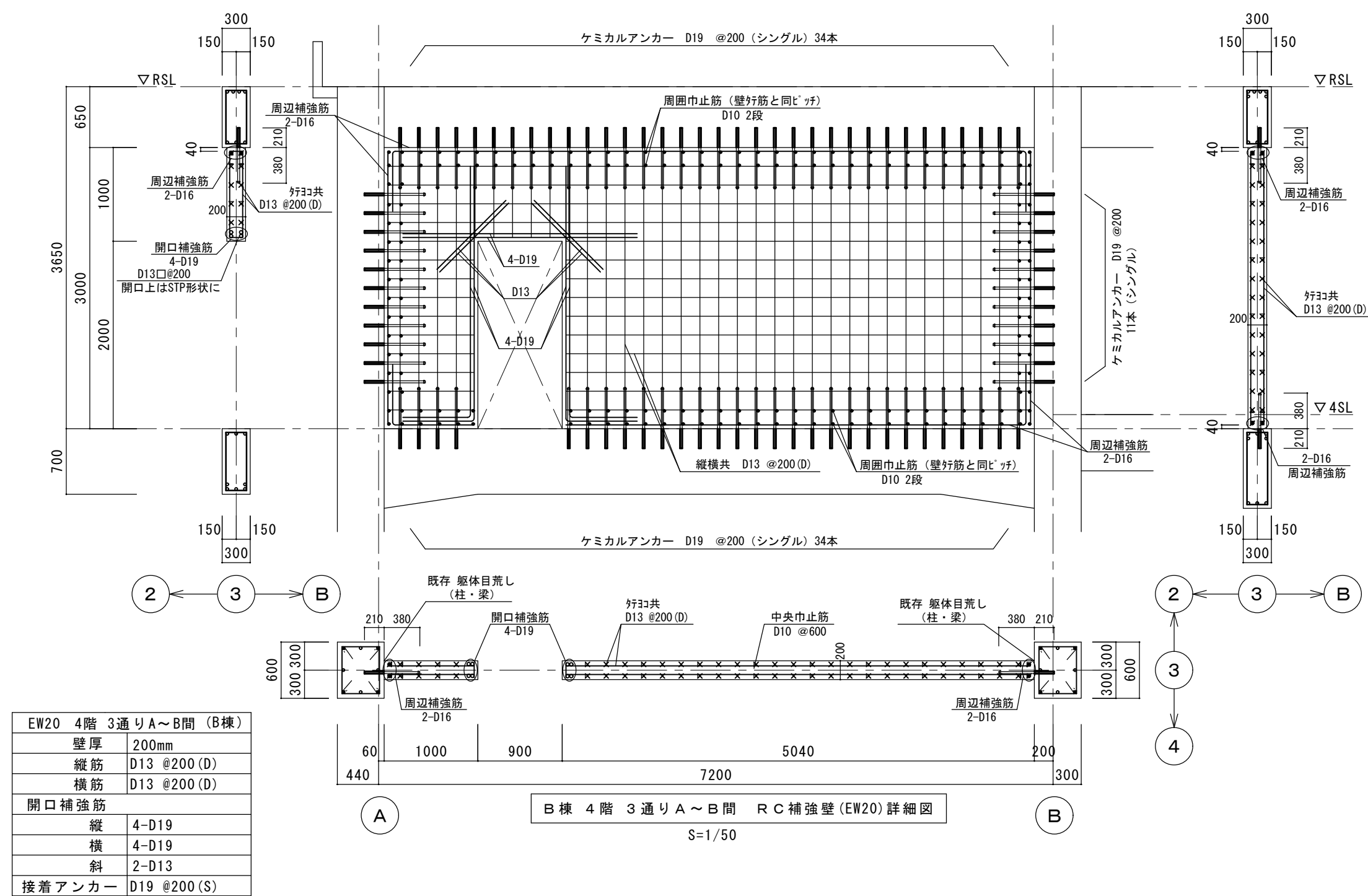
補強ブレース JOINT 詳細図  
(各棟共通標準図)

J 1	H-200 × 200 × 8 × 12		
			S=1:30
e = 40      b = 60      p = 70			
接合部	高力ボルト	添え板	
フランジ	18-M20	外 9/594/405 内 9/7405/4	数量
ウエブ	4-M20	9/225/140	2

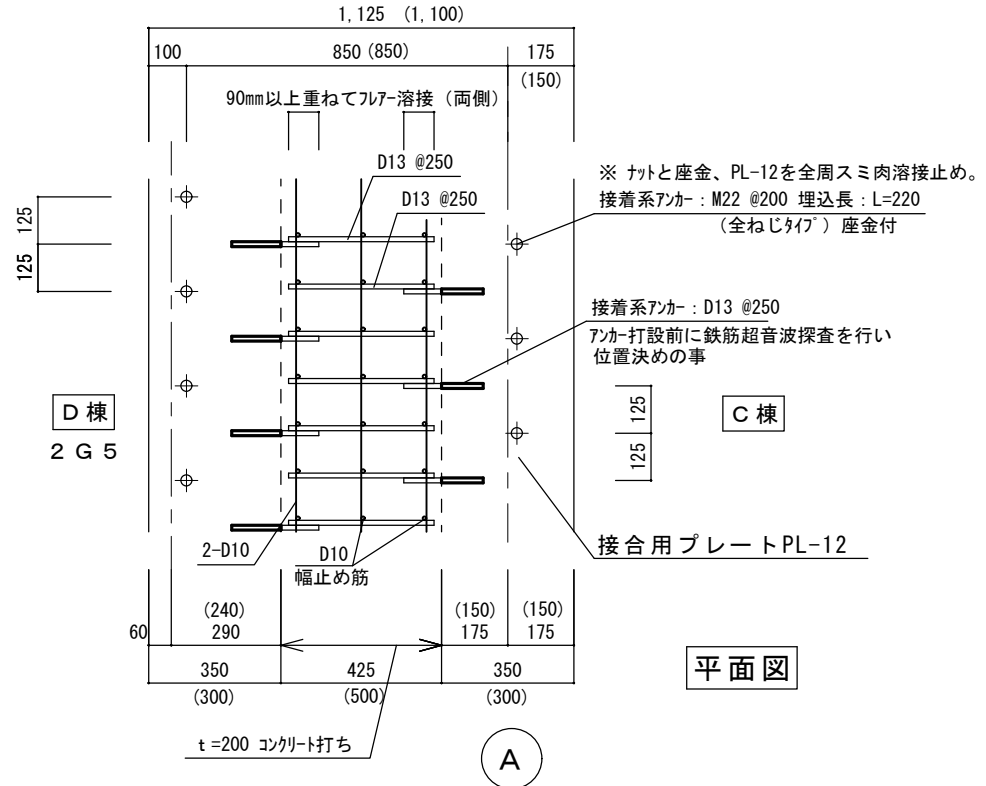
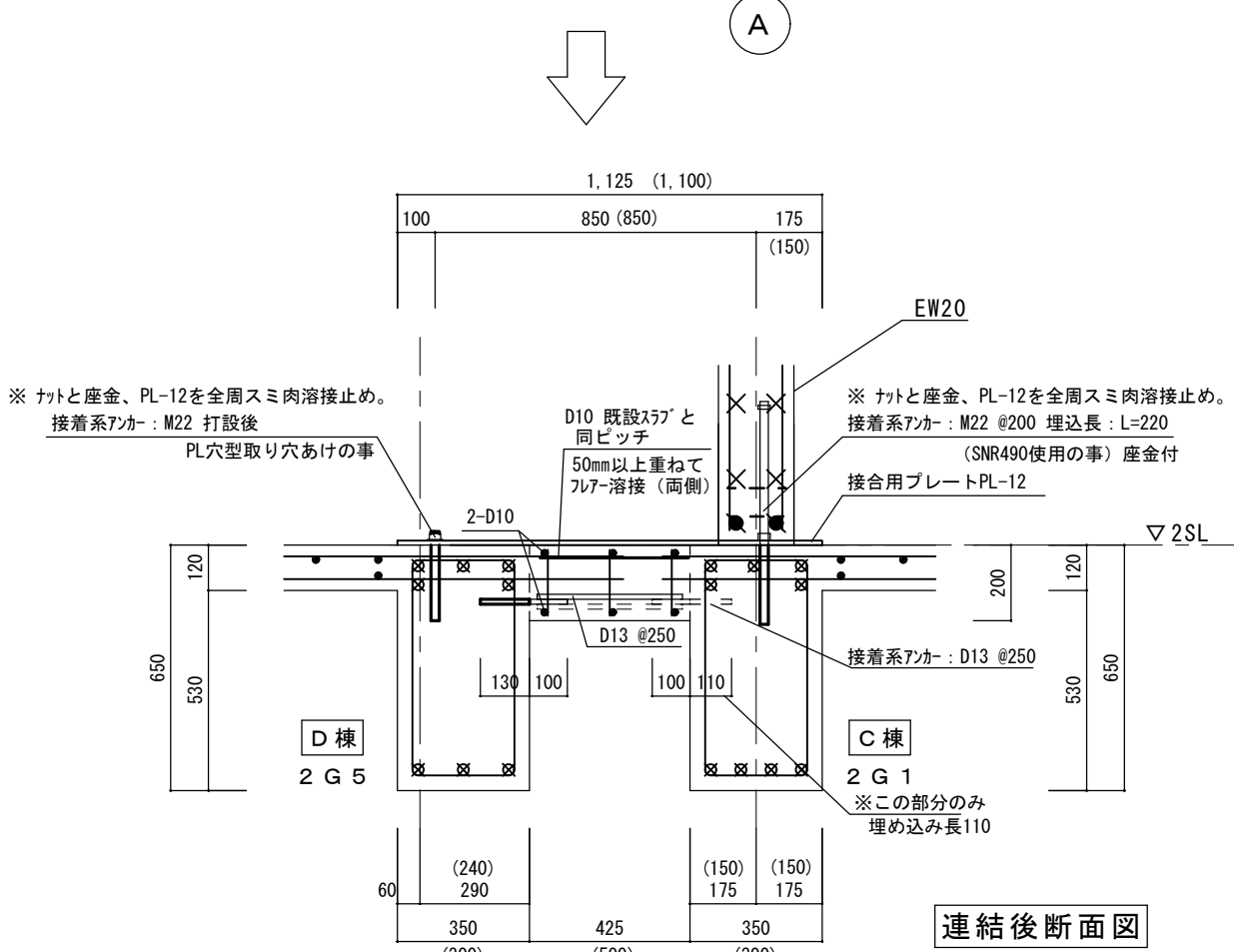
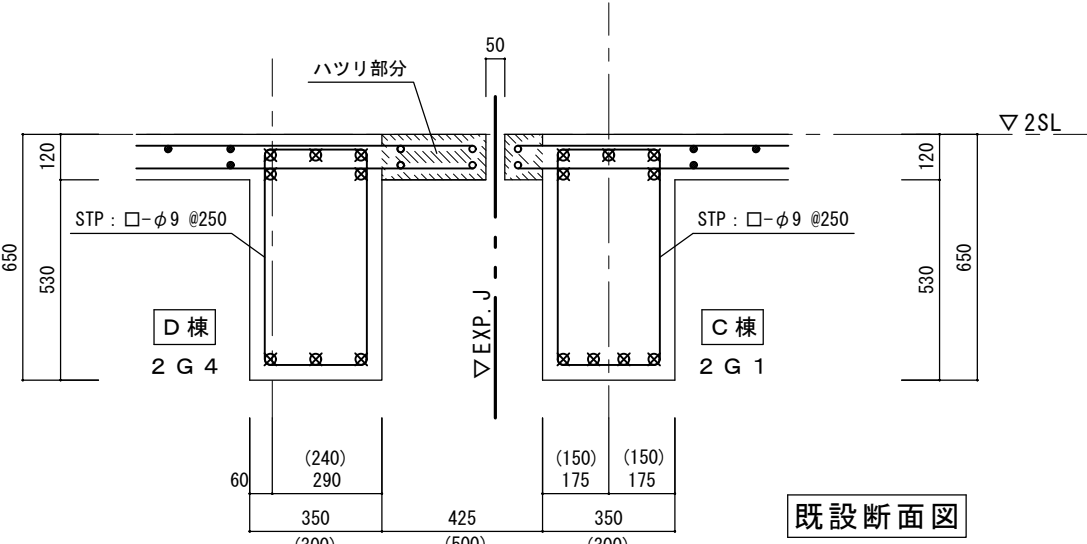
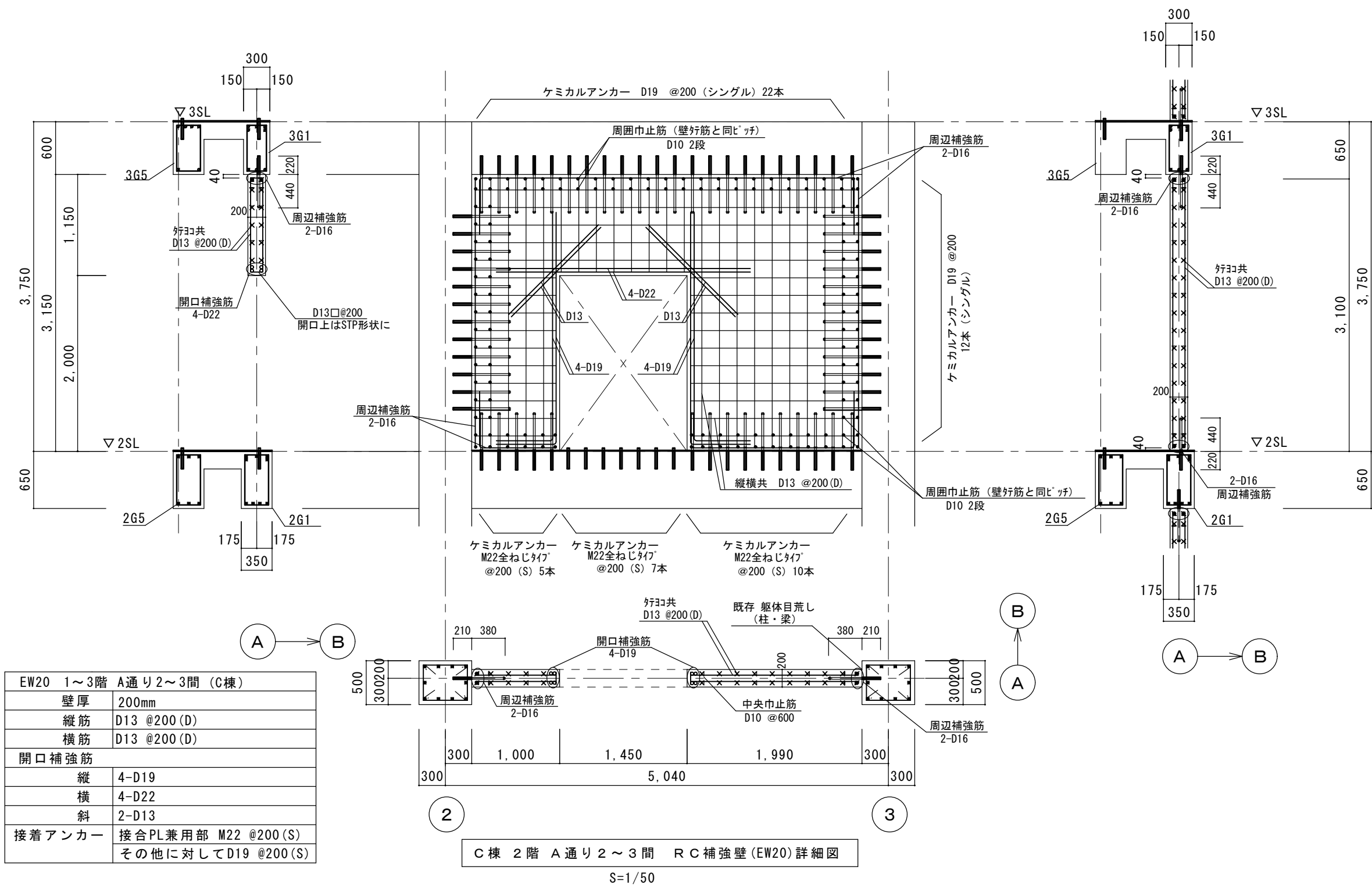
J 2	H-200 × 200 × 8 × 12																		
			S=1:30																
<table><tr><td>接合部</td><td>高力ボルト</td><td>添え板</td><td>数量</td></tr><tr><td rowspan="2">フランジ</td><td rowspan="2">24-M20</td><td>上</td><td>1</td></tr><tr><td>外 9/194/405</td><td>2</td></tr><tr><td rowspan="2">ウエブ</td><td rowspan="2">4-M20</td><td>内 9/70/405</td><td>4</td></tr><tr><td>9/225/140</td><td>2</td></tr></table>				接合部	高力ボルト	添え板	数量	フランジ	24-M20	上	1	外 9/194/405	2	ウエブ	4-M20	内 9/70/405	4	9/225/140	2
接合部	高力ボルト	添え板	数量																
フランジ	24-M20	上	1																
		外 9/194/405	2																
ウエブ	4-M20	内 9/70/405	4																
		9/225/140	2																



土間、犬走り復旧部分 S=1:50

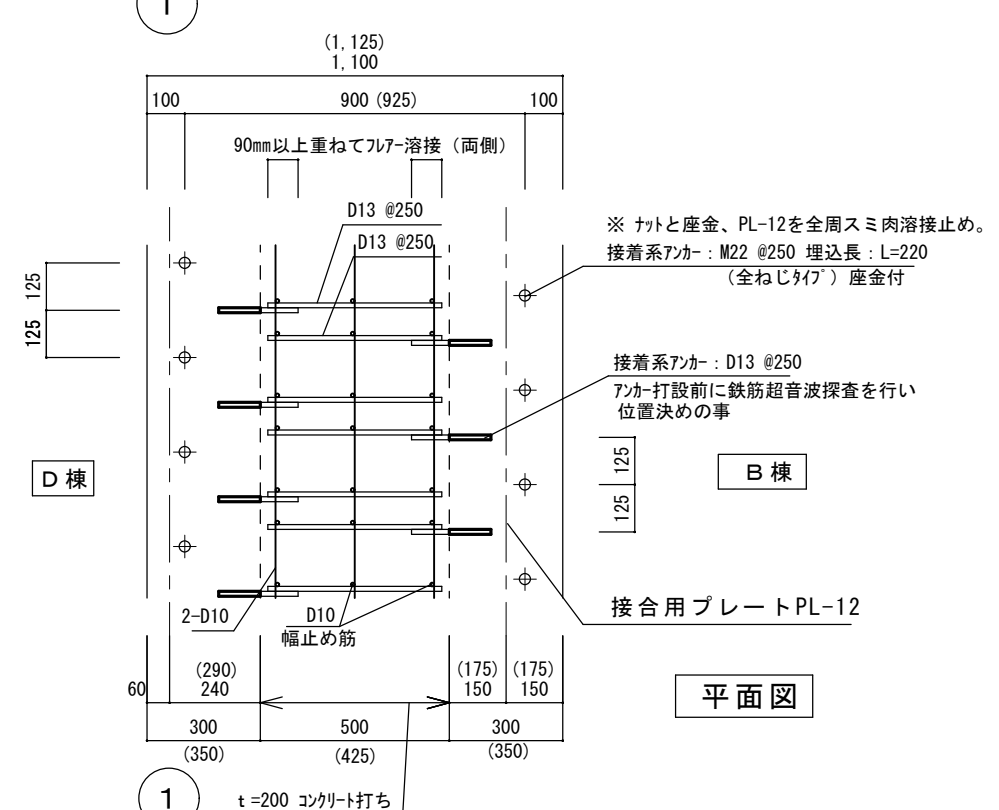
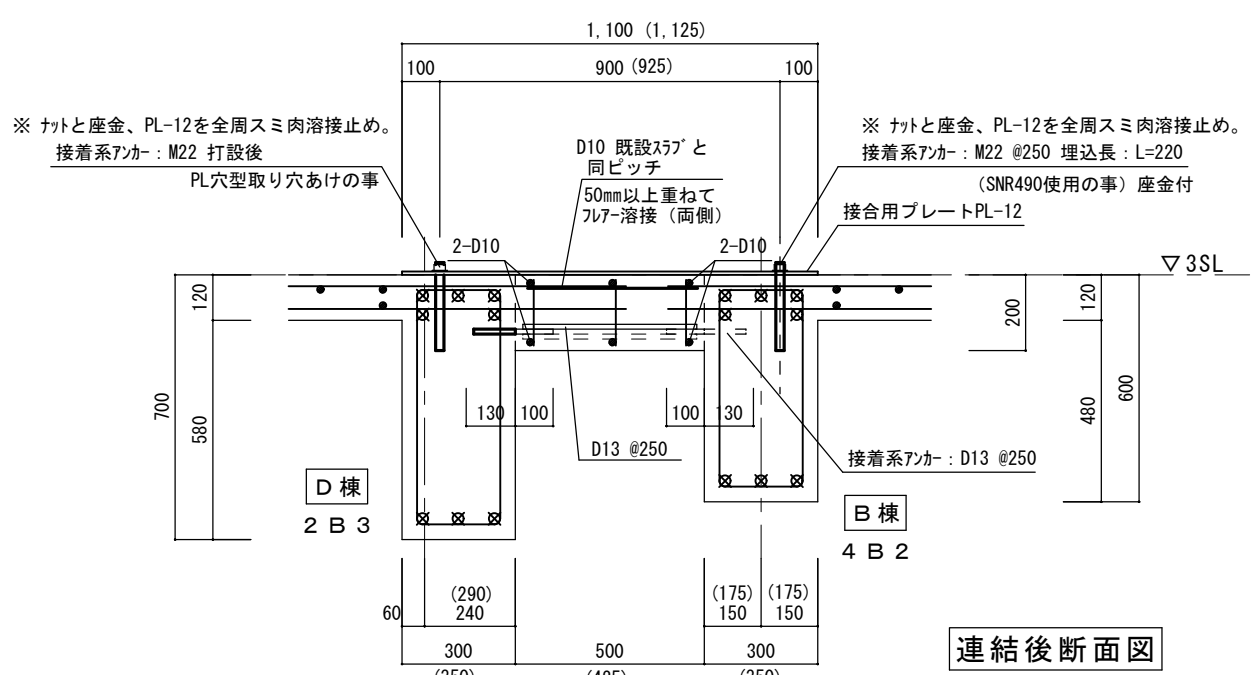
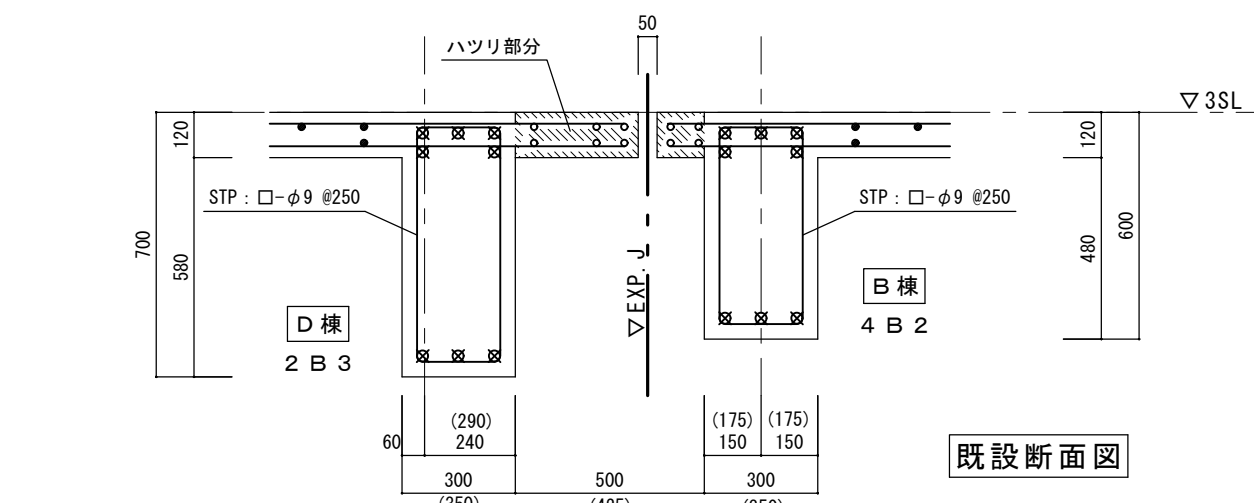






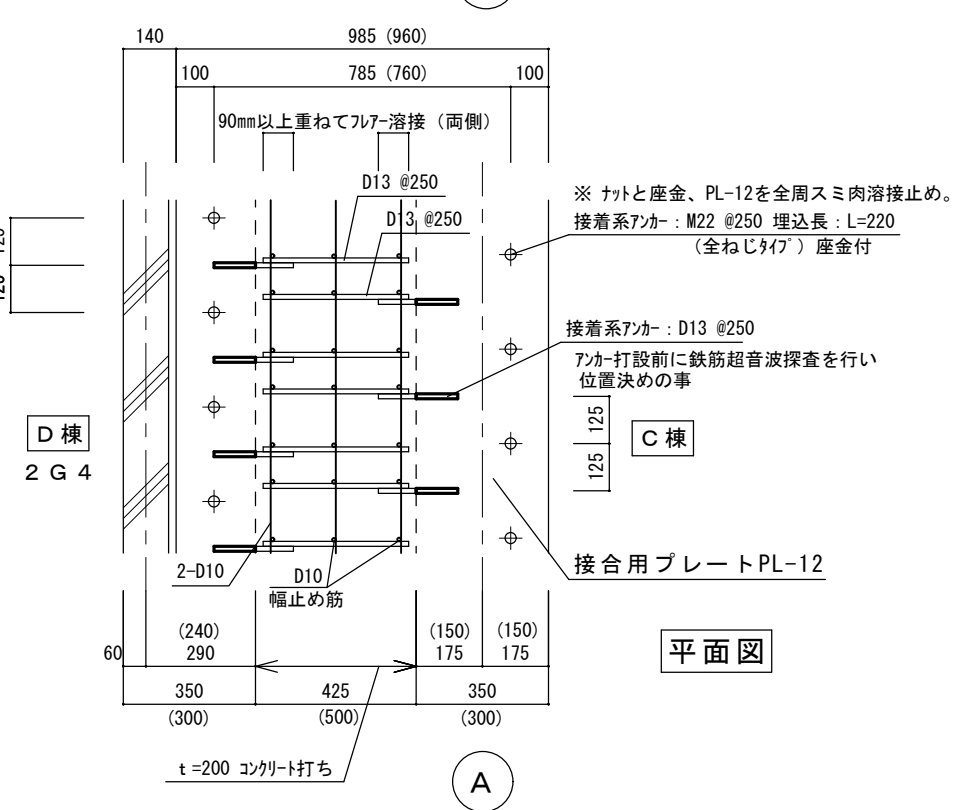
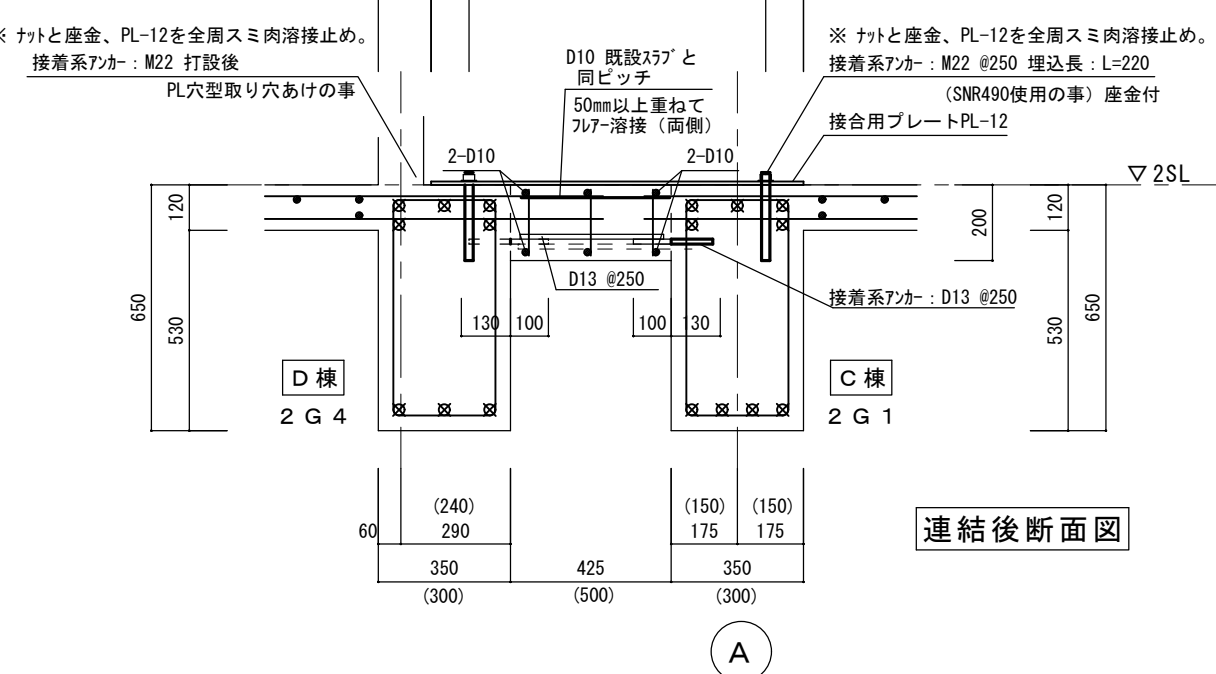
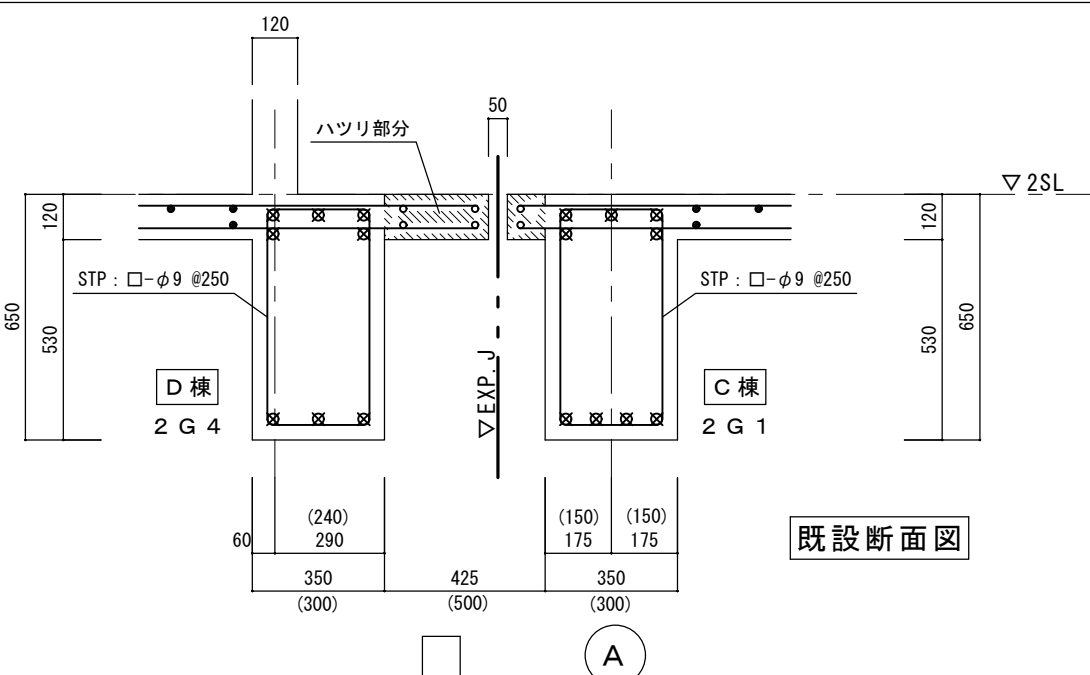
既設エキスハ'ンション'ョイント部連結詳細図 S=1/20  
P L ③

P L ⑥は上記に倣う ( ) 寸法とする。



既設エキスハ'ンション'ョイント部連結詳細図 S=1/20  
P L ⑤

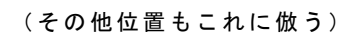
P L ②は上記に倣う ( ) 寸法とする。



既設エキスハ'ンション'ョイント部連結詳細図 S=1/20  
P L ①

P L ④は上記に倣う ( ) 寸法とする。

縮 尺 A1 : 1:20 1:50 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事 (明許)	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 EXP詳細図 (参考)	No. DⅢ27



\* 鉄筋は縦筋、横筋共に切断しないこと  
スリットは完全スリットとする。

縮尺 A1：図示 A3：表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
	図面名称 既存校舎 雑詳細図（参考）	No. DⅢ28



御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）

設計図

令和 年 月(全 校)

仕 様 書

I. 工事概要

敷地所在地	山梨県笛吹市御坂町下野原1257番地 御坂中学校		
都市計画区域	都市計画区域内		
防火指定	無指定		
その他の地域地区	—		
道路	—		
敷地面積	20,833.41㎡(除却面積19.41㎡)	合計	20852.83㎡
用途地域	無指定		
建坪率	70%		
容積率	200%		
建物の主要用途	中学校		
工事の種類	新築		
棟数	1棟		
構造・階数	鉄筋コンクリート造、3階建て		
建築面積	1,642.63㎡(校舎のみ)		
延べ床面積	4,295.60㎡(校舎のみ)		
最高の高さ	16.33m		
最高の軒高さ	15.99m		
消防火上の有窓階・無窓階	有窓階		
下水の放流形式	公共下水道に放流		

工事種目

図示の内容全て

II. 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。  
・「3. 工事種目」のうち 〇の工事範囲は下記表のとおりとする。  
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2. 仮設工事	工事範囲全て
3. 土工事	
4. 地業工事	
5. 鉄筋工事	
6. コンクリート工事	
7. 鉄骨工事	
8. コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	
9. 防水工事	
10. 石工事	
11. タイル工事	
12. 木工事	
13. 屋根及びとい工事	
14. 金属工事	
15. 左官工事	
16. 建具工事	
17. カーテンウォール工事	
18. 塗装工事	
19. 内装工事	
20. ユニット及びその他の工事	

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」(平成 31年版)」(以下、「標仕」という。)による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。  
(3) 特記事項に記載の( ) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。  
(4) 特記事項に記載の(別 )は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。  
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( ) 内は製品名を示す。  
(6) [G]印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章 1 章 各章共通事項

章 2 章 仮設工事

章 3 章 土工事

章 4 章 地業工事

①適用基準等

②工事実績情報の登録

③施工計画書

4.電気保安技術者

⑤施工条件

⑥発生材の処理等

⑦建築材料等

8.化学物質を放散する建築材料等

⑨特別な材料の工法

⑩技能士

⑪電子納品

⑫化学物質の濃度測定

⑬完成図等

⑭完成写真

1.監督職員事務所

②工事用水

③工事用電力

①埋戻し及び盛土

②建設発生土の処理

1.既製コンクリート杭地業

特記事項

・建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 最新版)  
・工事写真の撮り方(改訂第二版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

※適用する

・工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。  
・施工計画の内容を変更する必要がある場合は、監督職員に報告するとともに、施工に支障がないよう適切な措置を講ずる。

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。  
・要  
・不要

○工事着手については監督職員と協議し着手する。

令和 年 3月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4月

※現場説明書による  
・構外搬出適切処理

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。  
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること  
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること  
(3) 安定的な供給が可能であること  
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること  
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること  
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること  
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関( (社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。  
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

建築材料の使用制限

建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上材共にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承諾を受けF☆☆☆のものを採用するを含む)を使用すること。

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

(1.5.2)

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	○鉄筋施工(鉄筋組立て作業)
コンクリート工事	○型枠施工
鉄骨工事	○とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	○塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ボード仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業)
植栽工事	・造園

⑪電子納品

○工事関係図書を電子納品すること

○適用基準は以下の通りとする。（作成・納品の基準、納品する資料の範囲等）

○書面による署名及び捺印の取り扱い(電子成果物の原本性保証に関する処置)  
電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、  
1) 受注者は電子媒体の内容の原本性を照明するために、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。  
2) 共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、上記1)の措置を持って代えることができる

○設計図CADデータ貸与する。

○設計図CADデータの著作権は以下の者にある  
貸与するCADデータを当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。

(1.5.9)

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの5物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し、測定結果報告書を監督職員に提出すること。(測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。)

測定対象科学物質	厚生労働省の指針値(25℃の場合)
ホルムアルデヒド	0.08 ppm( 100 μg/m³)
トルエン	0.07 ppm( 260 μg/m³)
キシレン	0.20 ppm( 870 μg/m³)
エチルベンゼン	0.88 ppm( 3,800 μg/m³)
ステレン	0.05 ppm( 220 μg/m³)

測定はパップン型採取機器により行う。  
着工前の測定  
測定対象室  
測定箇所数  
測定結果の報告

※作成する  
・作成しない  
※完成図  
・提出部数  
※施工計画書  
・提出部数  
※施工図  
・提出部数  
※保全に関する資料  
・提出部数

(1.7.1～3)(表1.7.1)

※各2部  
・部(A3版第2原因及び電子媒体(CD-R))  
※1部  
・部  
※1部  
・部

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)
・カラー ※キャビネ版	外部( )内部( )	※2 ・6	※100×125以上
・カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部( )内部( )	※2	
・電子データ	外部( )内部( )	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする) (参考:(株)グラスアイ 03-3896-7551)

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

※現状GLを設計GLとする  
・図示

・「営繕工事電子納品要領(案)(平成14年11月改訂版)」による。

※設ける  
・1号  
・2号  
・3号  
・4号  
・5号

・規格  
・設けない  
・備品(必要備品は適宜設置)

構内既存の施設  
○利用できる(※有償  
・無償 ) ※利用できない

構内既存の施設  
○利用できる(※有償  
・無償 ) ※利用できない

(3.2.3)(表3.2.1)

種別  
・A種  
※B種  
・C種  
・D種  
・建設汚泥から再生した処理土[G]

※現場説明書による  
・構外搬出適切処理

・構内指示の場所にたい積

・構内指示の場所に敷き均し

(3.2.5)

種類  
※高強度プレストレストコンクリート杭

(4.3.1～2)

杭径(mm)	杭長(M)及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭				
本 杭				

杭頭の処理  
※切断しない  
・  
先端部形状  
※開放形  
・閉そく平たん形  
杭の継手  
建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。(4.3.6)  
施工法  
(4.3.4～5)  
・特定埋込み杭工法  
工法  
・ブレポーリング拡大根固め工法  
・中掘拡大根固め工法  
H13国交告1113号第6Iによる支持力算定式でα=250程度を採用できる工法  
杭周固定液  
・使用する

セメントの種類  
6章コンクリート工事のセメントの種類による

2.場所打ち  
コンクリート杭地業

③砂利地業

4.床下防湿層

①鉄筋の種類

②鉄筋の継手

③鉄筋の最小かぶり厚さ

4.既製コンクリート杭の杭頭補強

5.最上階柱頭補強

6.帯筋

7.壁開口部の補強

8.梁貫通孔の補強形式

9.機械吊上げ用フック

10.圧接完了後の試験

①普通コンクリートの設計基準強度

2.レディーミクスト  
コンクリートの類別

③スランプ

④セメントの種類

⑤骨材の種類

⑥混和材料

⑦無筋コンクリート

8.コンクリート躯体  
表面の処理

9.断熱材兼用型枠

コンクリートの種別及び設計基準強度  
( )N/mm<sup>2</sup>以上  
(表4.5.1)  
鉄筋の種類  
5章鉄筋工事の鉄筋の種類による  
(表4.5.4)  
5章鉄筋工事の鉄筋の種類による  
(表4.5.5)  
・アースドリル工法(安定液使用  
・無水堀削)  
・リバース工法  
・オールケーシング工法(孔内の水張  
・行う  
・行わない)  
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法  
・抵底杭工法(※安定液使用  
・ )  
側壁測定  
・行う( )  
・行わない  
セメントの種類  
6章コンクリート工事のセメントの種類による  
(表4.5.4)  
※再生クラッシュラン[G]  
・切込み砂利及び切込み碎石  
(表4.6.3)  
施工箇所  
※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)  
(表4.6.5)

(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)
・SD295A	※D16以下
・SD345	※D19以上

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋  
※ガス圧接  
・重ね継手

(5.3.4)

最小かぶり厚さは目地底から算定する。  
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。  
(表5.3.5)  
施工箇所  
標仕表5.3.6の値に加える寸法(mm)  
※10  
・  
・柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面

・A形  
・B形  
※図示

※行う  
・行わない

(別2.1)

※H形(口は除く)

(別2.2)

一般壁  
・A形  
※B形  
・図示  
耐震壁  
※図示

(別4.4)(別表4.3～4)

※H形  
・MH形  
・M形

(別7.1)(別表7.1～3)

・A種  
・B種  
・C種  
(ヶ所)

※超音波探傷試験  
・引張試験

(5.6.10)

(6.2.2)

設計基準強度F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	施工箇所
※36	
・27 ・24	構造物
・18	捨てコン

※Ⅰ類  
・Ⅱ類

(6.2.1)(6.4.1～2)(表6.2.1)

18cm

(6.2.4)

(6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1)

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種  
・高炉セメントB種[G]  
( )

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。  
水和熱  
7d  
352J/g以下  
28d  
402J/g以下

アルカリシリカ反応による区分  
※A  
・B(※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>以下)

(6.3.1)

混和材  
仕様箇所  
屋外タキキ部分を除く全体：コンクリート躯体防水剤  
躯体輪部：高性能AE減水材  
設計基準強度  
※18N/mm<sup>2</sup>

(6.14.1)

外装タイル後張り面の躯体表面の処理  
MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm<sup>2</sup>以上かつ、2.5分/m<sup>2</sup>以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

コンクリートの増打り厚さ  
※20mm

※施工範囲は図示による。

適用及び適用箇所について  
標仕19章内装工事9断熱材による。

物件名称

御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）

区分

建築意匠

図面名称

外構特記仕様書-1

No.

L01

第7章 鉄骨工事	①鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 ・監督職員の承諾する製作工場 ・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(M)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。  入熱、バスマン温度の溶接条件 適用箇所　・図示　・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ※図示　・	(7.1.3)	第8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1.補強コンクリートブロック造	※空洞ブロック16　・空洞ブロック16-W	(8.2.2)	第11章 タイル工事	3.壁の石張り工法	外壁石張り 工法 ・外壁湿式工法(※流し筋工法　・ ・乾式工法 石裏面処理　・行う(・小口共) 裏打ち処理　・行う ドレインパイプ　※ステンレスSUS304　・  内壁石張り 工法 ・内壁空積工法(※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法) ・乾式工法	(10.3.2~3)(10.5.2~3)	第14章 金属工事	①ステンレスの表面仕上げ	(14.2.1)	第15章 左官工事	①モルタル塗り材料	吸水調整材	(15.3.2)(表15.3.2)							
	②施工管理技術者	適用する	(7.1.4)		2.コンクリートブロック帳壁及び塀	※標仕表8.3.1及び下表による	(8.3.2)		4.床及び階段の石張り	床石張りの裏面処理　・行う 屋内のワックス掛け　・行う	(10.6.2~3)(10.1.5)		②アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.2)(表14.2.1)											
	③鋼材	鋼材の材質	(7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)		3.ALCパネル	(8.4.2~5)(表8.4.2~4)			1.陶磁器質タイル	タイルの種類	(11.2.2)		3.鉄鋼の垂鉛めっき	(14.2.3)(表14.2.2)											
	4.スカラップ	改良型スカラップ			4.押出成形セメント板(ECP)	(8.5.2~4)(表8.5.1~2)			2.張り付け用材料	既調合モルタル(仕上げ表の仕様により合成樹脂を添加する)			4.金属成形板張り	(14.6.2)(表14.2.1)											
	5.エンドタブ	鋼製エンドタブ 切断する箇所(　)			第9章 防水工事	1.アスファルト防水	(9.2.2~3)(表9.2.3~9)			第12章 木工工事	3.壁タイル張りの工法		内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・横上げ張り	(11.3.3)(表11.3.2)			第15章 左官工事	5.アルミニウム製空木	(14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)	第16章 塗装工事	②床コンクリートの直均し仕上げ	3.仕上塗材仕上げ	①薄付け仕上塗材	防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合割合　凝結時間　曲げ及び圧縮強度比　吸水比　透水比 セメント重量の5%以下　JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上　70%以上　95%以下　80%以下 終結　10時間以内	
	⑥高力ボルト	※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト	(7.2.2)(7.12.4)			2.改質アスファルトシート防水	(9.3.2~3)(表9.3.1~3)				4.接着剤		接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤(以下、「ユリア樹脂等」という)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種	(12.2.2)				②モルタル塗り材料	吸水調整材						
	⑦溶接部の試験	AQOL　※4.0%　・2.5% 検査水準　※第6水準　・図示	(7.6.12)(表7.6.2)			3.合成高分子系ルーフイングシート防水	(9.4.2~3)(表9.4.1~3)				5.防腐・防蟻処理		行う箇所(　) 防腐処理　※行う(※図示　・) 防蟻処理　・行う(※図示　・) 防腐、防蟻処理の種類、品質 表面処理用木材保存剤(防腐・防蟻剤)は監督職員の承諾するものとする。	(12.3.1)(12.3.2)				③軽量骨材仕上塗材	防水剤の種類						
	8.耐火被覆	(7.9.2~7)				4.塗膜防水	(9.5.2~3)(表9.5.1~2)				6.床板張り		フローリング及び縁甲板張り床	(12.6.1)(表12.6.1)				④軽量骨材仕上塗材	防水剤の種類						
	第9章 アンカーボルトの保持及び埋込み工法	⑧高力ボルト	※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト		(7.2.2)(7.12.4)	第10章 石工事	5.ケイ酸質系塗布防水		(9.6.2)(表9.6.1)		第13章 屋根及び土工事		1.長尺金属板葺	屋根葺形式			(13.2.2~3)(表13.2.1)	第16章 塗装工事	⑤軽量骨材仕上塗材						防水剤の種類
		⑨溶接部の試験	AQOL　※4.0%　・2.5% 検査水準　※第6水準　・図示		(7.6.12)(表7.6.2)		6.シーリング		(9.7.2)(表9.7.1)				2.折板葺	形　式　※重ね形　・はげ締め形　・かん合形 形状(mm)　山高(　)　山ピッチ(　)　板厚※0.6　・0.8 材　料　※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(CGLCCR-20-AZ150) (規格等) 軒先面戸板　※有り　・無し 断　熱　材　※有り(種別：　)　厚さ：　(mm)　・無し 耐火性能　※30分耐火　・無し			(13.3.2~3)(表13.2.1)		⑥軽量骨材仕上塗材						防水剤の種類
⑩柱底均しモルタル工法		※A種　・B種 無収縮モルタル 混和材　セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント　JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂　土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 (各重量比) 配合比　(セメント+混和材)：砂＝1：1	(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)	1.天然石張り	石の種類・表面仕上げ		(10.2.1)(表10.2.1~2)	3.とい	材　種　　※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管 ・ステンレスJIS G4305　・既存使用 鋼管製といの防露　※標仕表13.5.3による 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外　・第三種 掃　除　口　※有り　・無し	(13.5.2)(表13.5.1)(13.5.3)(表13.5.5)		⑦軽量骨材仕上塗材	防水剤の種類												
11.溶融亜鉛めっき工法		素地ごしらは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。	(7.12.4)(表14.2.2)	2.テラゾ張り	種石の種類　※大理石　・ 表面仕上げ　※本磨き　・ 形状・寸法　※図示		(10.2.1)(表10.2.2)					⑧軽量骨材仕上塗材	防水剤の種類												
										縮　尺			物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分	建築意匠									
													図面名称	外構特記仕様書-2	No.	L02									



6章 建具工事

1. 見本の製作等

・特殊な建具の仮組(建具符号： ) (表1. 1)

2. アルミニウム製建具

外部に面する建具 (表16. 2. 2) (表16. 2. 4) (表16. 2. 1)

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	S-5				※図示
・C種	S-6	A-4	W-5	特記による	※図示

断熱等級・  
枠・障子：  
  
ガラス：  
  
表面処理 ※B-1種 ・B-2種(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) (表14. 2. 1)

屋内建具  
表面処理 ※C-1種又はB-1種 (表14. 2. 1)  
・C-2種又はB-2種(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)

・網戸  
防虫網 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316) (表16. 2. 3)  
網の種別 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)  
形式 ※外部可動式 ・固定式

3. 樹脂製建具

建具の性能及び構造の適用は建具表による (表16. 3. 2)  
製造所標準仕様による (表16. 3. 3)

4. 銅製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による (表16. 4. 2) (表16. 4. 1)  
耐風圧性の適用は建具表による  
特定防火設備の戸 ・適用あり

5. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による (表16. 5. 2)

6. ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による  
耐風圧性の適用は建具表による  
表面仕上げ ※HL程度 ・鏡面仕上げ (表16. 6. 4)  
曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強あり) (表16. 6. 5)  
特定防火設備の戸 ・適用あり (表16. 6. 1)

7. 木製建具

かまち戸の樹種 かまち( ) 鏡板( ) (表16. 7. 2)  
  
ふすまの上張り (表16. 7. 3～10)  
※新鳥の子又はビニル紙程度(押入等の裏面は除く) ・鳥の子  
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (表16. 7. 2)  
※規制対象外 ・第三種

8. 建具用金物

マスターキー ※製作する ・製作しない (表16. 8. 4)  
建具用金物 (表16. 4. 6) (表16. 5. 6)  
錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする (表16. 8. 1～5)  
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける (表16. 8. 2)

吊金物  
・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)  
・ヒボットヒンジ  
・フロアヒンジ

9. 自動ドア開閉装置

(表16. 9. 2～3) (表16. 9. 1～3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア	・マットスイッチ ・電子マットスイッチ
・スイングドア	※光線スイッチ ・音波スイッチ
	※熱線スイッチ ・光電スイッチ

・凍結防止措置(適用箇所は建具表による)

10. 自閉式上吊り引戸装置

品質規格 ※標仕16. 10. 1による (表16. 10. 2～3)  
製造所標準仕様による

11. 重量シャッター

(表16. 11. 2)

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能( )N/m <sup>2</sup>
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能( )N/m <sup>2</sup>
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 (表16. 11. 1) (表16. 11. 2)

危害防止機構  
※障害物感知装置(自動閉鎖型)  
・シャッターの二段降下方式  
一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない (表16. 11. 2)

12. 軽量シャッター

(表16. 12. 2) (表16. 12. 1)

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用)

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・鋼板 (表16. 12. 3)

形状 ※インターロックキング形 ・オーバerringキング形 (表16. 12. 4)

ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304(厚さ1.5mm) (表16. 12. 2)

耐風圧性能 ( )N/m<sup>2</sup>

13. オーバーヘッドドア

(表16. 13. 2～3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板
・ファイバークラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)
		・パーチャカル形	

耐風圧性能 ( )N/m<sup>2</sup>

14. ガラス

※建具表による (表16. 14. 2)  
・ガラスブロック 標仕16. 14. 5による (表16. 14. 5)

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	防火性能
・正方形			※クリア	※無し
・長方形				・有り

ガラス留め材及び溝

ガラス留め材 (表16. 14. 2) (表9. 7. 1)

建具の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。 (表16. 14. 3)

板ガラスをはめ込む溝の大きさ  
標仕16. 14. 3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会 JASS 17ガラス工事「3. 納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D1

品質 JIS A 5759による

7. カーテンウォール工事

2. メタルカーテン

設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS14による。

カーテンウォール材料の種類

(17. 2. 2)

種 別		規格等	
※アルミニウム製		※標仕16. 2. 3のアルミニウム製建具の材料による	

カーテンウォール方式

・ 方立方式

・ バックマリオン方式 (・ 単純2辺支持構法 ・ SSG構法)

・ スパンドレル方式

・ パネル方式

・ 小型パネル組み合わせ方式 (・ ノックダウン方式 ・ ユニット方式)

シーリング材及びガラス取付け材料

下記以外は標仕表9. 7. 1による

(9. 7. 2) (17. 2. 2) (表9. 7. 1)

被着体の組合せ		シーリング材の種類	
金属	ガラス	記 号	主成分による区分
	石、タイル		耐久性による区分
	ガラス		

構造用ガスケット

※適用しない

(17. 2. 2)

・ 適用する(施工箇所：図示)

断熱材

※適用しない

(17. 2. 2)

・ 適用する(種類： 厚さ(mm)： 施工箇所※図示)

製品の寸法許容差

※標仕表17. 2. 1による

(17. 2. 3) (表17. 2. 1)

・ 製造所標準製作規定寸法許容差による

・ 焼付け方法( )コート( )ペーク

(17. 2. 5) (表17. 2. 2～3)

アルミニウムの表面処理

(17. 2. 3) (表14. 2. 1)

種 別		色彩等	
・ A-1種	・ B-1種	無着色	
・ A-2種	・ B-2種	※ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー	
・ 着色塗膜 塗装材料( )		( )コート( )ペーク	

耐風圧性能

(17. 1. 3)

性能値

※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・ 正圧 N/m<sup>2</sup>以上及び負圧 N/m<sup>2</sup>以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離(H)	たわみ量	状 態
※4M以下	※± (1/100) × h	※各部の破損、残留変形
・ 4Mを超える	かつ絶対値20mm以下	有害な変形が起こらないこと

耐震性能

(17. 1. 3)

設計用震度

水平方向(K<sub>h</sub>) ※1. 0

垂直方向(K<sub>v</sub>) ※0. 5

建物の構造種別	層間変位量(h=支点間距離)	状 態
鉄骨造	※± (1/100) × h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが生じないシーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造	※± (1/200) × h以上	
鉄骨鉄筋コンクリート造		

水密性

・ W-4

(17. 1. 3)

気密性

・ A-3

(17. 1. 3)

・ W-5

・ A-4

耐火性能

※適用しない

・ 適用する( 時間、施工箇所：図示)

映像調整

※行わない

・ 行う(建具表による)

製造所

性能等の確認できる資料を提出し監督職員に承諾を受ける

設計図書による規定の他、特記無き事項は(社)日本建築学会JASS 14による。

コンクリートの種類及び品質

(17. 3. 2)

※標仕17. 3. 2による

・ 下表による。ただし、下表以外は標仕17. 3. 2による。

コンクリートの種類	設計基準強度(F <sub>c</sub> )	所要スランプ(cm)
鉄筋	※SD295A	

鉄付け用金物の表面処理(鉄の亜鉛めっき)及び材質

(14. 2. 3) (表14. 2. 2)

金物種類及び部位	内 部	外 部
PC版打込み金物	※E種	※A種
PC版打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種	※A種
取付けボルト	※E種	※A種
レベル調整ボルト	※E種	※A種

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料

下記以外は標仕表9. 7. 1による

(9. 7. 2) (17. 3. 2) (表9. 7. 1)

施工箇所	シーリング材の種類	
カーテンウォール板間目地	記 号	主成分による区分
		耐久性による区分

断熱材

※適用しない

(17. 3. 3) (表17. 3. 1)

・ 適用する(種類： 厚さ(mm)： 施工箇所※図示)

製品の寸法許容差

※標仕表17. 3. 1による

(17. 3. 3) (表17. 3. 1)

・ 製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ

( )

耐火材料

施工部位	種 別	規格等
・ ファスナー部		
・ 取付けブラケット		
・ パネル目地部		
・ 層間ふさぎ		

耐風圧性能

(17. 1. 3)

性能値

※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・ 正圧 N/m<sup>2</sup>以上及び負圧 N/m<sup>2</sup>以上に対して安全であること。

耐震性能

(17. 1. 3)

設計用震度

水平方向(K<sub>h</sub>) ※1. 0

垂直方向(K<sub>v</sub>) ※0. 5

建物の構造種別	層間変位量(h=支点間距離)	状 態
鉄骨造	※± (1/100) × h以上	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。
鉄筋コンクリート造	※± (1/200) × h以上	ガラス等の破損もない
鉄骨鉄筋コンクリート造		シーリングは補修程度

3章 塗 装 工 事	①材 料	屋内の壁及び天井の塗装の仕上りは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。(18.1.3)
	②素地ごしらえ	各部の素地ごしらえ(18.2.1～7)(表18.2.1～7)
		木 部 ※A種(不透明塗料塗) ※B種(透明塗料塗)
		鉄鋼面 ※A種 ※B種 ※C種
		亜鉛めっき鋼面 ※A種 ※B種 塗り工法に応じた節の規定
		モルタル・プaster面 ※A種 ※B種
		コンクリート・ALCパネル面 ※A種 ※B種
		コンクリート・押出成形セメント板面 ※A種 ※B種 塗り工法に応じた節の規定
		ボード面 ※A種(継目処理工法) ※B種(その他)
	③錆止め塗料塗り	塗料の種類(18.3.1～2)
		鉄鋼面 ※A種 ※B種(標準仕様書8節の場合)
		亜鉛めっき鋼面 ※A種 ※B種(標準仕様書8節の場合)
		錆止め塗料塗り(18.3.3)
		鉄鋼面 ※A種(見え掛り) ※B種(見え隠れ)
		亜鉛めっき鋼面 ※A種(鋼製建具等)・B種
	4. 合成樹脂調合 ペイント塗り(SOP)	種類 ※1種 ※2種(18.4.2)
		木部 ※A種(屋外) ※B種(屋内)(表18.4.1～3)
		鉄鋼面 ※A種 ※B種
	5. クリアラッカー 塗り(OL)	種別 ※A種 ※B種(18.5.1)(表18.5.1)
	6. アクリル樹脂系非水 分散形塗料塗り(NAD)	種別 ※A種 ※B種(18.6.1)(表18.6.2)
19章 内 装 工 事	⑦耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面上塗り塗料 ※1級 ※2級 ※3級(18.7.2)(表18.7.1)
		亜鉛めっき鋼面上塗り塗料 ※1級 ※2級 ※3級(18.7.3)(表18.7.3)
		コンクリート面及び押出成形セメント板面 ※A種 ※B種 ※C種(18.7.4)(表18.7.3)
	8. つや有り合成樹脂エマ ルションペイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プaster面、石こうボード面、 その他のボード面 ※A種 ※B種(18.8.2)(表18.8.1)
		鉄鋼面(屋内) ※A種 ※B種(18.8.4)(表18.8.3)
	9. 合成樹脂エマルション ペイント塗り(EP)	コンクリート面、モルタル面、プaster面、石こうボード面、 その他のボード面 ※A種 ※B種(18.9.2)(表18.9.1)
	10. 合成樹脂エマルション 模様塗料塗り(EP-T)	コンクリート面、モルタル面、プaster面、石こうボード面、 その他のボード面 ※A種 ※B種(18.10.2)(表18.10.1)
	11. ウレタン樹脂ワニス 塗り(UC)	種別 ※A種 ※B種(18.12.2)(表18.12.1)
	12. オイルステイン塗り (OS)	塗料 ※(18.12.2)(表18.12.1)
	13. 木材保護塗料塗り (NP)	種別 ※A種 ※B種(18.13.2)(表18.13.1)
	2. ビニル床シート張り ビニル床タイル 及びゴム床タイル張り	・ビニル床 シート(19.2.1～4) (表19.2.1～2)
		JIS A5705のJIS表示認証製品
		種 類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工 法
		※発泡層の ないもの ※FS ※無地 ※2.0 ※帯電防止 ※熱溶接
		・発泡層の あるもの TS ・マーブル ・2.5 ※帯電防止 ※突付け
		・KS
	・化粧ビニル床 シート	JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した 木目又は石目調のもの
		種類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工 法
		FS ※木目調 ※2.0 ※帯電防止 ※熱溶接
		・石目調 ※2.5 ※帯電防止 ※突付け
	・ビニル床 タイル	JIS A5705のJIS表示認証製品
		種 類 記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能
		※コンポジション ビニル床タイル ※KT ※300×300 ※2.0 ※帯電防止
		・ホモジニアス ビニル床タイル ※FT ※300×300 ※2.0 ※帯電防止
		※450×450 ※帯電防止 ※耐動荷重
	・特殊機能床材	帯電防止
		・帯電防止性能評価値(JIS A 1445)1.2～3.1程度
		又は耐電圧(JIS L 1023)3kV以下
		・帯電防止性能評価値(JIS A 1445)3.2～5.1程度
		又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満
	・帯電防止性能評価値(JIS A 1445)5.2以上	又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満
	耐動荷重	JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離 強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキヤスター性試験等の 試験後異常がないこと。
	・視覚障害者用床タイル	材 質 寸 法(mm)
		・塩化ビニル系 ・せつ器質タイル系 300×300
	・ビニル幅木	材 種 ※軟質 ※硬質 ※溶接
		高 さ(mm) ※60 ※75 ※100
		厚 さ(mm) ※1.5 ※2.0
	・接着剤	JIS A 5536(床仕上げ材接着剤)により、 種別は表19.2.11による施工箇所に応じたものとする。 ホルムアルデヒド放散量は特記にない。特記がなければ☆☆☆☆とする。 (19.3.1～4)(表19.3.1)
	・織じゅうたん	種 別 バイル形状 色柄等 備 考
		・A種 ・カットバイル ※無地
		・B種 ・ループバイル ※柄物(標準品)
		・C種 ・カット、ループバイル併用
	耐電性 ※人体帯電圧3kV以下	
	・タフテッドカーベット	(19.3.3～4)(表19.3.2)
		バイル形状 バイル長(mm) 工 法 備 考
		・カットバイル ※5～7 ※全面接着工法 下敷き材を敷く。
		・ループバイル ※4～6 ※グリッパー工法
		・レベラーフバイル ※4
		・カット、ループ併用
	耐電性 ※人体帯電圧3kV以下	

4. 合成樹脂塗床

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

・タイルカーベット

	縮 尺	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分 建築意匠
		図面名称 外構特記仕様書-3	No. L03



の章  
ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア

(20. 2. 2)

施工箇所

構 法

仕上り高  
(mm)

適用地震  
時水平力

耐荷重性能

表面仕上げ材

備 考

・パネル構法  
・溝構法

・1. 0G  
・0. 6G

・3. 000N  
・5. 000N

・帯電防止床タイル  
・タイルカーベツト

・パネル構法  
・溝構法

・1. 0G  
・0. 6G

・3. 000N  
・5. 000N

・帯電防止床タイル  
・タイルカーベツト

・パネル構法  
・溝構法

・1. 0G  
・0. 6G

・3. 000N  
・5. 000N

・帯電防止床タイル  
・タイルカーベツト

5. 000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による  
スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示  
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）  
コンセントの箇所数は図示

配線用取り出しパネル  
配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上  
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30% ・  
空調用吹き出しパネル ※無し  
・有り(※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示)

2. 可動間仕切

(20. 2. 3)

構造形式

パネル部の  
総厚さ (mm)

表面材種  
厚さ (mm)

表面仕上げ

遮音性能

防火性能

・スタツド式  
・スタツドパネル式  
・パネル式

・60

※鋼板  
(※0. 6 ・0. 8)

※メラミン樹脂又は  
アクリル樹脂焼付け

・あり  
( ) ・なし

・あり  
・なし

3. 移動間仕切

(20. 2. 4)

遮音性能

厚さ (mm)

表面材

表面仕上げ

操作方法

・一般タイプ

※鋼板

・焼付け塗装  
・壁紙張り

・手動式  
・部分電動式

・電動式

・遮音タイプ  
(36db以上)

※鋼板

・焼付け塗装  
・壁紙張り

・手動式  
・部分電動式

・電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による  
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

4. トイレブース

(20. 2. 5)

表面仕上げ材

※メラミン樹脂系化粧板(標準色 アルミ製コーナーエツジ付き)  
・ポリエステル樹脂系化粧板

足形状

※幅木型 ・足金物型

5. 階段滑止め

(20. 2. 6)

材 種

ステンレスSUS304

形 状

ビニルタイヤ入り  
両端フラツトエンド ※有り(・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し

幅 (mm)

約35

取付け工法

※接着工法 ・埋込み工法

6. 階段手すり

種 別

施工箇所

※集成材クリアラツカー仕上げ  
(市販品 径 約45mm)

階段A

・既成品 ビニルハンドレール

階段B

7. 黒板及び  
ホワイトボード

(20. 2. 8)

種 類

寸法 (mm)

色 彩

備 考

・黒板

※焼付け

※緑 ・黒  
※緑 ・黒

※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

・ホワイト  
ボード

※ほうろう

※白

※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

8. 鏡

寸法 (mm) ・図示 ・  
厚さ (mm) ※5 ・

(20. 2. 9)

9. 表 示

衝突防止表示  
※図示(市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・)  
(・両面 ・片面)  
・無し  
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による  
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

(20. 2. 10)

10. 煙突用成形ライニング

・煙突用成形ライニング材  
最高使用温度 ※650℃ ・400℃  
・キャストابل耐火材  
工 法 ※こて押さえ  
最高使用温度 ※400℃

(20. 2. 11)

11. ブラインド

(20. 2. 12)

形 式

種 類

スラツトの材質

スラツトの幅 (mm)

※模型

※ギヤ式 ・コード式  
・操作棒式

※アルミニウム合金製

※25

・縦型

・1本操作コード  
・2本操作コード

・アルミスラツト  
・クロススラツト

・80  
・100

12. ロールスクリーン

防炎性能 ※有り

(20. 2. 13)

施工箇所

装 置

備 考

電動

手引

・  
・  
・  
・

13. カーテン

(20. 2. 14)

施工箇所

形 式

装 置

ひだの種類

性 能

備 考

片引|引分

電動|紐引|手引

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

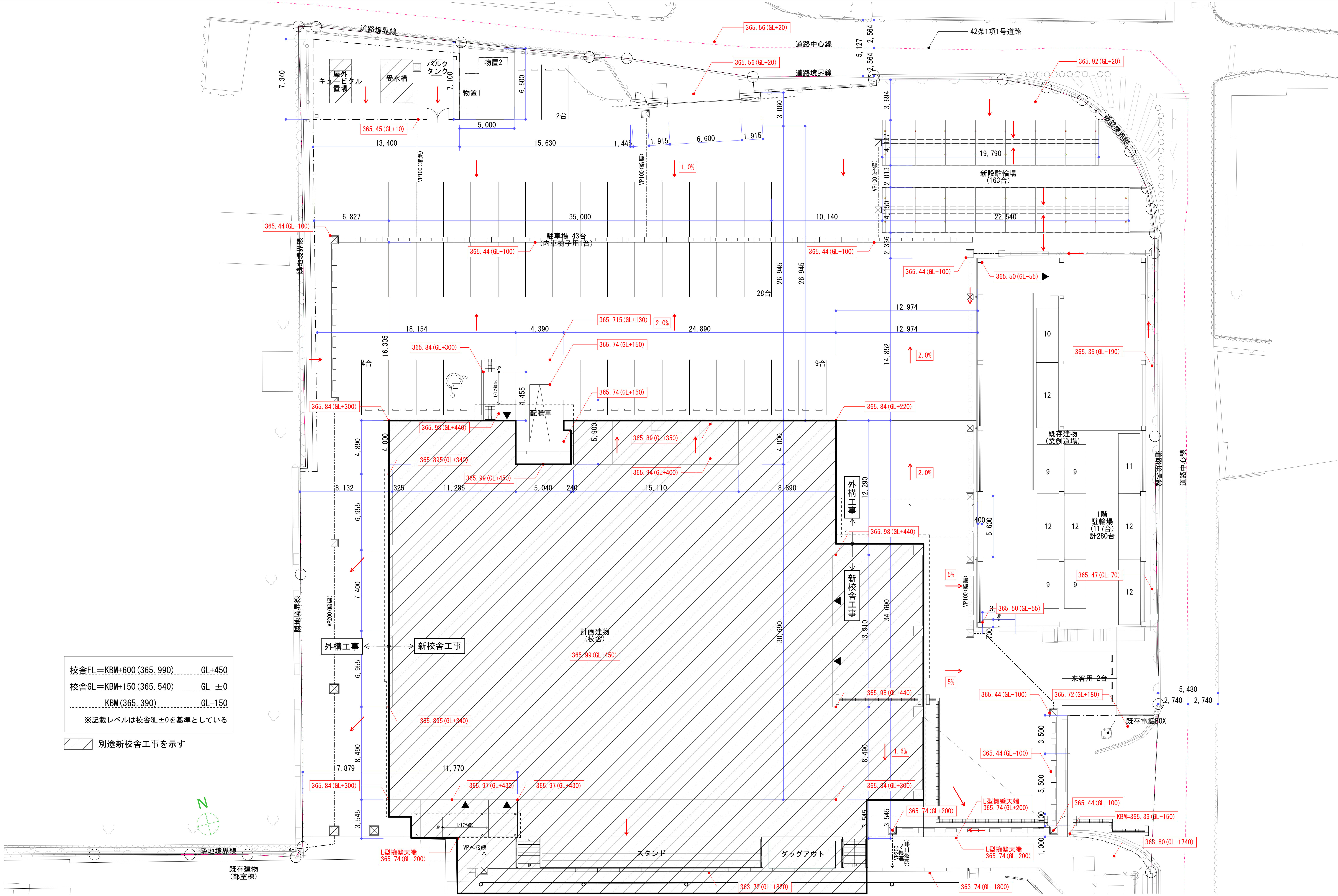
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・</





校舎FL=KBM+600(365.990).....GL+450  
校舎GL=KBM+150(365.540).....GL±0  
.....KBM(365.390).....GL-150  
※記載レベルは校舎GL±0を基準としている

別途新校舎工事を示す

縮尺 A1: 1:150 A3: 表記の50%	物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事(明許)	区分	建築意匠
	図面名称	外構図-1(レベル)	No.	L05



凡例	2. 図障構造物	外構工事
----	a1 水平メッシュフェンス (H1.2総延長)	83.00 m
----	a1 水平メッシュフェンス (H1.8総延長)	40.00 m
=====	b 地先境界ブロック (総延長)	50.00 m
▭	c 自由勾配側溝 (グレーチング蓋) (総延長)	96.00 m
U	d U型側溝 (グレーチング蓋) (総延長)	3.40 m
⊠	e1 集水枡600 (H800)	8 ケ所
⊠	e1 集水枡600 (H1000)	4 ケ所
⊠	e1 集水枡600 (H1200)	1 ケ所
⊠	e1 集水枡600 (H1400)	3 ケ所
⊠	e1 集水枡600 (H1500)	1 ケ所
⊠	e2 集水枡900 (1500)	1 ケ所
----	f 暗渠VP管100φ (総延長)	77.90 m
----	g 暗渠VP管200φ (総延長)	42.50 m
	h 東側門扉+片開き門扉	1 ケ所
	i 現場打ち擁壁	33.00 m
	k L型擁壁 (H1950)	20 m
	p フェンス門扉 (H=1.8, W=2.0)	1 ケ所
別途工事	q 大型門扉 (北側正門) + 片開き門扉	1 ケ所
	r 駐輪場① 2,000×19,790×2連	1 棟
	s 駐輪場② 2,000×22,540×2連	1 棟
	u 渡り廊下② 12,600×3,540	1 棟
	v 石積み天端コンクリート (W300×H200)	34.00 m
	w スロープ	1 ケ所
	x 物置基礎 新設物置: 2,630×1,530×2,085H×1棟 1,790×950×2,085H×1棟	1 ケ所



工事範囲外を示す

縮尺 A1: 1:150 A3: 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事 (明許)	区分 建築意匠
	図面名称 外構図-2 (図障構造物)	No. L06



凡例	1. 舗装	外構工事
	アスファルト舗装	2,700.42 m <sup>2</sup>
	コンクリート舗装	300.77 m <sup>2</sup>
	防草シートの上砂利敷	47.90 m <sup>2</sup>
	外部用点字ブロック300角、直貼り	154.00 枚
	白線 (柔剣道場ピロティ部駐輪場部分含む)	839.00 m
	b 車止めブロック	17ヶ所 (34個)



工事範囲外を示す

縮尺	物件名称	区分
A1 : 1:150	御坂中学校躯体解体及び外構工事 (明許)	建築意匠
A3 : 表記の50%	図面名称	No.
	外構図-3 (舗装)	L07

土の種類とCBRの目安値

土の種類	現場CBR値の範囲(%)
含水量が多く、粘土・シルト分の多い土	3以下
含水量の多い火山灰質ローム	3～5
含水量が比較的少なく、粘土・シルト分の多い土	3～5
含水量のあまり多くない火山灰土	3～7
砂質ローム	3～7
含水量の少ないローム	7～15
砂質土	7～15

※アスファルト舗装A(普通車を想定)(設計CBR3%以上)  
※アスファルト舗装B(歩道を想定)(設計CBR3%以上)

アスファルト舗装A密粒質アスファルトt=40

アスファルト舗装B密粒質アスファルトt=40

プライムコート PK-3

路盤材料  
再生クラッシュラン RC-40

先行造成土より高さ

設計CBR 3%以上  
設計CBR 2%未満は3%以上に改良

コンクリート目地の構造

6～10  
注入目地材

6～10  
注入目地材

6～10  
注入目地材

20  
注入目地材

コンクリート目地の構造

6～10  
注入目地材

20  
注入目地材

舗装面

・コンクリート舗装 150

・アスファルト舗装 200

①- 12台→24個

地先境界ブロック

境界線

120

モルタル詰め  
車止め用砕石  
L=500

モルタル  
均しコンクリート  
切込み砕石、切込み砕石  
又は再生クラッシュラン

面する場所

H

・舗装 15

・土 50

散地西側擁壁取りり

石積み天端コンクリート  
D10-φ200  
@5m程度に目地を設けると

メッシュフェンスH=1200

A5舗装

※施工にあたっては、施工図を提出のうえ、  
監督員と協議の上で進めるものとする。

メッシュフェンス

2000

2000

A

B

ファイヤメッシュ  
(ハイデンション線)  
垂距・フルス・マグネシウム  
(合金めっき鉄線)

φ50.8×1.6  
(帯形リブ鋼管)

φ50.8×1.6  
(帯形リブ鋼管)

1170

1200  
(1800)

30

200

180  
(250)

180  
(250)

(H1800の基礎寸法を示す)

自由勾配側溝300×300

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 300	個	5.00	本体 L=2.0m W=75kg グレーファ L=1.0 W=23kg

自由勾配側溝300×400

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 400	個	5.00	本体 L=2.0m W=550kg グレーファ L=1.0 W=23kg

自由勾配側溝300×500

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 500	個	5.00	本体 L=2.0m W=624kg グレーファ L=1.0 W=23kg

自由勾配側溝300×600

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 600	個	5.00	本体 L=2.0m W=788kg グレーファ L=1.0 W=23kg

自由勾配側溝300×700

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 700	個	5.00	本体 L=2.0m W=957kg グレーファ L=1.0 W=23kg

自由勾配側溝300×800

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 800	個	5.00	本体 L=2.0m W=1155kg グレーファ L=1.0 W=23kg

自由勾配側溝300×900

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 900	個	5.00	本体 L=2.0m W=1357kg グレーファ L=1.0 W=23kg

自由勾配側溝300×1000

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H=1000	個	5.00	本体 L=2.0m W=1577kg グレーファ L=1.0 W=23kg

大型門扉(東門側)

150

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 500	個	5.00	本体 L=2.0m W=624kg グレーファ L=1.0 W=23kg

大型門扉(東門側)

150

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 700	個	5.00	本体 L=2.0m W=957kg グレーファ L=1.0 W=23kg

型擁壁、転落防止フェンス

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 800	個	5.00	本体 L=2.0m W=1155kg グレーファ L=1.0 W=23kg

U型側溝

120

材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	換算
基礎コンクリート	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.59	
基礎コンクリート型枠	掃 料	m <sup>2</sup>	2.00	
基礎砕石	RC-40	m <sup>2</sup>	6.90	厚さ t=10.0cm
のり・スリット	18- 8-25	m <sup>3</sup>	0.15	標準厚t=5.0cm
横断VS側溝(グレーファ付)	B=300 H= 900	個	5.00	本体 L=2.0m W=1357kg グレーファ L=1.0 W=23kg

主要部材断面図 (S=1/5)

① 上横框

② 下横框

③ 縦 框

④ 縦格子

⑤ 台 車

⑥ 施錠框

⑦ 施錠戸当り柱

柱仕様

片開き

内開き

道路側

22.5

900

4.44

100

W+50±5

100

1400

805

1200

1900

400

4

コンクリート(南庭上り壁)

140

コンクリート  
金ゴ子挿入

SUS鉄木W250

2-D13

20φ×20

D10-φ200  
スプレッド

コンクリート打設しA欄  
目地入

2-D13

D13

D10-φ300

均しコンクリート  
切込み砕石、切込み砕石  
又は再生クラッシュラン

H

a

b

c

d

60

100

H

a

b

c

・1500未満

350

150

500

A:1500～2,000未満

400

200

600

A:1500～2,000未満

350

200

550

100

B:2,000～2,500

450

250

650

B:2,000～2,500

450

250

900

200

※昇降口北 W1820×2×W1970×W300×H1,900  
※昇降口南 W3,500×1,000×H1,200

駐輪場サイン

1:10

サイン

12φ  
アクリルt3  
取り外し式

2-1

200

500

物件名称

御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）

図面名称

外構詳細図-1

縮 尺

A1：図示  
A3：表記の50%

区分

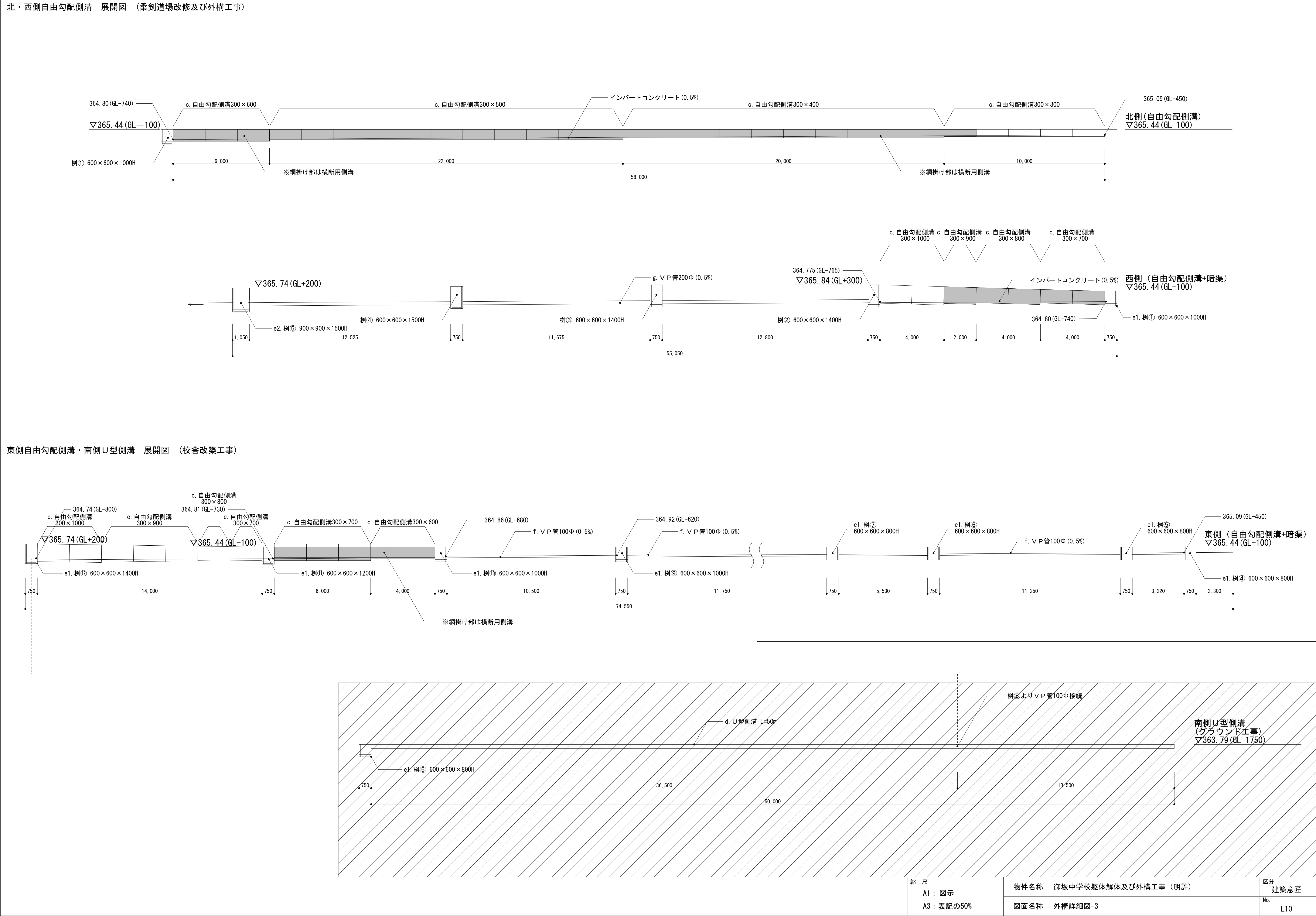
建築意匠

No.

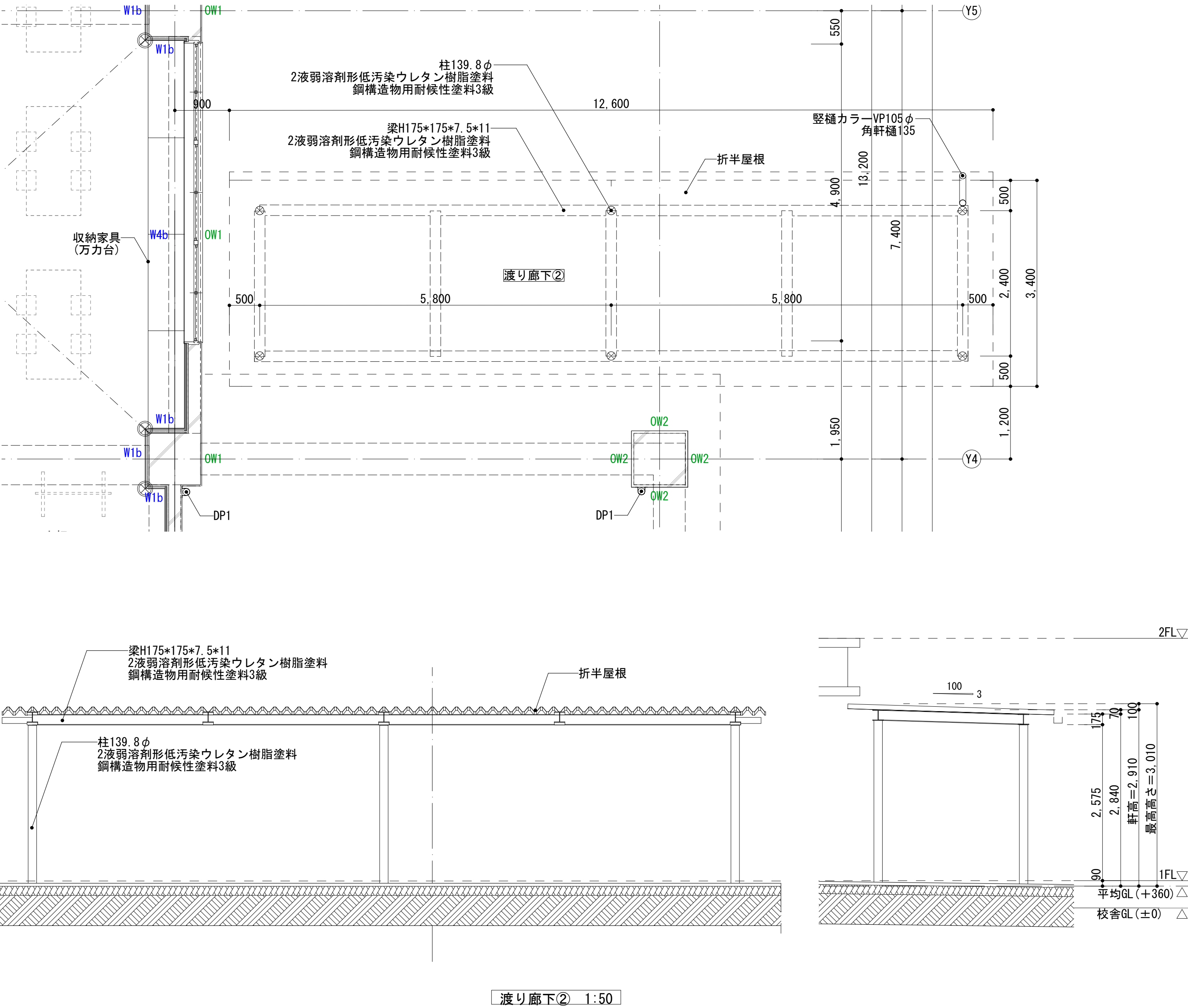
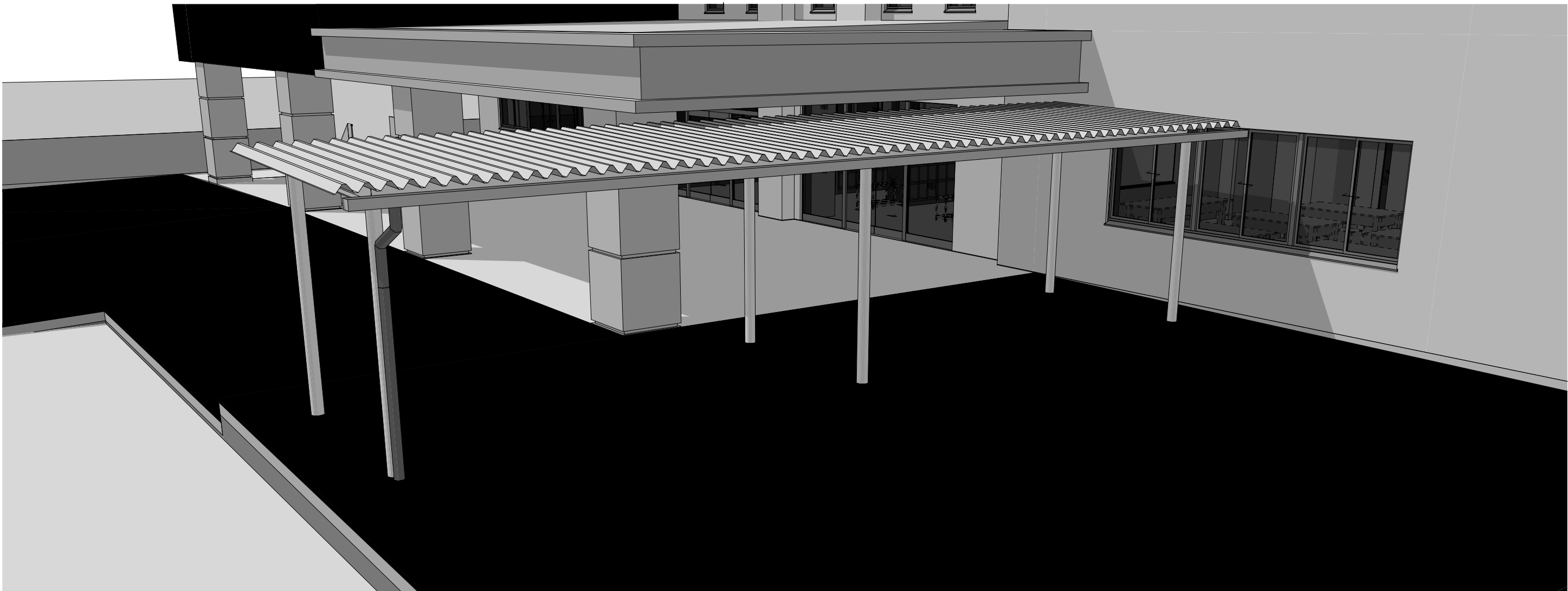
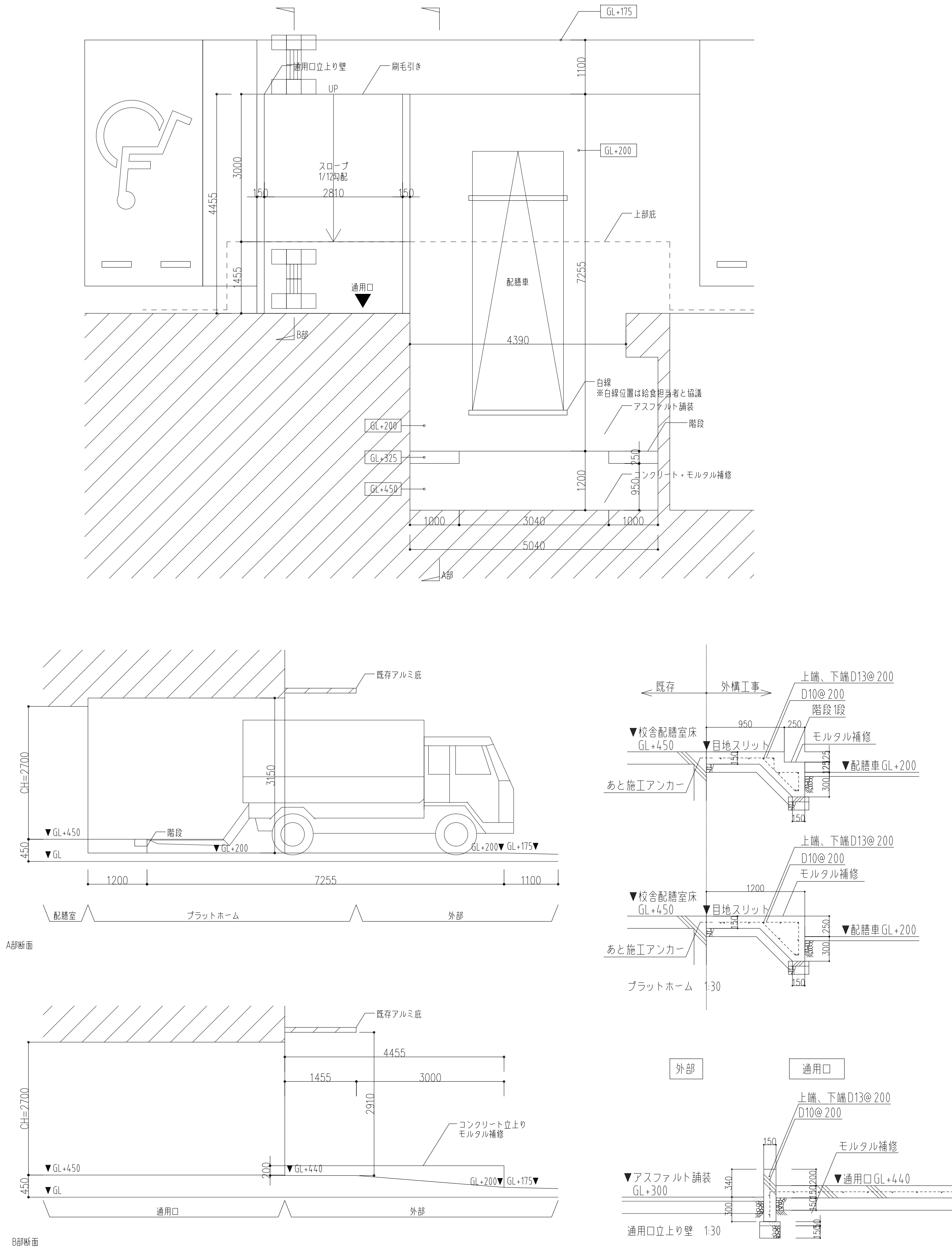
L08



















## 鉄骨構造標準図(2)

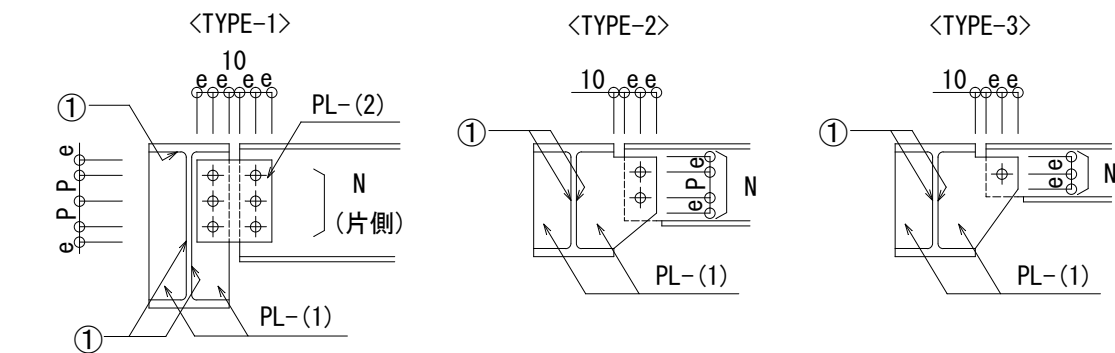
### 3. 継手基準図、その他

(1) 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P)      ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び径 d		ボルト 穴 径	最小縁端距離 (e)				ピッチ (P)	
			(1)	(2)	(3)	② (3) の標準	最小	標準
高力ボルト	M16	18.0	40	28	22	40	40	60
	M20	22.0	50	34	26	40	50	60
	M22	24.0	55	38	28	40	55	60
	M24	26.0	60	44	30	45	60	70
アンカー ボルト・ボルト ( )内はボルトを示す を超える	M16	21 (16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
	M20	25 (20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
	M22	27 (22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
	M24	29 (24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
	M30 を超える	呼び径+5	9d/5	4d/3				

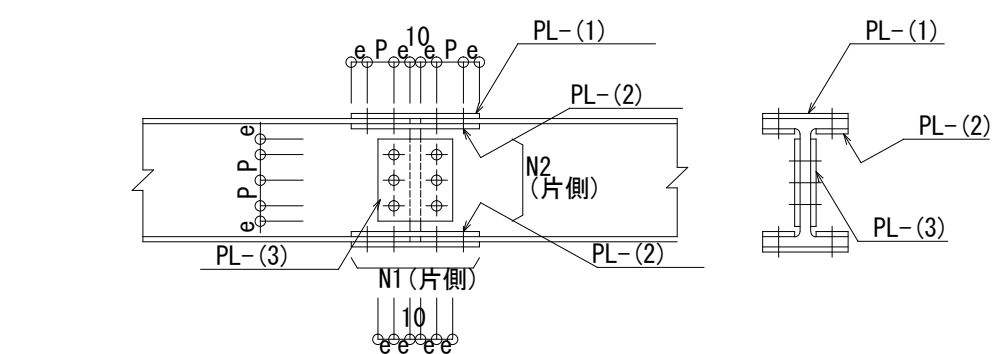
〔注〕 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離。  
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離。  
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上げ縁の場合の縁端距離。

(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部 材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
	3	H - 125×60×6×8	6		2 - M16
	3	H - 150×75×5×7	6		2 - M16
	2	H - 175×90×5×8	6		2 - M16
	2	H - 200×100×5.5×8	6		2 - M16
	2	H - 250×125×6×9	6		3 - M16
	2	H - 300×150×6.5×9	9		3 - M20
	2	H - 350×175×7×11	9		4 - M20
	1	H - 350×175×7×11	9	6	4 - M20
	2	H - 400×200×8×13	9		5 - M20
	1	H - 400×200×8×13	9	9	4 - M20

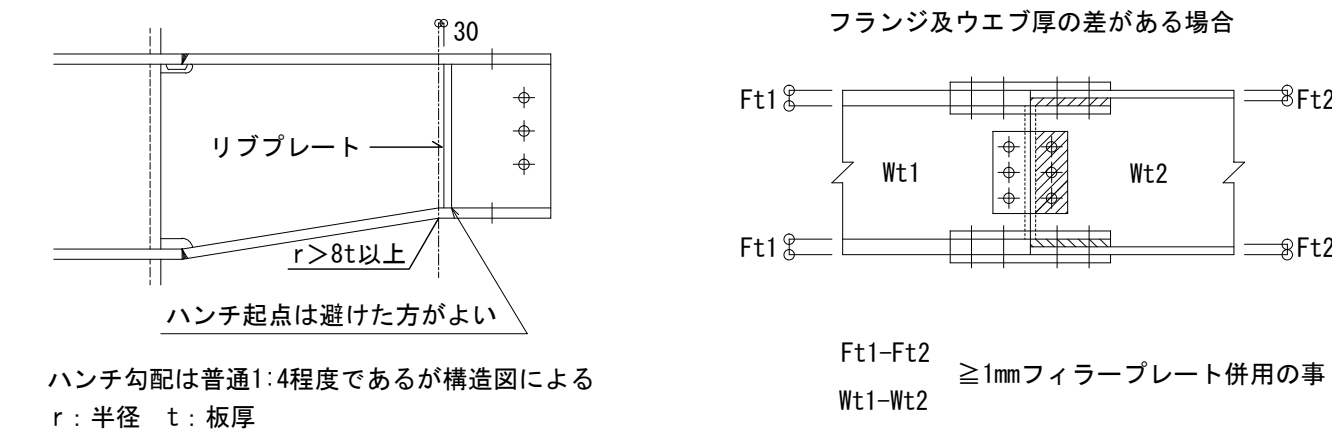
(3) 剛接合継手リスト (SCSS-H97による)



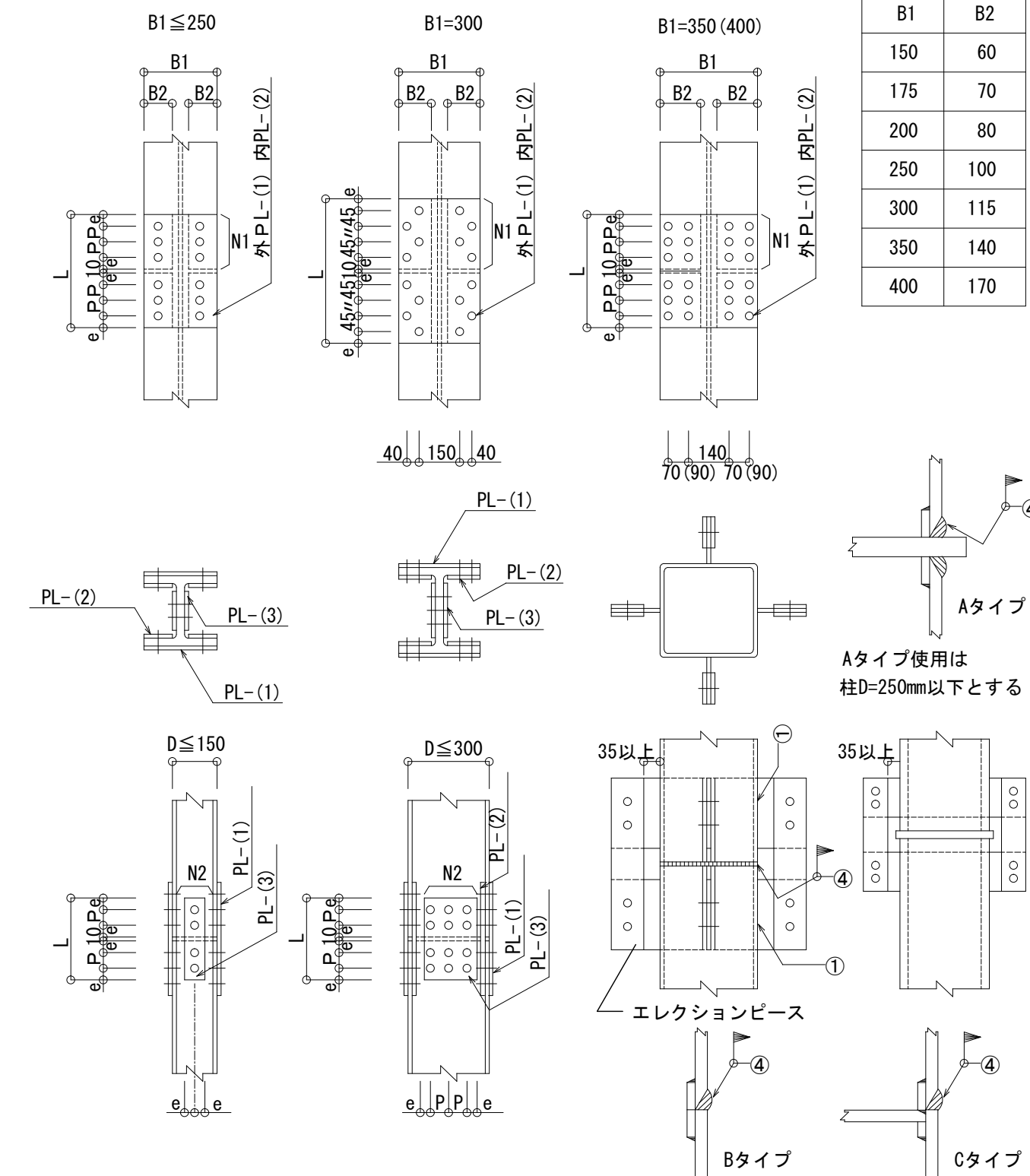
注) 端部をBHとする場合の部材は設計図による。

符号	部 材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径

#### (4) ハンチ部の継手



(5) 柱継手リスト



注] 現場溶接は原則として聴音波深傷試験を100%を行う

[illegible]

(6) ターンバックルブレース (JIS規格品とする…JISA5540…2008 / 5541…2008)

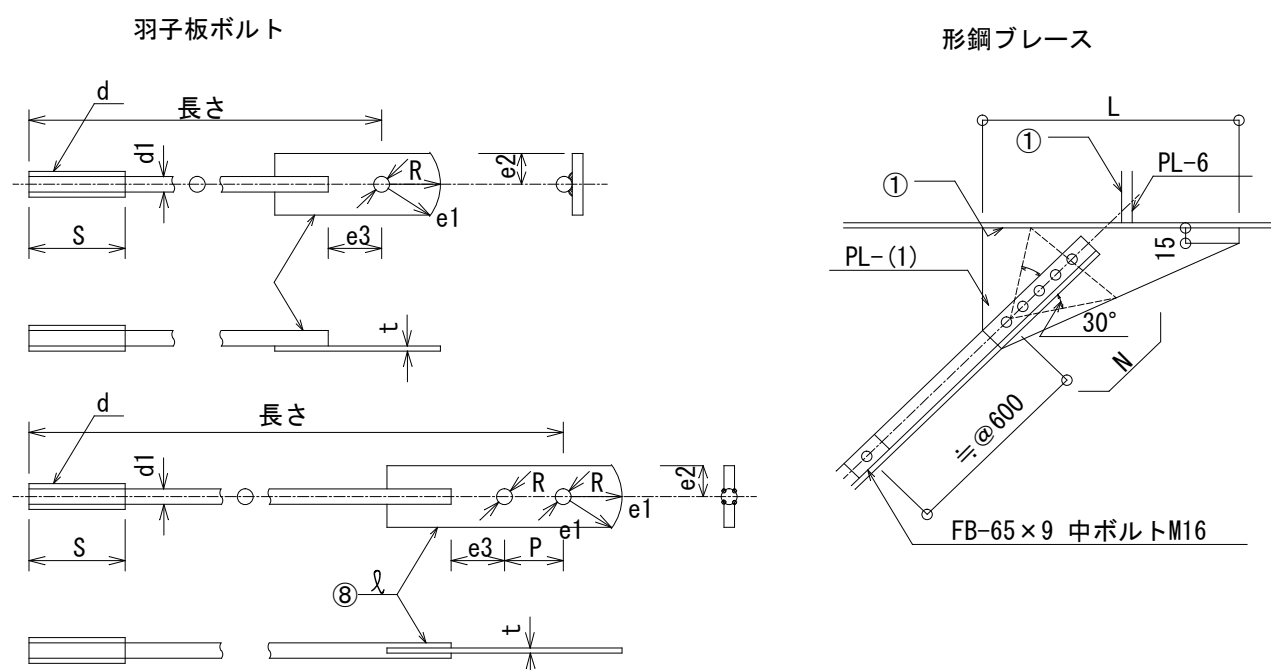
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	
軸径d1	最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99	
	最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	
取付ボルト穴径許容差+0、-0.5mm R		13	17	18	20	22	24	26	
はしあき(最小)		(2) e1	35	40	45	50	55	50	
切板製	へりあき(最小) (1) e2	22	28	28	34	34	38	38	
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき(最小) (1) e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5	
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき(最小)		M7	52	59	66	66	73	70	
溶接長さ(最小)		L	40	50	55	60	60	85	
(2)	取付ボルト	種類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中8g10.9						
		ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
		本数	1	1	1	1	1	1	2

【注】 (1) e1、e2が確保されていれば形状は自由でよい。  
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする。  
(3) 溶融亜鉛めっき製品では、JIS B 1186 に規定する 1種 F8TAIに準ずるものを使用する。

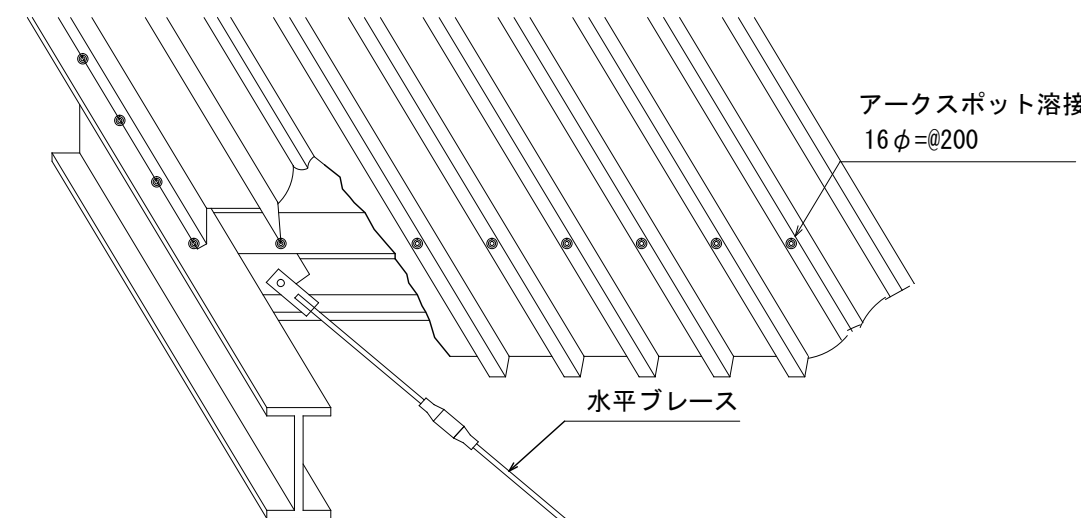
(b) 形鋼ブレース

符 号	部 材	PL-(1)	PL-(2)	L

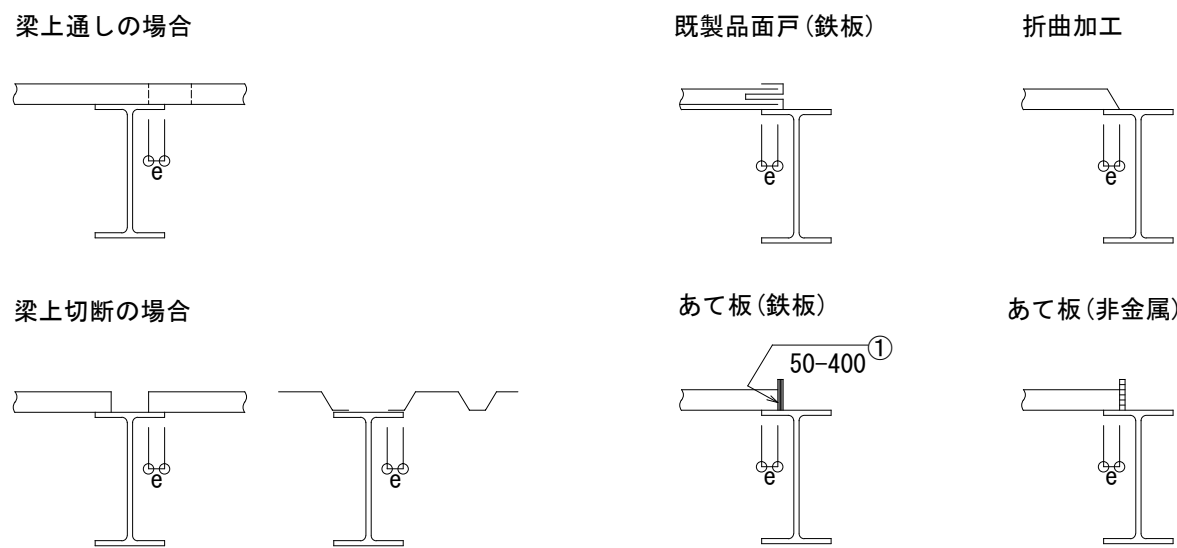


(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合板床、合成梁のときは構造図参照)

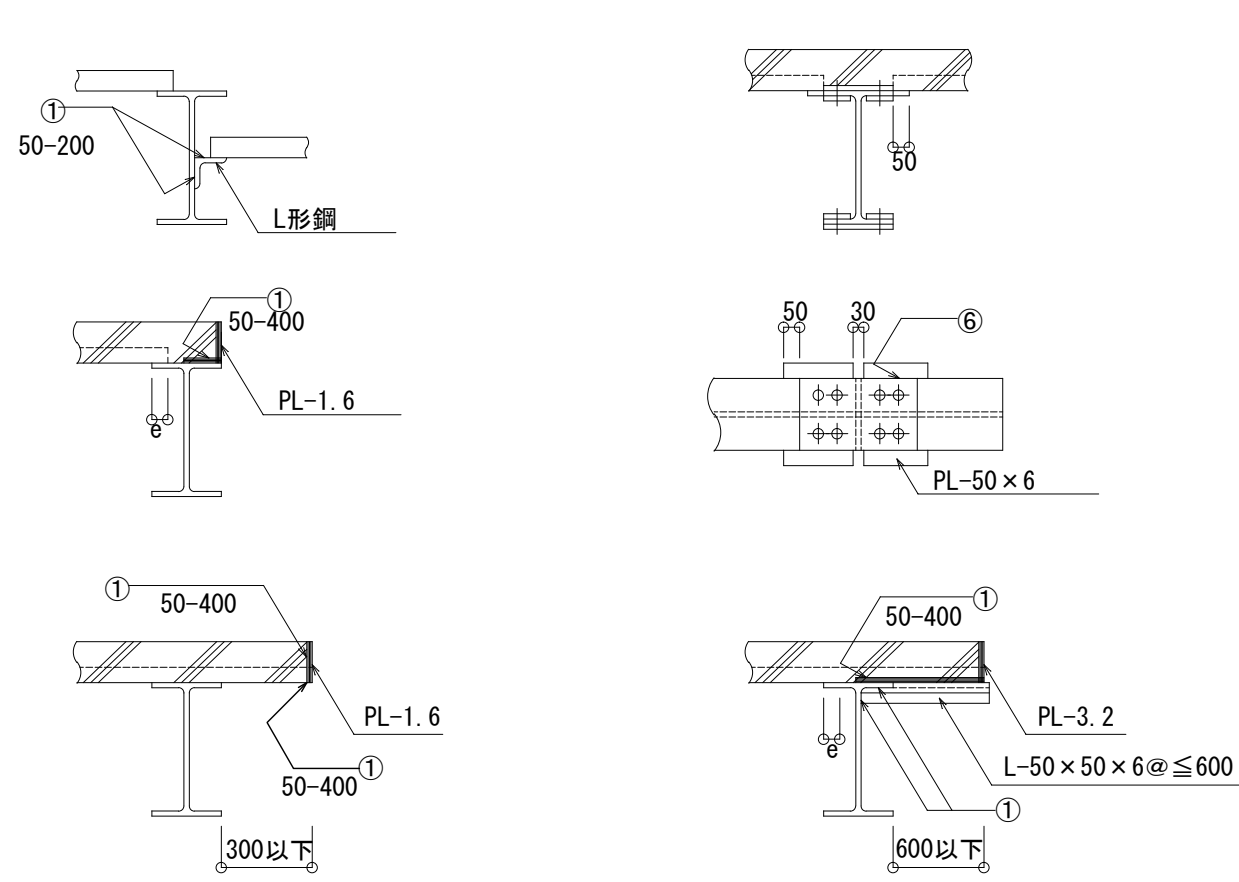
梁との溶接およびコネクタ—



受梁へのかかり寸法および端部処理 e: 長手方向で50mm以上、軸方向で30mm以上とする。  
且つ、各メーカーの仕様とする。

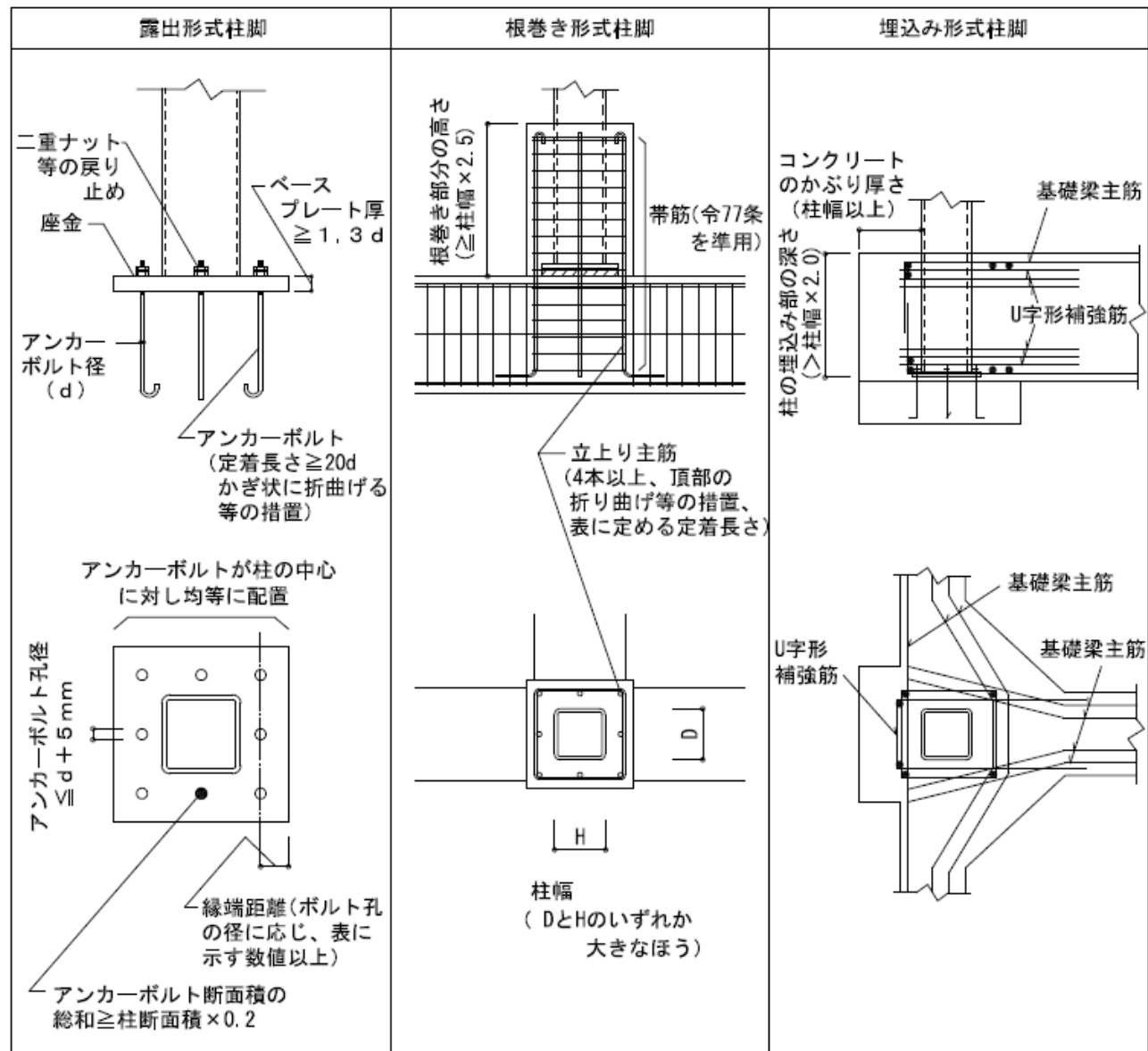


## スラブ端部の補足材



(8) 柱脚

注) 許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式



(9) 頭付きスタッド (JIS B 1198 - 2011)

### スタッド材の標準形状・寸法

形 状	スタッド材			
	呼び名	軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm
	呼び長さ L mm			
	φ13mm	13	25	8
	φ16mm	16	29	8
	φ19mm	19	32	10
φ22mm	φ22mm	22	35	10
	φ22mm	25	41	12

(10) 梁貫通補強

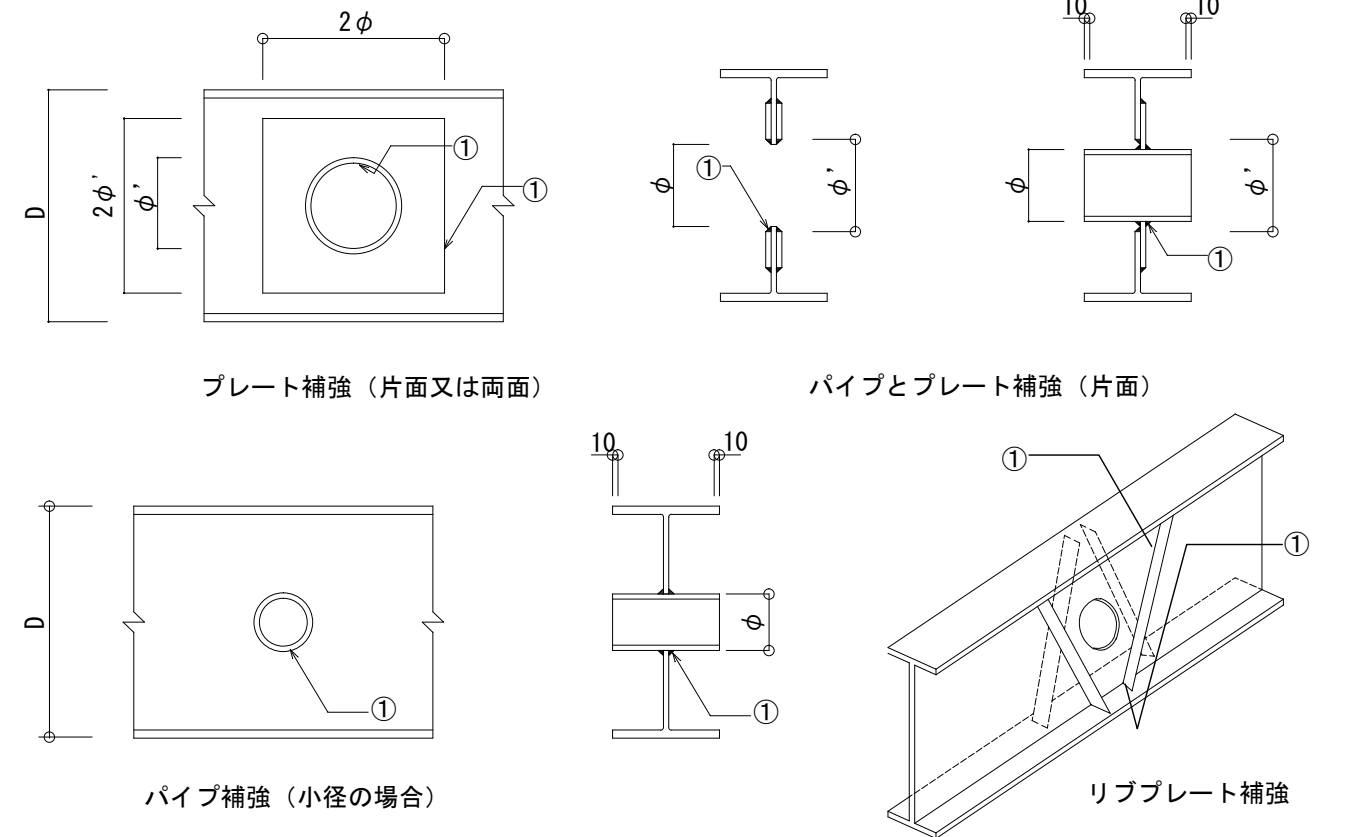
・計算で確認された場合は下記の位置、寸法及び補強方法によらずに良い。

・梁端部（スパンのL/10以内かつ2D以内）は避ける。

・ $\phi \leq 0.4D$

・ $\phi'$  は補強板の穴径を示す。

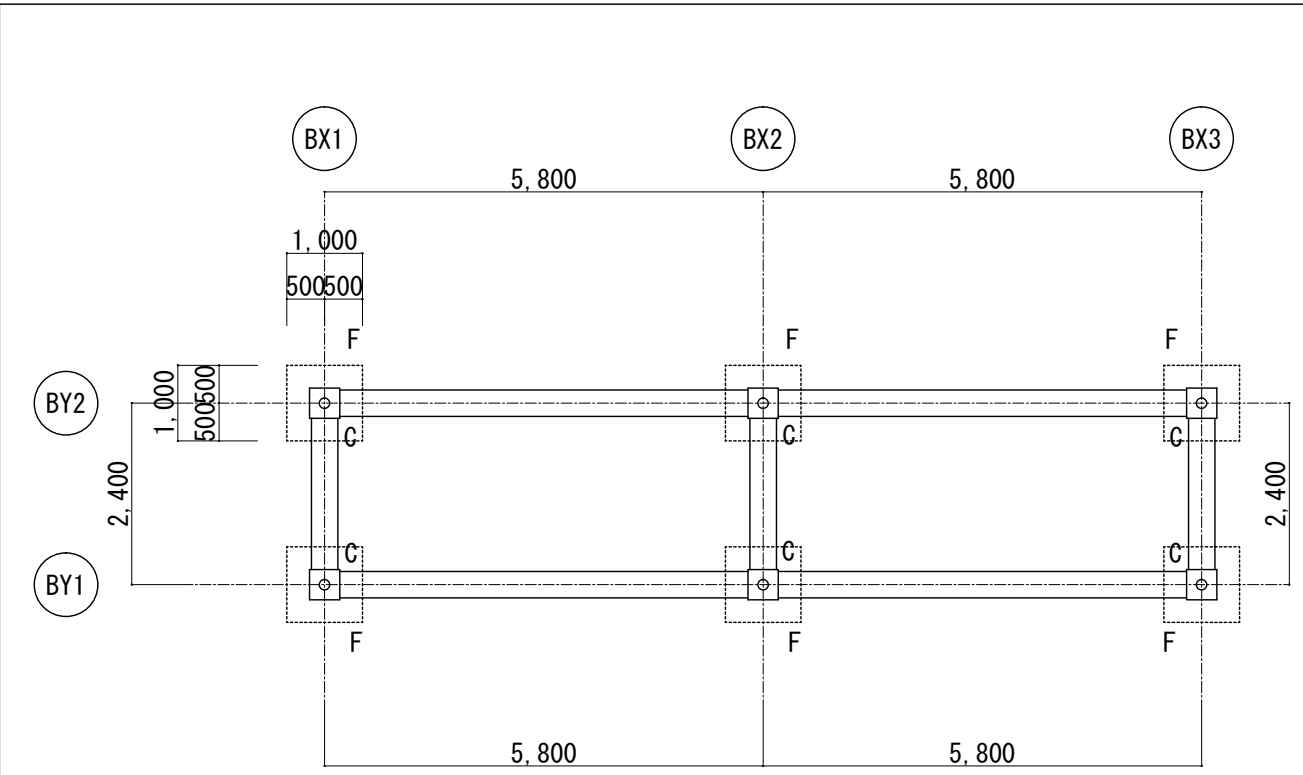
貫通孔の位置



プレート補強の板厚

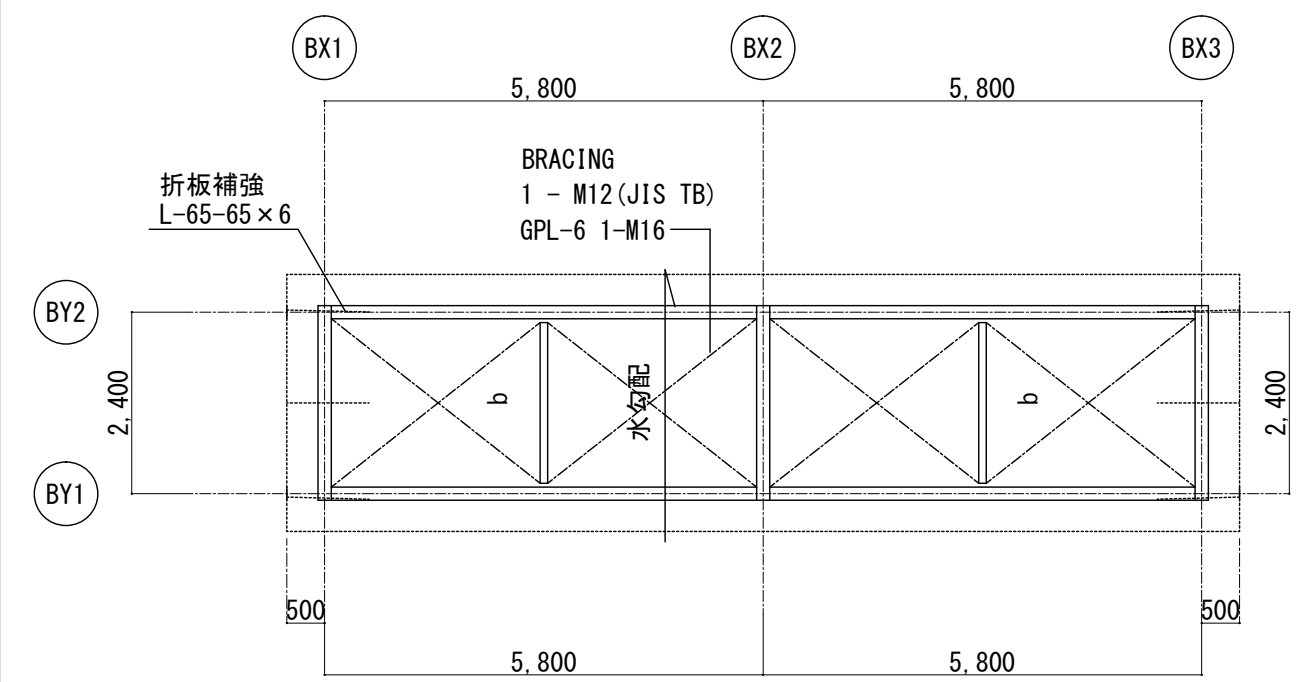
スリーブ径	補 強 板
$\phi \leq 0.150$	補強板不要 (計算で安全性の確認を行う)
$\phi \leq D/4$	Web板厚以上 (片面)
$\phi \leq D/3$	Web板厚 $\times 1.2$ 倍以上 (片面)
$\phi \leq 0.40$	Web板厚以上 (両面)





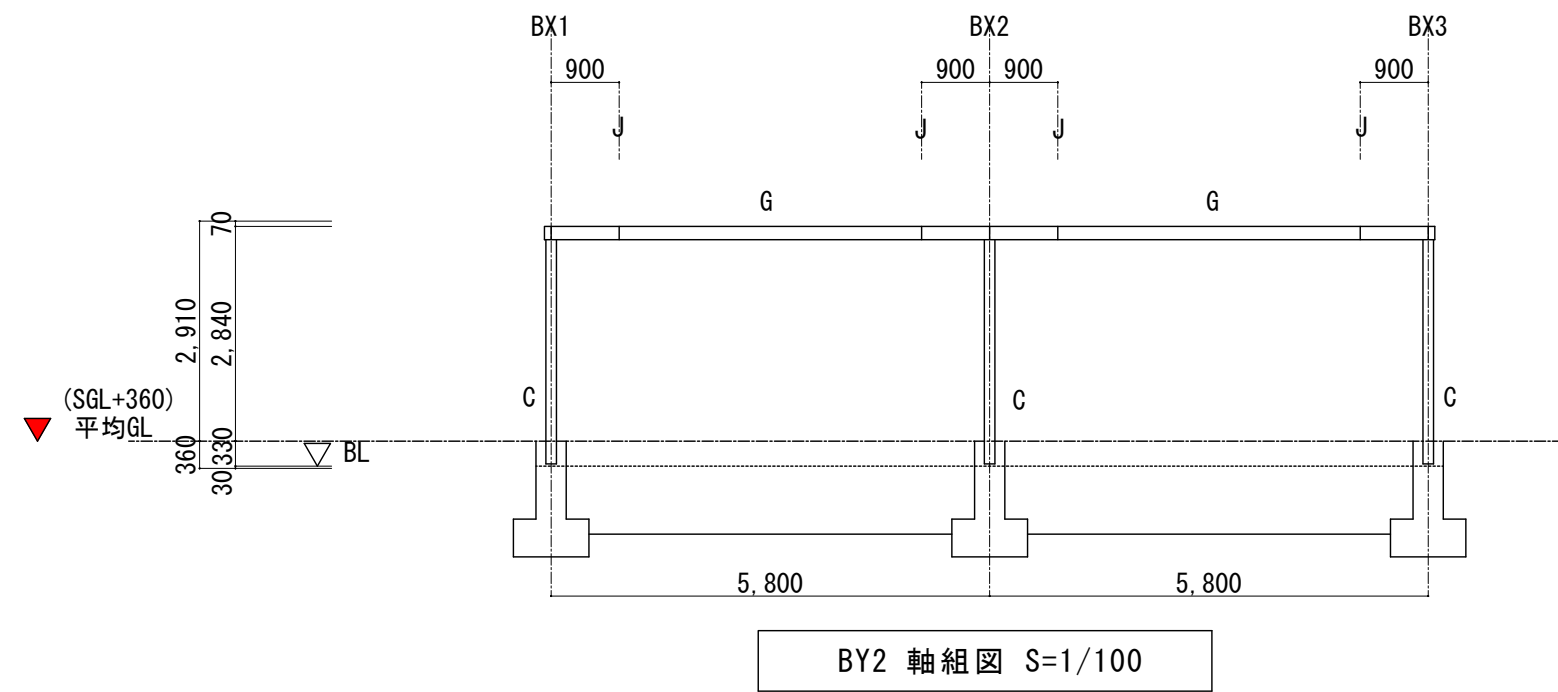
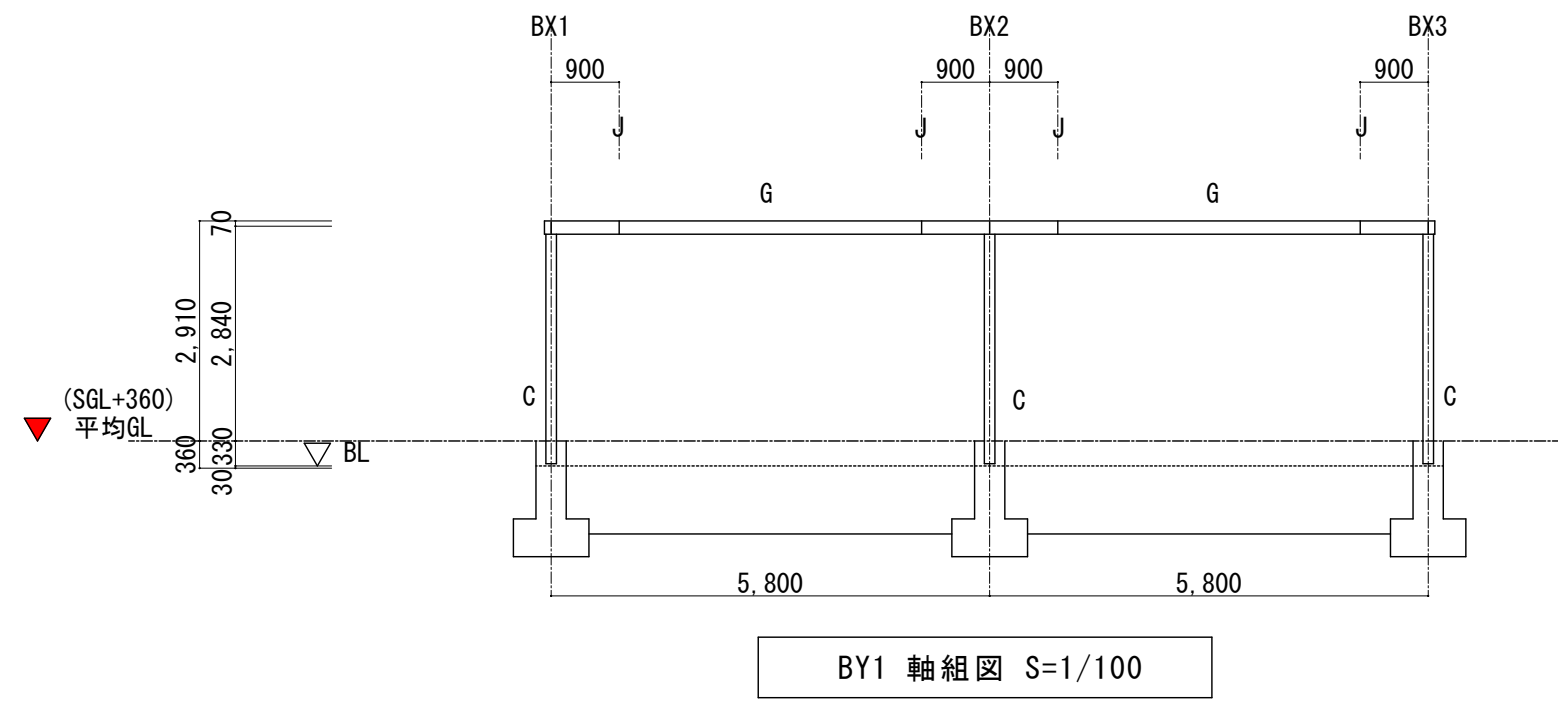
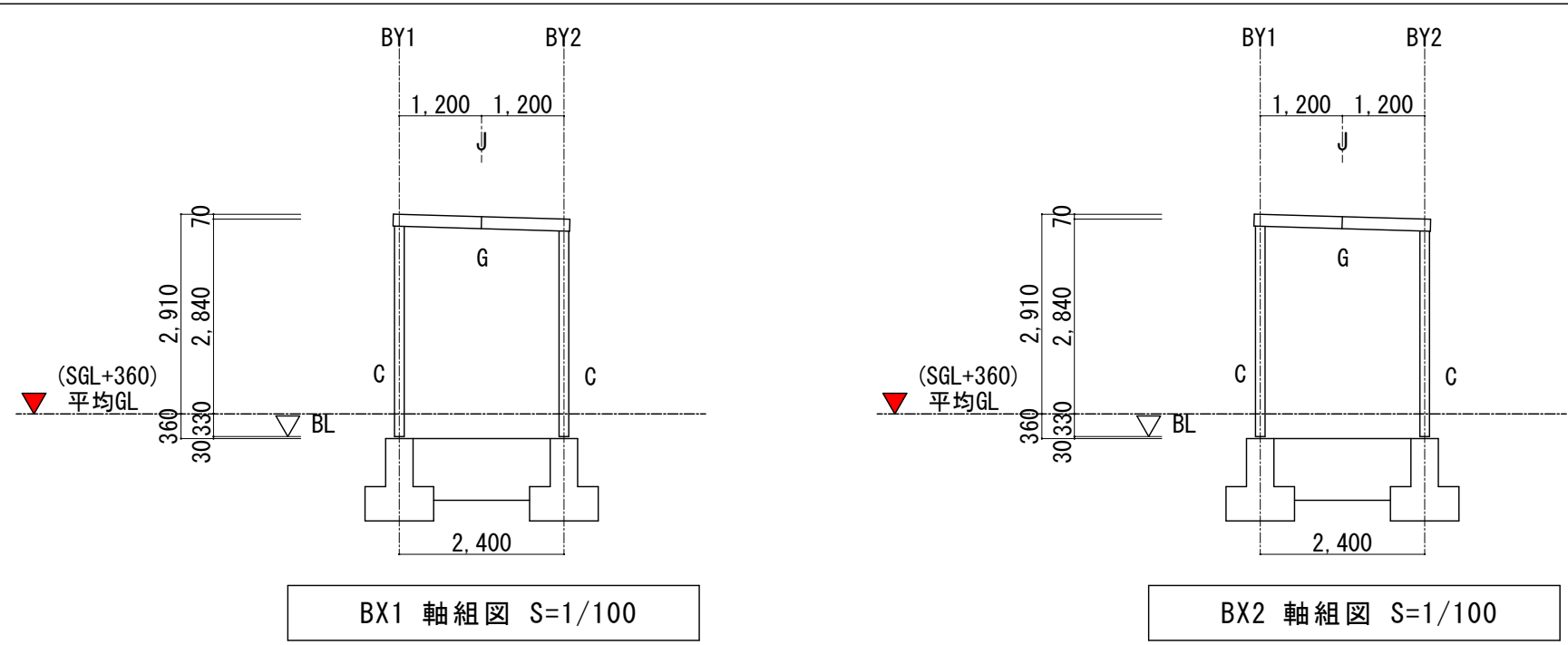
基礎伏図 S=1/100

特記なき地中梁は FG とする。

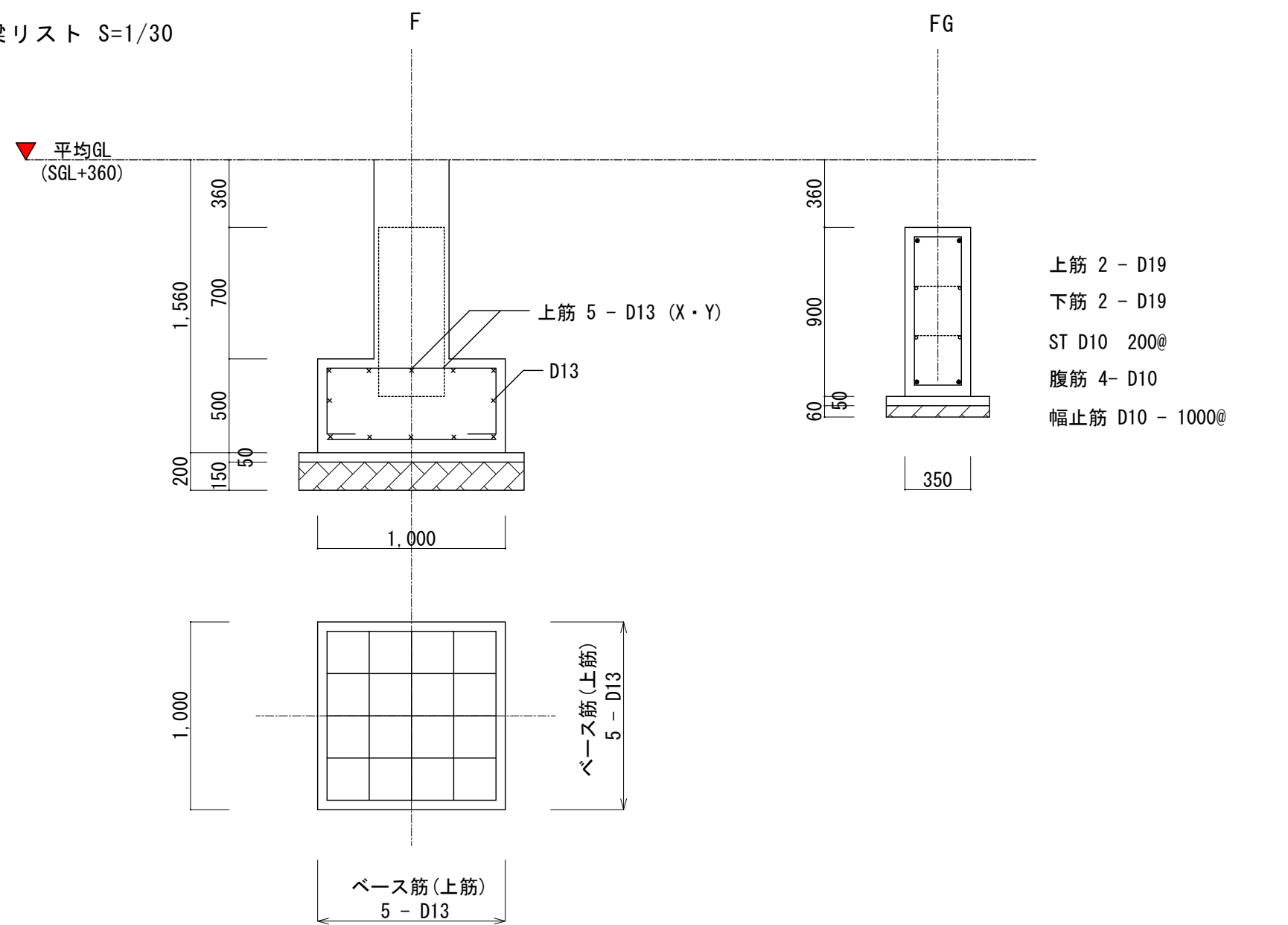


R階梁伏図 S=1/100

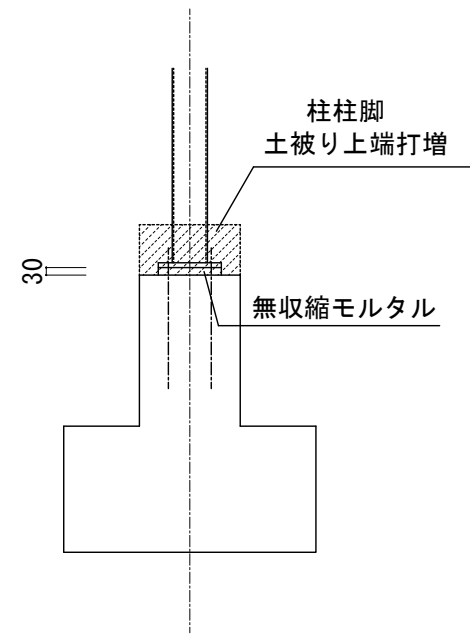
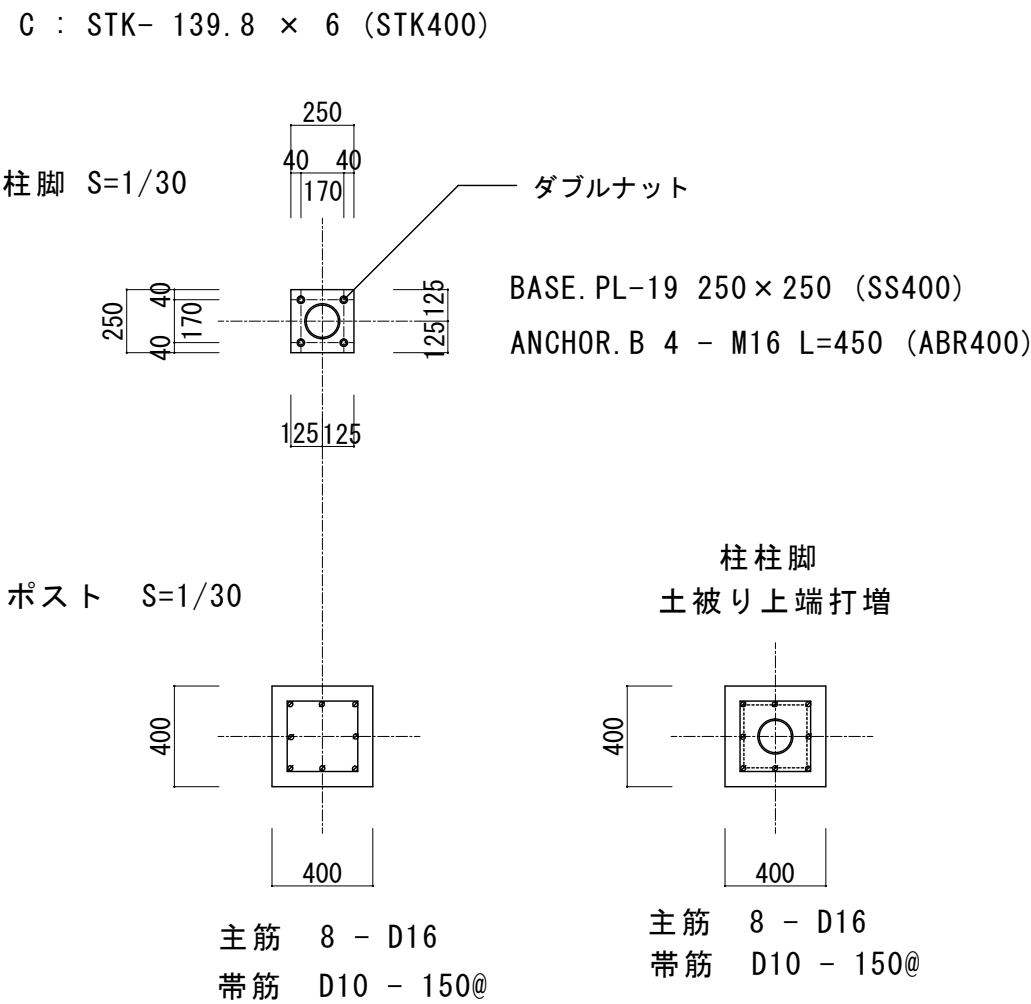
梁通し架構とする。  
特記なき大梁は G とする。



基礎・地中梁リスト S=1/30



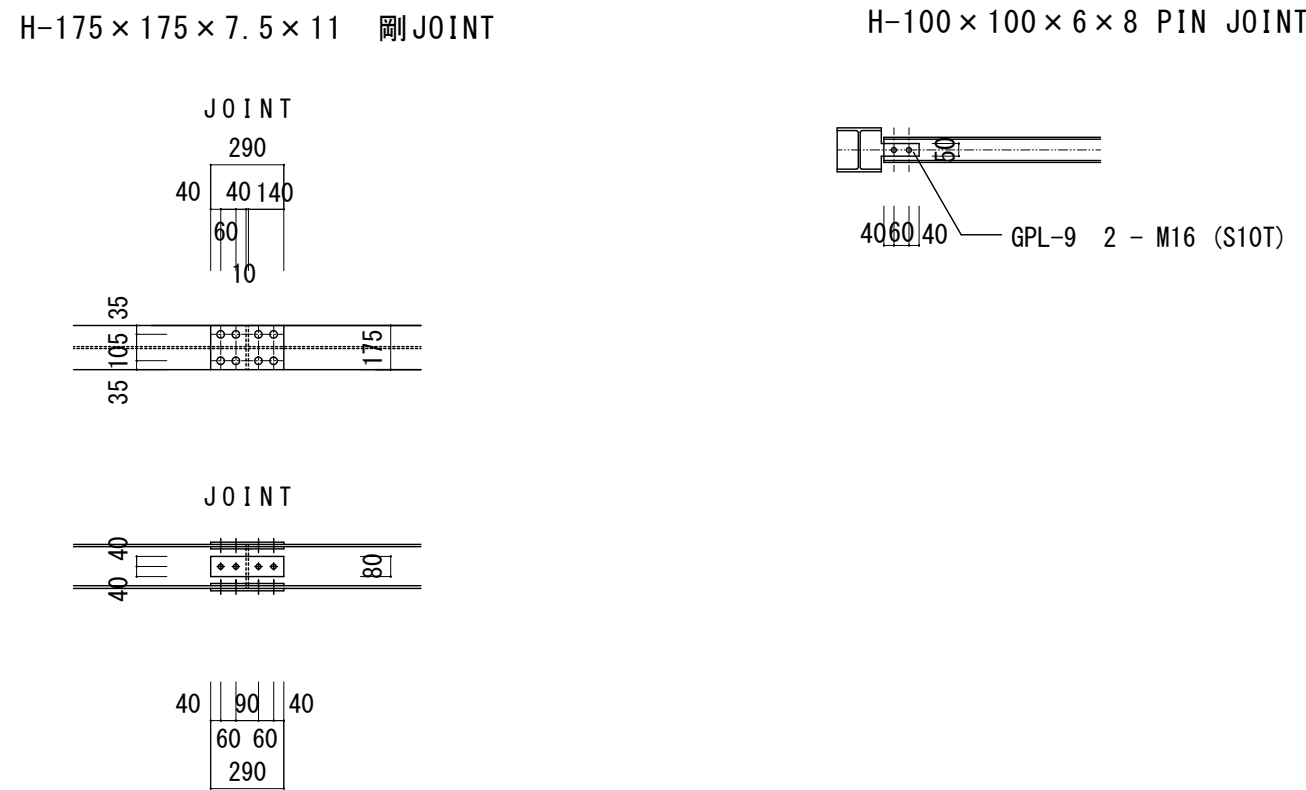
柱リスト



梁リスト

G : H- 175 x 175 x 7 x 11 (SS400)  
b : H- 100 x 100 x 6 x 8 (SS400)

梁JOINTリスト S=1/30



FL	SPL	2PL-9 x 175 x 290
	HTB	4PL-9 x 70 x 290
WEB	SPL	16 - M20
	HTB	2PL-9 x 80 x 290
		4 - M20

縮 尺

A1 : 図示  
A3 : 表記の50%

物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）

図面名称 渡り廊下構造図

区分

建築意匠

No.

L15

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

(1) 工事場所

笛吹市御坂町下野原1 2 7 5

(2) 建物概要

名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一	建築基準法 用途
外構					

(注記：延べ面積は建築基準法による表記)

(3) 工事種目・種別

工 事 種 別	新 嘗	改 修	撤 去	細 目
電灯設備	○			・電灯幹線○電灯分岐○照明器具・照明制御・コンセント
動力設備				・動力幹線・動力分岐
雷保護設備				
受変電設備				・特別高圧・高圧
電力貯蔵設備				・直流電源・交流無停電（UPS）
発電設備				・非常用・常用・燃料電池・太陽光
構内情報通信網（LAN）設備				
構内交換設備				・電話配管配線・構内交換
情報表示設備	○			・情報表示・出退表示○時刻表示
映像・音響設備				
拡声設備				
誘導支援設備				・インターホン・トイレ呼出・音声誘導
テレビ共同受信設備				
監視カメラ設備				
防犯・入退室管理設備				・防犯設備・入出退管理
火災報知設備				・自火報・自動閉鎖・非常警報・ガス漏れ火災
構内配電線路	○			・電力引込○外灯
構内通信線路				・電話引込・その他通信

2 工事仕様

2. 1 共通仕様

1 共通仕様

(a) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記による。

- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）

(b) 適用基準

- 電気設備技術基準 ・内線規定 ・配電規定 ・建築基準法 ・消防法
- 建築設備耐震設計・施工指針2014年版 ・その他関係法令

2 特記事項の適用

(a) 項目は○印のついたものを適用する。

(b) 特記事項は○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印の付いた場合は共に適用する。

(c) 特記事項で「図示」とあるのは、設計図面記載事項を意味する。

2. 2 特記仕様

項目

特記事項

一般事項

① グリーン購入法

グリーン購入法に該当する品目は、その判断基準による仕様を満足すること。

② 機 材 等

本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「設備機材等選定表」を含む）に規定するもの又は、これらと同等なものとす。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。  
化学物質を発散する建築材料等はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。  
尚、ホルムアルデヒドを発散しないものとはJ I S 及びJ A S のF ☆☆☆☆表示建築材料を、ホルムアルデヒドの発散が極めて少ないものとはJ I S 及びJ A S のF ☆☆☆表示建築材料又は同等品を言い、原則としてF ☆☆☆表示建築材料を使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、F ☆☆☆表示建築材料又は同等品を使用するものとする。

③ 機材の品質・性能照明

設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は、外部機関（(社)公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、J I S（日本工業規格）に該当するものであることを示す表示のある機材を使用する場合及びあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合には、資料の提出を省略することができる。共通仕様書によるJ I S、J E C、J E M等の基準に該当するものはその適合品とし、それ以外は国土交通大臣官房官庁営繕部監修の、建築材料設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿（最新版）によるほか、監督員との協議による。

④ 機材の寸法及び姿図

機材等の寸法及び姿図はすべて参考とする。

⑤ 再使用機器

取り外し再使用する機器は、簡易清掃のうえ取り付ける。

⑥ 凡例

図中に特記なきシンボル等はJ I S－C－0 3 0 3－0 0 に準拠する。

⑦ 発生材の処理

引き渡しを要するもの ※無 ・有（  
（ ・機器類 ・配管材料 ・金属類 ）  
特別管理産業廃棄物 ※無 ・有（ ・PCB使用機器 ）  
PCB使用機器は転倒防止および漏洩防止措置を行い、建物管理者に引き渡す。  
引き渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令に従い、適切に処理すること。  
産業廃棄物は産業廃棄物マニフェストを提出すること。

⑨ 残土処分

※構外搬出しと適切に処分する（自由処分） ・構内指示場所に敷き均し ・構内指示場所に堆積 ・構外指定場所（ ）に搬出

⑩ 提出書類

工事契約書および監督員の指示するもののほか下記による。  
○工程表 ○施工計画書 ○設備機材等選定表 ○機器類製作図 ○施工図面  
○工事写真 ○出来形管理図 ○試験成績書 ○機器類完成図 ○完成図面  
○保証書類 ○取扱説明書 ○届出書類の控え ○機器材納品書 ○工事日報

⑪ 工事写真

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方ー建築設備編」による。

⑫ 施工図の取り扱い

施工図等の著作権にかかわる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

⑬ 工事用電力・水・その他

本工事に必要な工事用電力、水等の費用および官公署その他の関係機関への諸手続き等に要する費用は請負者の負担とする。  
・高圧受電開始から引渡しまでの電気基本料金は本工事に含む。

⑭ 建設工事保険等

工事目的物が対象となる保険（組立保険等）に加入すること。加入期間は工期に14日以上の日を加えた日までとする。

15 騒音規制基準

騒音規制対象機器について施工に先立ち品質計画書を作成し承認を得ること。  
竣工時には敷地境界線にて騒音測定を行い、規定騒音値以下を確認すること。

16 建築物省エネルギー消費性能適合性判定

「省エネ適合判定」の計画書・添付図書に記載されたメーカー定格能力、台数、仕様を変更する場合、請負者は変更当該部分の1次エネルギー消費量および計算書を作成し、基準値内にあることを確認のうえ提出すること。

工 事 ・ 施 工

① 呼び線

長さ1m以上の入線しない管路には、導入線(1.2mm以上のビニル被覆鉄線)を挿入する。

② 電線管

屋内 ※PF管 ※ねじなし電線管 ・厚鋼電線管 ・薄鋼電線管  
PF管の躯体打込配管の最大サイズはPF22までとする。  
屋外 ※FFP管（難燃性） ・厚鋼電線管 ※溶融亜鉛メッキ鋼管  
・PEライニング鋼管（厚鋼）  
溶融亜鉛メッキ鋼管の埋設部分は防食テープ等で保護すること。

3 埋設配管、ボックス

最上階天井スラブ（屋上スラブ）には原則として埋設配管は行わないこと。  
鉄筋コンクリート造の柱には原則として打込みボックスは行わないこと。

4 結露防止

結露する恐れのある壁、天井にボックスを打込む場合は結露防止断熱カバー取付等の結露防止処置を行う。

5 金属管塗装

下記箇所は露出配管の塗装（プライマ処理後SOP2回塗り指定色仕上）を行う。  
ただし溶融亜鉛メッキ鋼管を除く。  
・屋内（ ） ・屋外（ ）

⑥ 金属製可とう電線管

屋外や水回り、湿気がある場所ではビニル被覆付とする。

⑦ プルボックス

屋内 ※鋼板製（指定色塗装） ・鋼板製（塗装なし） ・合成樹脂製 ・ステンレス製  
床下、ビット内等、水気の多い場所  
※ステンレス製 ・溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・合成樹脂製  
屋外 ※ステンレス製 ・溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・合成樹脂製

8 ケーブルラック

屋内 ※メラミン樹脂焼付塗装（ZM） ・溶融亜鉛メッキ鋼板製（Z 3 5）  
屋外、水気の多い場所 ※溶融亜鉛メッキ鋼板製（Z 3 5）  
屋外ラックカバー ※要 ・不要  
屋外ラックカバーは屋根型とし上部に人が乗れるタイプとする。

⑨ ケーブル、電線

電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」(EM) 製品を使用する。  
ただし、既製品のない種類のものは承諾を得ること。

10 情報（LAN）ケーブル

EM-UTPケーブル（カテゴリ-6）とし、末端にはRJ45コネクタを取付ける。線色は協議による。

⑪ ケーブル先行表示

ハンドホール、幹線用プルボックス、EPS内ケーブルラックおよび分電盤等、要所の電線等には名札を取付け、用途、ケーブル種別、配線サイズ、電源種別（電圧）、出先→行先、施工年月日および施工者を表示すること。

12 防火区画等の貫通部に用いる材料

防火区画貫通処理は国土交通大臣認定品を使用することができる。

13 キャビネット

屋内 ※鋼板製（ ※指定色 ・標準色 ）  
屋外 ※鋼板製（ ※指定色 ・標準色 ） ・ステンレス製（ ・指定色 ・標準色 ）

14 接地極

接地極の材料は下記による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共 同 接 地	E A、D	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 共 同 接 地	E A、C、D	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ A 種 接 地	E A	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ B 種 接 地	E B	電力会社協議	E B（14φ）×3 連－2 組
・ D 種 接 地	E D	100Ω以下	E B（14φ）×3 連－1 組
・ C 種 接 地	E C	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 高圧避雷器	E LH	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 低圧避雷器	E LL	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 避雷設備	E L	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 交換機用	E t	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 通 信 用	E At	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 通 信 用	E Ct	100Ω以下	E B（10φ）×1（L＝1500mm）
・ 測 定 用	E O		E B（10φ）×1（L＝1000mm）
・ 漏電遮断器用接地	E ELB	100Ω以下	E B（14φ）×3 連－1 組

⑨ ケーブル、電線

電線ケーブル類は、環境対策型「エコマテリアル」(EM) 製品を使用する。  
ただし、既製品のない種類のものは承諾を得ること。

10 情報（LAN）ケーブル

EM-UTPケーブル（カテゴリ-6）とし、末端にはRJ45コネクタを取付ける。線色は協議による。

⑪ ケーブル先行表示

ハンドホール、幹線用プルボックス、EPS内ケーブルラックおよび分電盤等、要所の電線等には名札を取付け、用途、ケーブル種別、配線サイズ、電源種別（電圧）、出先→行先、施工年月日および施工者を表示すること。

12 防火区画等の貫通部に用いる材料

防火区画貫通処理は国土交通大臣認定品を使用することができる。

13 キャビネット

屋内 ※鋼板製（ ※指定色 ・標準色 ）  
屋外 ※鋼板製（ ※指定色 ・標準色 ） ・ステンレス製（ ・指定色 ・標準色 ）

14 接地極

接地極の材料は下記による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
・ 共 同 接 地	E A、D	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 共 同 接 地	E A、C、D	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ A 種 接 地	E A	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ B 種 接 地	E B	電力会社協議	E B（14φ）×3 連－2 組
・ D 種 接 地	E D	100Ω以下	E B（14φ）×3 連－1 組
・ C 種 接 地	E C	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 高圧避雷器	E LH	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 低圧避雷器	E LL	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 避雷設備	E L	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 交換機用	E t	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 通 信 用	E At	10Ω以下	E P900×900×1.5t－1 組
・ 通 信 用	E Ct	100Ω以下	E B（10φ）×1（L＝1500mm）
・ 測 定 用	E O		E B（10φ）×1（L＝1000mm）
・ 漏電遮断器用接地	E ELB	100Ω以下	E B（14φ）×3 連－1 組

15 サージ保護装置（SPD）

下記の機器の電源部にはSPDを設ける。  
・中央監視装置 ※自動火災報知設備受信機 ・非常放送用アンプ ・エレベータ監視盤  
・ITV監視装置 ・入退室管理装置 ・照明制御盤 ・その他（ ）

15 耐震措置

設備機器の固定等は、すべて「独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・施工指針建築設備耐震設計・施工指針2 0 1 4 年版」により行う。ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用標準水平震度KH及び設計用鉛直震度KV（KH／2）を用いて計算する。  
設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

表I 局部震度法による建築設備機器（水栓類を除く）の設計用標準水平震度（KH）

設置場所	耐震安全性の分類			
	・特定の施設		・一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
I 階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注)（ ）内の数値は防振支持機器の場合に適用する。

【表Iの備考】

(備考1) 本表は建築物の構造体がRC造、SRC造、S造のものに適用する。  
(備考2) 上層階の定義は、次のとおりとする。  
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階  
(備考3) 中間階の定義は、次のとおりとする。  
地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないものを中間階とする。（平屋建は、1階と屋上で構成され中間階はなし。）  
(備考4) 設置場所の区分は機器を支持している床部分にしたがって適用する。床又は壁に支持される機器は当該階を適用し、天井面より支持（上階床より支持）される機器は支持部材取付床の階（当該階の上階）を適用する。  
重要機器は次のものを示す。  
・受変電配電盤 ・発電装置 ・分電盤 ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置  
・電話交換機 ・通信情報設備架 ・火災受信機 ・中央監視装置

16 インサートおよびアンカー

※原則として打込（埋込）施工とする。  
・あと施工アンカー（吊下げ部分は不可）を使用する場合は事前に施工計画書を提出する。  
・施工後の確認は目視によりアンカーの種類、径、位置、本数、突出寸法等を確認する。  
・あと施工アンカーの選定および施工はあと施工アンカー協会有資格者による。

17 照明配置

照明配置は点滅区分図、照度分布図を作成し確認を受ける。

18 一般照明の照度測定

※JIS C 7612「照度測定方法」に準拠し測定する。  
・測定値等は右記のほか、監督員の指示による。（ ・体育館 ・ホール ）

⑰ 配線器具プレート類

特記なきプレートは ・樹脂製 ※金属製（新金属 ）

20 盤類の鍵

盤類の鍵は原則として2 0 0番とし、使い分けが必要な場合は5 5 0番とする。

21 スイッチ

※タンブラースイッチ埋込連用大角形（ネーム付） ・ワイド型（ネーム付）

22 床コンセント

0Aフロア ※プラグ収納型 ・アップ（上下動）型 ・露出（ハイテンション）型  
0Aフロア以外 ※プラグ収納型 ・アップ（上下動）型 ・露出（ハイテンション）型

23 情報コンセント

壁コンセント ※埋込モジュラジャック ・フラッシュプレート（空配管）  
・ハトメプレート（ケーブル突出し2m）  
床コンセント ※プラグ収納型（埋込モジュラジャック）  
・プラグ収納型（ケーブル突出し2m）  
・露出（ローテンション）型（ケーブル突出し2m）  
・床ケーブル突出し2m（0Aフロア）

24 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名 称	測 点	取付高さ [mm]
ブラケット（一般）	床上～中心	2, 5 0 0
〃（通場）	〃	2, 5 0 0
〃（鏡上）	鏡上端～中心	1 5 0
避難口誘導灯	床下～下端	1, 5 0 0 以上
廊下通路誘導灯	床下～上端	1, 0 0 0 以下
スイッチ（一般）	床下～中心	1, 3 0 0
〃（身体障害者用）	〃	1, 1 0 0
コンセント、電話アウトレット、直列ユニット	〃	3 0 0
〃（和室）	〃	1 5 0
コンセント（車庫）	〃	8 0 0
子時計、スピーカ	〃	（天井高）×0. 9
アッテネータ	〃	1, 3 0 0
出退表示盤（表示灯）	〃	（天井高）×0. 8
発信器（出退表示用）	〃	1, 3 0 0
インターホン	〃	1, 5 0 0
身体障害者用インターホン子機	〃	1, 1 0 0
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	9 0 0
復帰ボタン（ 〃 ）	〃	1, 8 0 0
廊下表示灯（ 〃 ）	〃	2, 0 0 0

備考：（天井高）×0. 9 及び（天井高）×0. 8 は、おおよそ天井高が2, 5 0 0～3, 0 0 0mm の場合に適用する。

⑳ 地中埋設深さ

地中埋設深さは原則として下記による。  
※低圧および弱電線路 GL-600以上 ※高圧線路 GL-1200以上

㉑ 埋設シート

地中線路にはケーブル埋設標識シート（2 倍長以上）を設ける。

㉒ F E P電線管

地中埋設配管に使用するF E P電線管は難燃性とする。

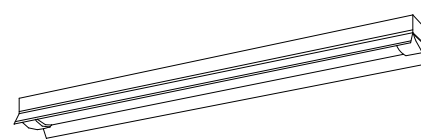
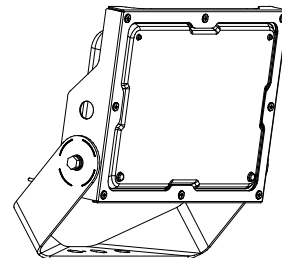
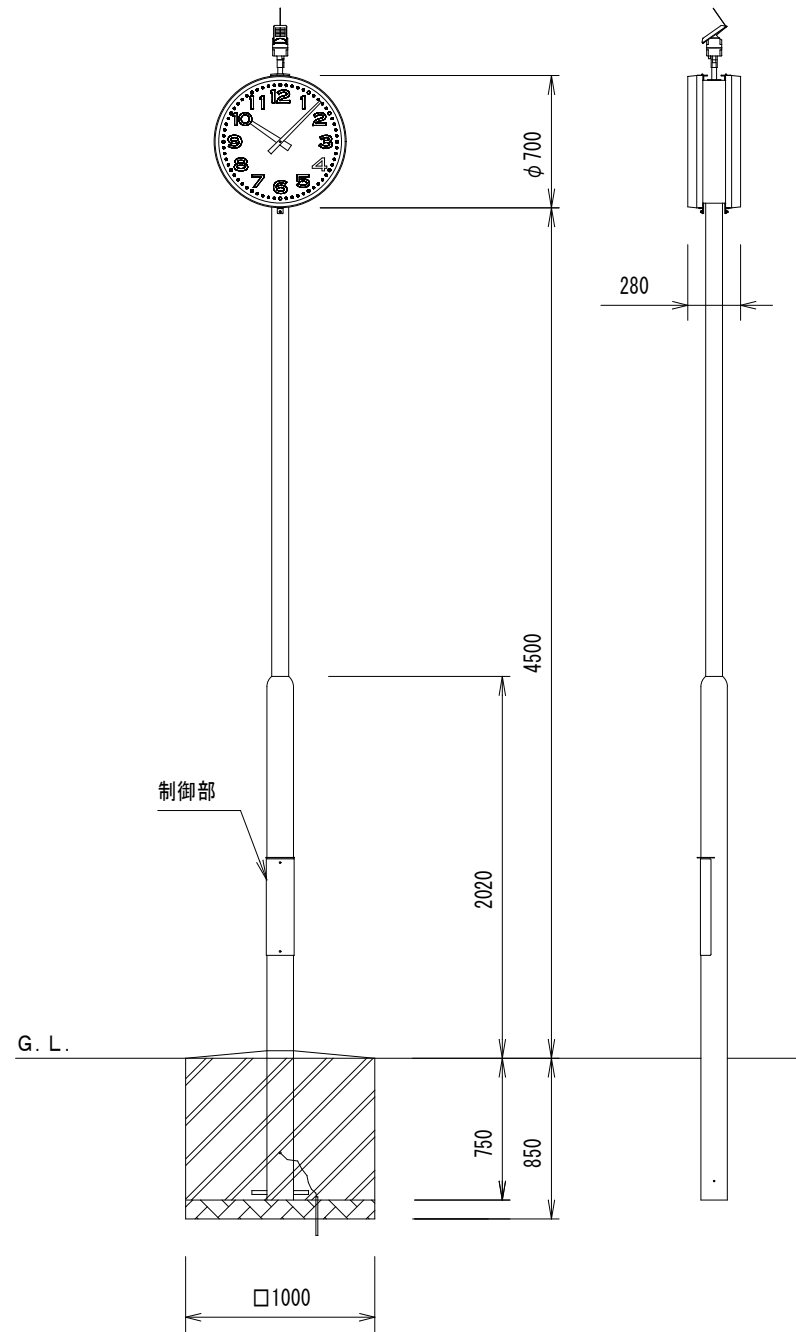
28 地中引込み管路の防水措置

屋外から地下ビットへの管路引込み部分は、つば付きスリーブまたは防水錫鉄管を使用し防水処置を行う。

そ の 他 共 通 事 項									
① 設備機材選定表	監督員との協議によるほか下記による。								
	機 材 名		指 定 メ ー カ ー						
	分電、制御、端子盤類		山梨県配電盤工業協同組合加盟製造者						
	照明器具類		東 芝	パナニク	岩 崎	三 菱	日 立	山 田	
	電話機器類		N E C	パナニク	岩 通	日 立	東 芝	N T T	
	電気時計・表示機器類		セイコー	シチズン	パナニク				
	拡声、音響機器		パナニク	T O A	三 菱	東 芝	日 立	ビクター	
誘導支援・呼び出し機器		アイホン	パナニク	ケアコム	日 立	三 菱	東 芝		
テレビ共聴機器		パナニク	D X	東 芝	八 木	日アン	マスプロ		
火災報知機器		能 美	パナニク	東 芝	ホーチキ	ニッタン	沖電気		
換気扇機器類		三 菱	東 芝	パナニク	日 立				
配線器具類		パナニク	東 芝	神 保	寺 田	明工社	アメリカン		
電線ケーブル類		J I S マーク表示品、又はJ I S マーク表示許可工場							
電線管、付属品類		同 上							

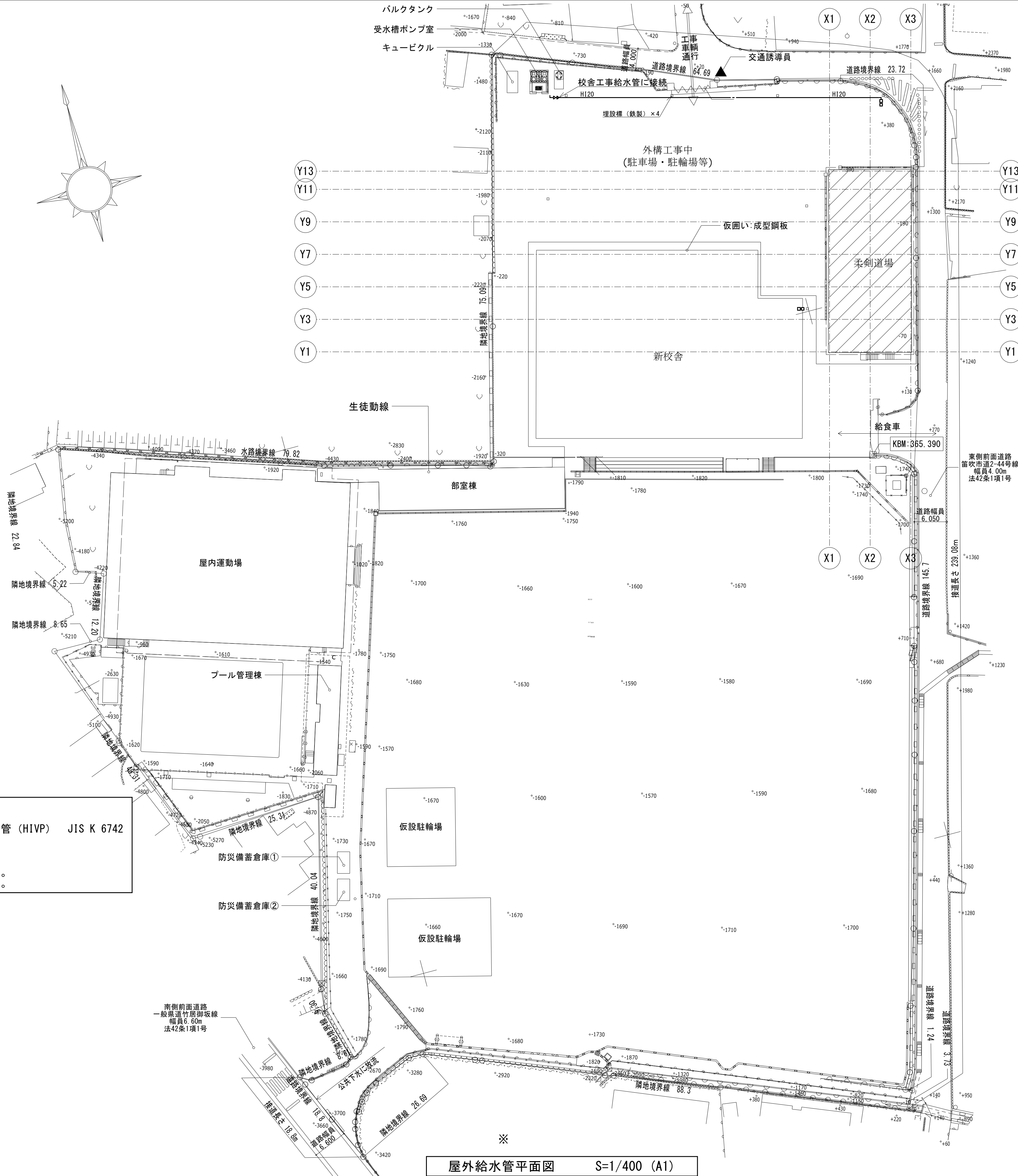
	縮 尺	物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分	建築意匠
		図面名称	電気設備特記仕様書	No.	L16



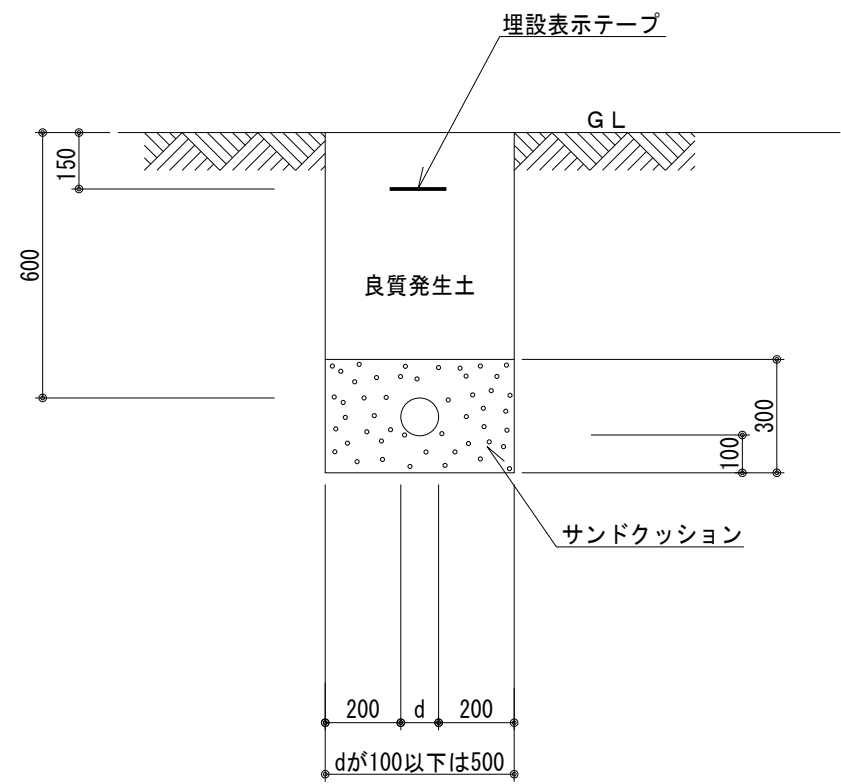
C	LED直付型40形 反射笠付型 防湿型・防雨型	M	投光器 水銀灯250形×2相当																																																				
 <p>3200lmタイプ、IP23防湿型、屋白色（5000K）、Ra83 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100～242V 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 防湿型・防雨型ライトバー パナソニック 直付XLW432KENZLE9 相当品</p>		 <p>銅管φ4.5m(DYDX2409H) 基礎 400□ H1100 とも</p> <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵、防雨型・防噴流型・耐塵型、ワイド配光 光束18000lm、消費電力136.4W、電圧100～242V 5000K、Ra70光束維持時間60000時間（光束維持率80%） 保護等級IP65、耐風速60m/s、屋白色 落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV パナソニック NYS15271KLE9×2+DYDX4067 相当品</p>																																																					
☑	屋外時計																																																						
 <table><tr><td colspan="2">時計部</td></tr><tr><td>ケース</td><td>銅板 チョコレート色</td></tr><tr><td>文字板</td><td>アルミニウム 白色</td></tr><tr><td>文 字</td><td>黒色</td></tr><tr><td>指 針</td><td>アルミニウム 黒色</td></tr><tr><td>風 防</td><td>強化ガラス 透明 t4</td></tr><tr><td>機 体</td><td>DC3.6V 有極30秒遅針</td></tr><tr><td colspan="2">太陽電池付衛星電波アンテナ</td></tr><tr><td>ケース</td><td>樹脂</td></tr><tr><td>太陽電池</td><td>DC5.4V 450mW</td></tr><tr><td>受信電波</td><td>衛星電波</td></tr><tr><td></td><td>L1周波数帯C/Aコード</td></tr><tr><td colspan="2">ポール部</td></tr><tr><td>主 柱</td><td>銅管 上部…φ89.1、下部…φ139.8</td></tr><tr><td></td><td>チョコレート色</td></tr><tr><td colspan="2">●制針部(SG-C210E)</td></tr><tr><td>ケース</td><td>銅板 t1.2</td></tr><tr><td>蓄電部</td><td>電気二重層コンデンサ</td></tr><tr><td></td><td>1300F×2</td></tr><tr><td colspan="2">動作補償（蓄電池 満充電時より）</td></tr><tr><td>動作補償日数</td><td>約45日（完全無日照の場合）</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		時計部		ケース	銅板 チョコレート色	文字板	アルミニウム 白色	文 字	黒色	指 針	アルミニウム 黒色	風 防	強化ガラス 透明 t4	機 体	DC3.6V 有極30秒遅針	太陽電池付衛星電波アンテナ		ケース	樹脂	太陽電池	DC5.4V 450mW	受信電波	衛星電波		L1周波数帯C/Aコード	ポール部		主 柱	銅管 上部…φ89.1、下部…φ139.8		チョコレート色	●制針部(SG-C210E)		ケース	銅板 t1.2	蓄電部	電気二重層コンデンサ		1300F×2	動作補償（蓄電池 満充電時より）		動作補償日数	約45日（完全無日照の場合）												
時計部																																																							
ケース	銅板 チョコレート色																																																						
文字板	アルミニウム 白色																																																						
文 字	黒色																																																						
指 針	アルミニウム 黒色																																																						
風 防	強化ガラス 透明 t4																																																						
機 体	DC3.6V 有極30秒遅針																																																						
太陽電池付衛星電波アンテナ																																																							
ケース	樹脂																																																						
太陽電池	DC5.4V 450mW																																																						
受信電波	衛星電波																																																						
	L1周波数帯C/Aコード																																																						
ポール部																																																							
主 柱	銅管 上部…φ89.1、下部…φ139.8																																																						
	チョコレート色																																																						
●制針部(SG-C210E)																																																							
ケース	銅板 t1.2																																																						
蓄電部	電気二重層コンデンサ																																																						
	1300F×2																																																						
動作補償（蓄電池 満充電時より）																																																							
動作補償日数	約45日（完全無日照の場合）																																																						







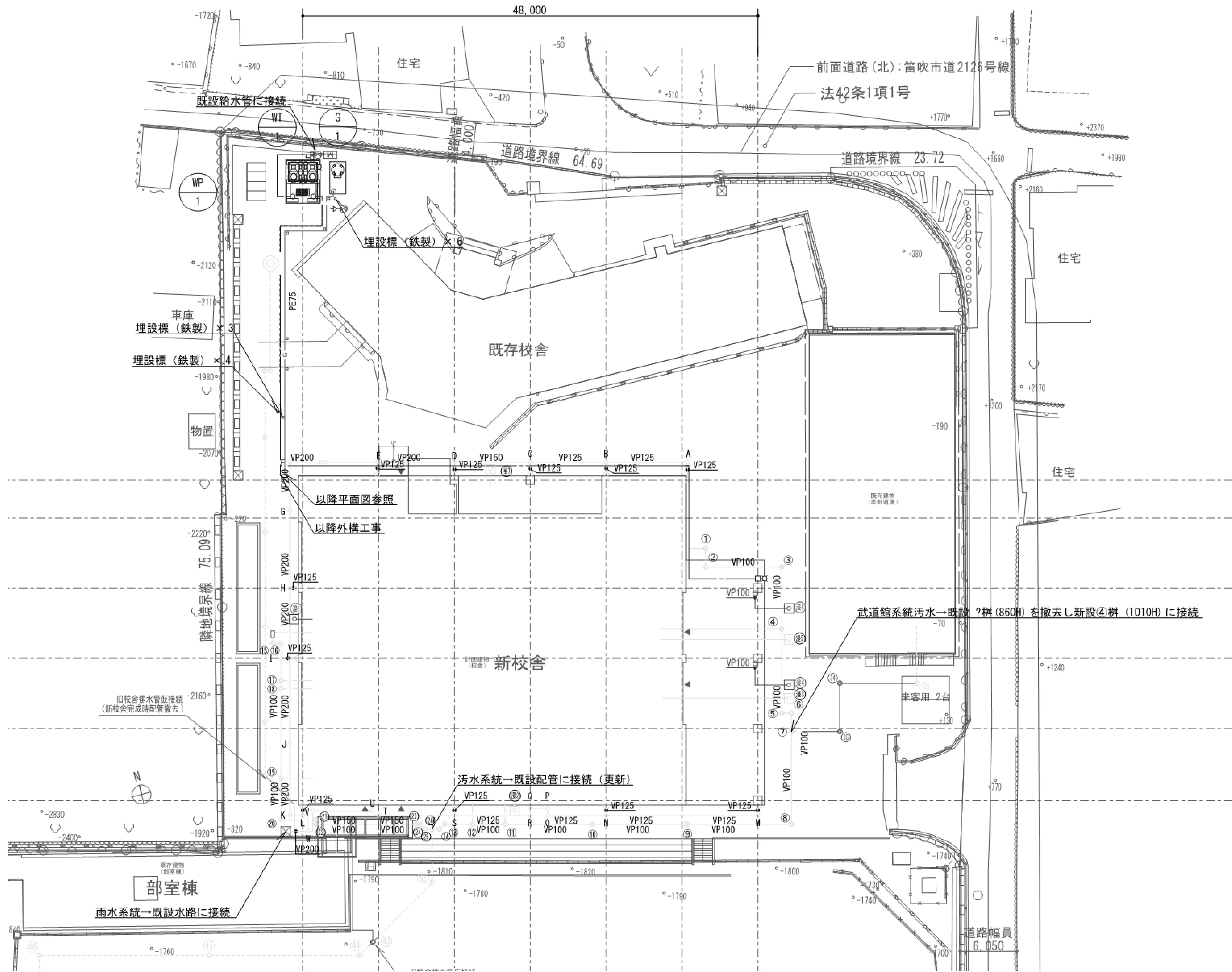
機械設備工事 工事概要  
1 図示の屋外給水管を配管する。  
屋外給水管 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) JIS K 6742  
不凍水栓柱 2ヶ所  
2 排水樹天端調整  
小口径汚水樹 (①～㉔) の天端調整を行う。  
小口径雨水樹 (A～W) の天端調整を行う。



屋外給水管埋設断面図

屋外給水管平面図 S=1/400 (A1)

縮 尺 A1 : 1 : 400 A3 : 表記の50%	物件名称 御坂中学校躯体解体及び外構工事 (明許)	区分 建築意匠
	図面名称 屋外給水管平面図	No. L19



縮尺	物件名称	御坂中学校躯体解体及び外構工事（明許）	区分
	図面名称	枅天端調整1	建築意匠 No. L20



樹記号	負荷単位		樹間距離	勾配	計算管径	設計管径	仕様	樹 レベル差	基準GLからの	樹管底レベル (m)	樹深さ (mm)	樹径	蓋	備 考			記号			累計面積	樹間距離	勾配	計算管径	設計管径	仕様	樹 レベル差	基準GLからの	樹管底レベル (m)	樹深さ (mm)	樹径	蓋	備 考		
	系統	累計							地盤高さ (m)								面積	降雨強度																
①	6.0						小口径塩ビ樹		±0	-0.68	500	150Φ	防護ハット	90L	アスファルト		A	284.30	1.00	284.30						小口径塩ビ樹		±0	-0.50	500	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		6.0	8.0	1/50	50	100														284	8.6	1/100	125	125										
②			8.0				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.71	660	150Φ	防護ハット	90L	アスファルト		B					8.6				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.58	580	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		6.0	9.0	1/50	50	100														284	8.0	1/100	125	125										
③			17.0				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.94	840	150Φ	防護ハット	90L	アスファルト		C	284.30	1.00	284.30		16.6				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.66	660	200Φ	防護ハット	アスファルト	
	2・3Fトイレ	6.0	8.3	1/50	50	100														569	8.5	1/100	150	150										
④	42.0		25.3				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.08	1,010	150Φ	防護ハット	90YS	アスファルト		D	143.66	1.00	143.66		25.1				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.75	750	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		6.0	9.7	1/50	100	100														712	8.1	1/100	200	200										
⑤			35.0				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.27	1,200	150Φ	防護ハット	90L	アスファルト		E	11.82	1.00	11.82		33.2				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.83	830	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		6.0	10.0	1/50	100	100														724	11.4	1/100	200	200										
⑥			45.0				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.28	1,400	150Φ	防護ハット	90L	アスファルト		F					44.6				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.94	940	200Φ	防護ハット	アスファルト	
	武道館	38.0	10.0	1/50	100	100														724	8.1	1/100	200	200										
⑦	32.0		55.0				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.33	1,600	150Φ	防護ハット	90YS	アスファルト		G					52.7				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.02	1,020	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		38.0	7.6	1/50	100	100														724	8.1	1/100	200	200										
⑧	42.0		62.6				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.54	1,750	150Φ	防護ハット	90L	アスファルト		H	230.11	1.00	230.11		60.8				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.10	1,100	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		80.0	1.6	1/50	100	100														954	7.4	1/100	200	200										
⑨	130.0		64.2				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.68	1,780	150Φ	防護ハット	ST	アスファルト		I	129.65	1.00	129.65		68.2				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.17	1,170	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		210.0	3.4	1/50	100	100														1,084	9.1	1/100	200	200										
⑩	34.0		67.6				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.80	1,850	150Φ	防護ハット	ST	アスファルト		J					77.3				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.26	1,260	200Φ	防護ハット	アスファルト	
	1Fトイレ	244.0	0.6	1/50	100	100														1,084	9.2	1/100	200	200										
⑪	101.0		68.2				小口径塩ビ樹	5	±0	-2.15	1,860	150Φ	防護ハット	90YS	アスファルト		K					86.5				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.35	1,350	200Φ	防護ハット	アスファルト	
	1Fトイレ	345.0	3.7	1/50	100	100														1,084	1.8	1/100	200	200										
⑫	101.0		68.2				小口径塩ビ樹	5	±0	-2.19	1,860	150Φ	防護ハット	90YS	アスファルト		既設樹					88.3				小口径塩ビ樹	5	±0	-1.37	1,370	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		345.0	4.2	1/50	100	100														1,084			200	200										
⑬			68.7				小口径塩ビ樹	5	±0	-2.55	1,860	150Φ	防護ハット	45L	アスファルト																			
		345.0	0.5	1/50	125	125																												
⑭			68.2				小口径塩ビ樹	5	±0	-2.58	1,860	200Φ	防護ハット	45L	アスファルト		L									小口径塩ビ樹	5	±0	-0.50	500	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		345.0	0.4	1/50	125	125															5.3	100.0		100										
既設樹改修 (26)			69.6				小口径塩ビ樹	5	±0	-2.60	1,930	200Φ	防護ハット	WLS	アスファルト		M	94.0	1.0	94.0		5.3				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.55	550	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		430.5		1/50	125	125														94	3.6	100.0	1/100	100										
																				94	11.4	100.0	1/100	100										
⑮	5.0						小口径塩ビ樹	5		-0.76	500	150Φ	防護ハット	90L	アスファルト		O					20.3				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.70	700	200Φ	防護ハット	アスファルト	
		5.0	8.2	1/50	50	100														94	11.4	100.0	1/100	100										
⑯			8.2				小口径塩ビ樹	5	±0	-0.82	660	150Φ	防護ハット																					